

市内中小企業の景況について
(第 133 回京都市中小企業経営動向実態調査)

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 令和 2 年 1 月
- ・ 調査対象期間 令和元年 10 月～12 月期 (3 箇月実績) / 令和 2 年 1～3 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 371 社, 非製造業 429 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。486 社が回答 (回収率 60.8%)

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数	(構成比)	項 目	企業数	(構成比)
製造業	223	(45.9)	非製造業	263	(54.1)
西 陣	20	(4.1)	卸 売	65	(13.4)
染 色	27	(5.6)	小 売	59	(12.1)
印 刷	26	(5.3)	情 報 通 信	23	(4.7)
窯 業	12	(2.5)	飲 食 ・ 宿 泊	30	(6.2)
化 学	15	(3.1)	サ ー ビ ス	44	(9.1)
金 属	32	(6.6)	建 設	42	(8.6)
機 械	25	(5.1)	不 明	0	(0.0)
その他の製造	66	(13.6)	合 計	486	(100.0)

※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)	44	(9.1)
-----------------------	----	---------

- =Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)
増加, 上昇などと回答した企業の企業割合から, 減少, 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として, それより上である場合は, 上向き傾向を表す回答が多いことを示し, 下である場合は, 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
- 中小企業の定義
中小企業基本法に基づき, 業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については, インターネットホームページでも御覧いただけます。

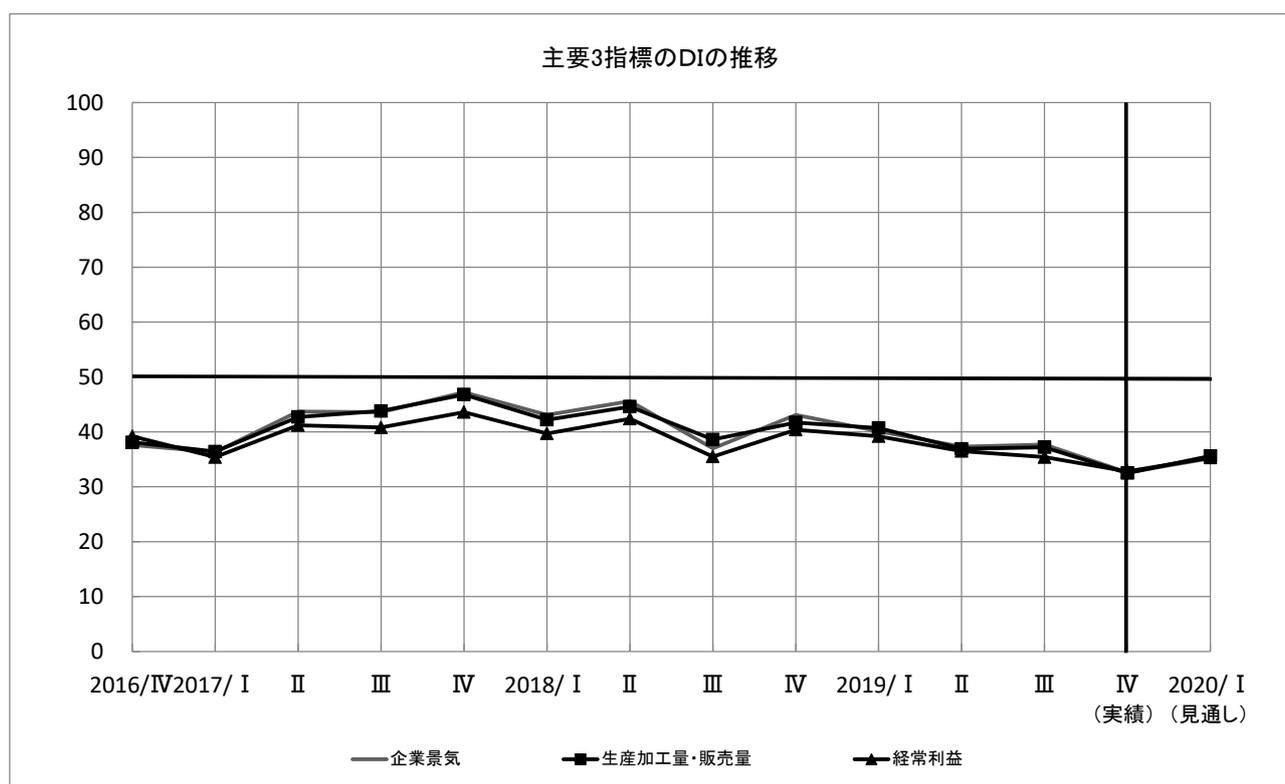
URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/30-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

調査結果概要

1 景気動向について

- 今期の企業景気DIは、全産業で5.1ポイント低下した。製造業で2.2ポイント低下、非製造業で7.8ポイント低下した。
- 来期の企業景気DIの見通しは、全産業で2.6ポイント上昇。製造業は4.0ポイント上昇、非製造業では1.4ポイント上昇の見込み。

<主要3指標のDIの推移>



		前期 (2019/7-9月)		今期 (10-12月)		来期 (2020/1-3月)	
			増減		増減		増減
企業景気DI	全産業	37.7	△0.4	32.6	▼5.1	35.2	△2.6
	製造業	32.0	▼4.9	29.8	▼2.2	33.8	△4.0
	非製造業	42.7	△4.9	34.9	▼7.8	36.3	△1.4
生産加工量・販売量DI	全産業	37.2	△0.3	32.5	▼4.7	35.6	△3.1
	製造業	32.1	▼4.0	30.2	▼1.9	35.0	△4.8
	非製造業	42.1	△4.4	34.6	▼7.5	36.1	△1.5
経常利益DI	全産業	35.4	▼1.1	32.8	▼2.6	35.3	△2.5
	製造業	30.2	▼6.0	30.2	0.0	34.9	△4.7
	非製造業	40.2	△3.5	35.1	▼5.1	35.7	△0.6

<主要3指標の業種別推移（今期／来期見通し）>

	企業景気DI				生産加工量・販売量DI				経常利益DI			
	今期		来期		今期		来期		今期		来期	
		増減		増減		増減		増減		増減		増減
製造業	29.8	▼2.2	33.8	△4.0	30.2	▼1.9	35.0	△4.8	30.2	0.0	34.9	△4.7
西陣	27.5	△2.5	20.0	▼7.5	31.6	△6.6	21.1	▼10.5	42.1	△14.8	28.9	▼13.2
染色	22.0	△4.7	23.1	△1.1	22.0	△6.6	23.1	△1.1	22.0	△4.7	25.0	△3.0
印刷	22.9	▼12.8	37.5	△14.6	27.1	▼6.2	39.6	△12.5	28.3	▼0.3	37.5	△9.2
窯業	50.0	△8.3	50.0	0.0	44.4	△2.7	44.4	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
化学	57.1	△10.7	53.6	▼3.5	60.7	△14.3	57.1	▼3.6	57.1	▼3.6	57.1	0.0
金属	12.1	▼6.1	27.6	△15.5	12.1	▼8.2	27.6	△15.5	15.5	▼2.7	27.6	△12.1
機械	34.0	▼0.5	31.3	▼2.7	31.3	▼6.2	28.3	▼3.0	27.1	▼3.9	30.4	△3.3
その他の製造	33.9	▼6.6	38.5	△4.6	33.6	▼6.4	42.5	△8.9	32.3	▼3.5	40.2	△7.9
非製造業	34.9	▼7.8	36.3	△1.4	34.6	▼7.5	36.1	△1.5	35.1	▼5.1	35.7	△0.6
卸売	28.6	▼8.9	32.5	△3.9	30.8	▼8.4	36.4	△5.6	33.1	▼5.4	34.4	△1.3
小売	31.4	▼21.4	27.5	▼3.9	29.8	▼19.2	25.0	▼4.8	34.6	▼9.8	31.4	▼3.2
情報通信	47.4	▼2.6	52.5	△5.1	44.1	▼8.4	50.0	△5.9	39.5	▼10.5	47.5	△8.0
飲食・宿泊	26.8	▼0.3	26.8	0.0	22.9	▼4.4	29.2	△6.3	19.2	▼0.4	23.1	△3.9
サービス	43.6	△4.5	47.4	△3.8	43.1	△5.3	41.4	▼1.7	38.2	△0.7	40.8	△2.6
建設	41.0	▼7.6	42.1	△1.1	43.2	▼2.3	43.1	▼0.1	44.7	▼3.8	40.8	▼3.9
観光関連企業	25.6	▼7.3	26.8	△1.2	28.4	▼6.3	28.4	0.0	19.2	▼14.1	19.2	0.0

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇，▼は低下を示す。）

<設備投資DI推移（今期／来期見通し）>

	設備投資DI			
	今期		来期	
		増減		増減
製造業	21.1	△0.6	17.0	▼4.1

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇，▼は低下を示す。）

(1) 今期実績 令和元年10月～12月期

全産業の企業景気DIは、製造業、非製造業ともに悪化し、5.1ポイント低下した。

製造業の企業景気DIは2.2ポイント低下した。「電子材料分野の落ち込みの回復」(中京区/化学)、「インバウンドの増加」(東山区/窯業)など一部前向きな意見も聞かれたが、「主力ユーザーの自動車関連で生産減、在庫調整等」(山科区/その他の製造)、「売上が下降 1月以後に回った可能性もある」(上京区/印刷)など、全体としては厳しい景況感を示す意見が多かった。

製造業の業種別では、前期比で上昇したのは8業種中、西陣、染色、窯業、化学の4業種となり、中でも化学が10.7ポイント上昇と目立った。印刷、金属、機械、その他の製造の4業種は低下し、中でも印刷が12.8ポイント低下と目立った。

非製造業の企業景気DIは7.8ポイント低下した。「前年よりはよくなっている」(下京区/サービス)など、一部前向きな意見も聞かれたが、「人手不足による生産量減少」(下京区/建設)、「消費税がどう出るか不安。耐久消費財は悪い節約ムード」(伏見区/小売)など、全体としては厳しい景況感を示す意見が多かった。

非製造業の業種別では6業種中、サービスのみが4.5ポイント上昇した。他の5業種はすべて低下し、中でも小売21.4ポイント低下と目立った。

観光関連業種については、5.7ポイント低下した前回調査から、さらに今回は7.3ポイント低下した。「団体が増えた」(中京区/飲食・宿泊/観光関連売上50%以上)など、一部前向きな意見が聞かれたが、「米中貿易戦争の影響で中国人の買い物は小さくなり減少している」(東山区/小売/観光関連売上50%以上)、「京都市内の宿泊施設の急増、学生数減少(少子化)、団体旅行の減少」(北区/飲食・宿泊/観光関連売上50%以上)など、全体としては厳しい景況感を示す意見が多かった。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は14業種中3業種、いずれも低下と予測している業種は9業種となった。

今期:主要3指標DIいずれも上昇した業種 14業種中3業種

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
西陣	27.5 (△ 2.5)	31.6 (△ 6.6)	42.1 (△ 14.8)
染色	22.0 (△ 4.7)	22.0 (△ 6.6)	22.0 (△ 4.7)
サービス	43.6 (△ 4.5)	43.1 (△ 5.3)	38.2 (△ 0.7)

今期:主要3指標DIいずれも低下した業種 14業種中9業種

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	22.9 (▼ 12.8)	27.1 (▼ 6.2)	28.3 (▼ 0.3)
金属	12.1 (▼ 6.1)	12.1 (▼ 8.2)	15.5 (▼ 2.7)
機械	34.0 (▼ 0.5)	31.3 (▼ 6.2)	27.1 (▼ 3.9)
その他の製造	33.9 (▼ 6.6)	33.6 (▼ 6.4)	32.3 (▼ 3.5)
卸売	28.6 (▼ 8.9)	30.8 (▼ 8.4)	33.1 (▼ 5.4)
小売	31.4 (▼ 21.4)	29.8 (▼ 19.2)	34.6 (▼ 9.8)
情報通信	47.4 (▼ 2.6)	44.1 (▼ 8.4)	39.5 (▼ 10.5)
飲食・宿泊	26.8 (▼ 0.3)	22.9 (▼ 4.4)	19.2 (▼ 0.4)
建設	41.0 (▼ 7.6)	43.2 (▼ 2.3)	44.7 (▼ 3.8)

注:カッコ内は前期との差(今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。)

(2) 来期見通し 令和2年1月～3月期

企業景気DIの来期見通しは、製造業、非製造業ともに上昇し、全産業では2.6ポイントの上昇となった。

製造業の来期見通しは、4.0ポイント上昇。8業種中、染色、印刷、窯業、金属の4業種が上昇、中でも金属が15.5ポイント上昇と目立った。窯業が変わらず、西陣、化学、機械の3業種が低下となっている。

「中国経済の減速による需要の減少」（北区／化学）など、一部厳しい見通しを示す意見もあったが、「オリンピック関係の受注があり令和2年は前期より受注量の増加でよい傾向」（伏見区／染色）、「新製品の売上上昇」（上京区／金属）など、全体としては前向きな意見が多かった。

非製造業の来期見通しは、1.4ポイント上昇。6業種中、卸売、情報通信、サービス、建設の4業種が上昇、飲食・サービスが変わらず、小売が低下となっている。

「増税以降、売上減少が続いている」（北区／卸売）など、一部厳しい見通しを示す意見もあったが、「1～3月に業務用の高額ソフトウェアの納入を予定している」（山科区／情報通信）、「ホテル建設などが継続」（下京区／建設）など、全体としてはやや前向きな意見が多かった。

また、今回調査で7.3ポイント低下した観光関連業種では来期見通しは1.2ポイント上昇となっており、「昨年は予想外に売上が上がった、カードポイント時代で一休等の予約や外国人が多くなった」（中京区／飲食・宿泊／観光関連売上50%以上）など、全体としてはやや前向きな意見が多かった。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は14業種中6業種、いずれも低下と予測している業種は2業種となっている。

来期見通し：主要3指標いずれも上昇と予測した業種 14業種中6業種

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
染色	23.1 (△ 1.1)	23.1 (△ 1.1)	25.0 (△ 3.0)
印刷	37.5 (△ 14.6)	39.6 (△ 12.5)	37.5 (△ 9.2)
金属	27.6 (△ 15.5)	27.6 (△ 15.5)	27.6 (△ 12.1)
その他の製造	38.5 (△ 4.6)	42.5 (△ 8.9)	40.2 (△ 7.9)
卸売	32.5 (△ 3.9)	36.4 (△ 5.6)	34.4 (△ 1.3)
情報通信	52.5 (△ 5.1)	50.0 (△ 5.9)	47.5 (△ 8.0)

来期見通し：主要3指標いずれも低下と予測した業種 14業種中2業種

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
西陣	20.0 (▼ 7.5)	21.1 (▼ 10.5)	28.9 (▼ 13.2)
小売	27.5 (▼ 3.9)	25.0 (▼ 4.8)	31.4 (▼ 3.2)

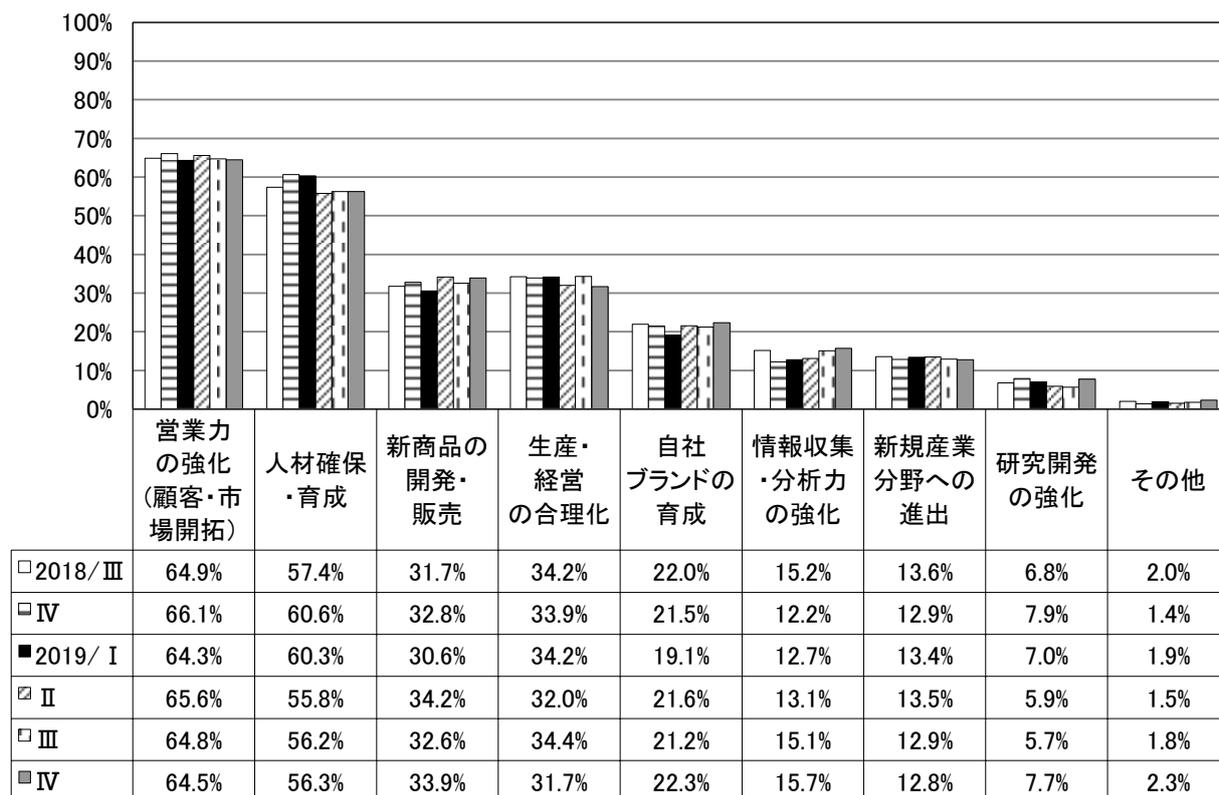
注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇を示す。）

2 当面の経営戦略について

- 「営業力の強化」が引き続きトップ。「人材確保・育成」が続く。「自社ブランドの育成」「情報収集・分析力の強化」が必要であると見ている企業が増加傾向を示している。

当面の経営戦略として、「営業力の強化」を挙げる企業が64.5%を占め、引き続き最も多くなっている。以下、「人材確保・育成」が56.3%、「新商品の開発・販売」が33.9%「生産・経営の合理化」が31.7%と続く。

これまで同様、「自社ブランドの育成」「情報収集・分析力の強化」が増加傾向を示しており、新規顧客・市場開拓が必要であると見ている企業が増えているようである。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合合計が100%を超える。

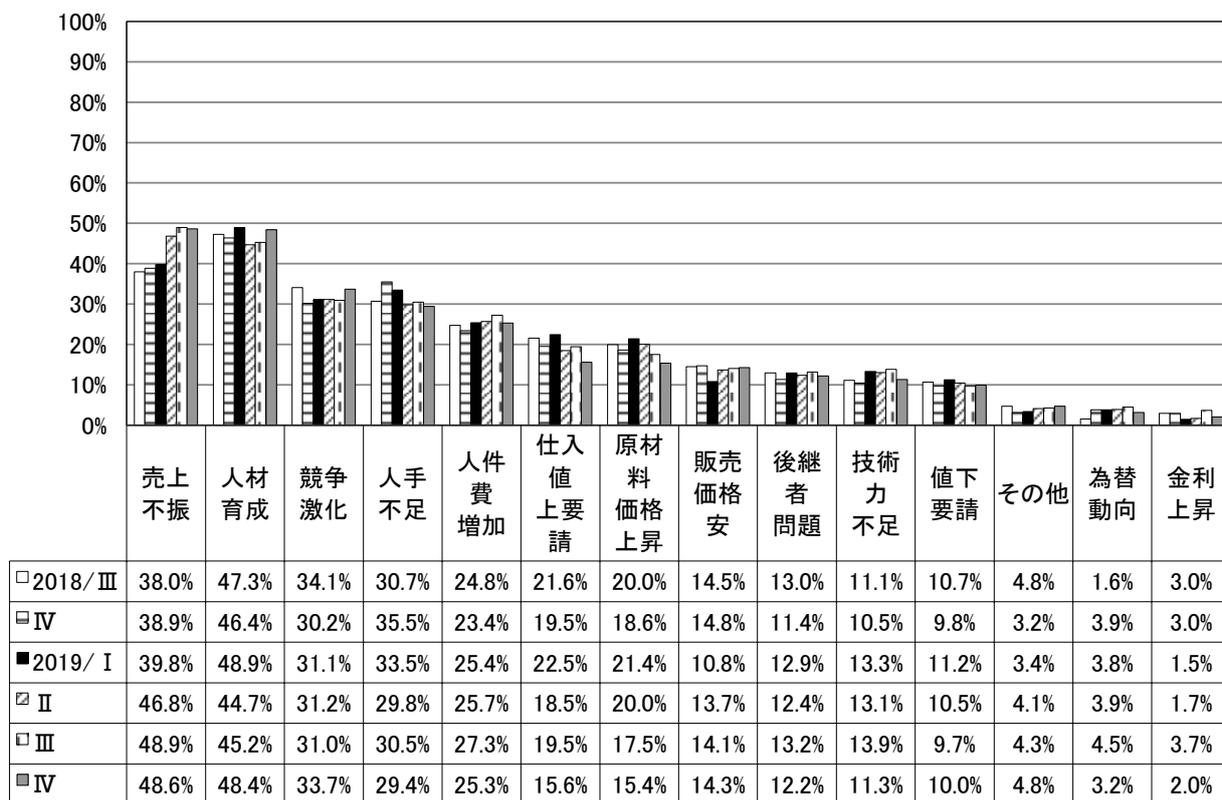
3 経営上の不安要素について

- 「売上不振」が微減も、引き続きトップ。続いて、「人材育成」、「競争激化」が高い水準となっている。
- 特に製造業では、8業種中5業種で「売上不振」がトップ。一方、非製造業では6業種中4業種で「人材育成」がトップとなった。

経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が前期より0.3ポイント低下するも48.6%を占め、引き続きトップ。以下、「人材育成」が48.4%、「競争激化」が33.7%、「人手不足」が29.4%、「人件費増加」が25.3%と続く。

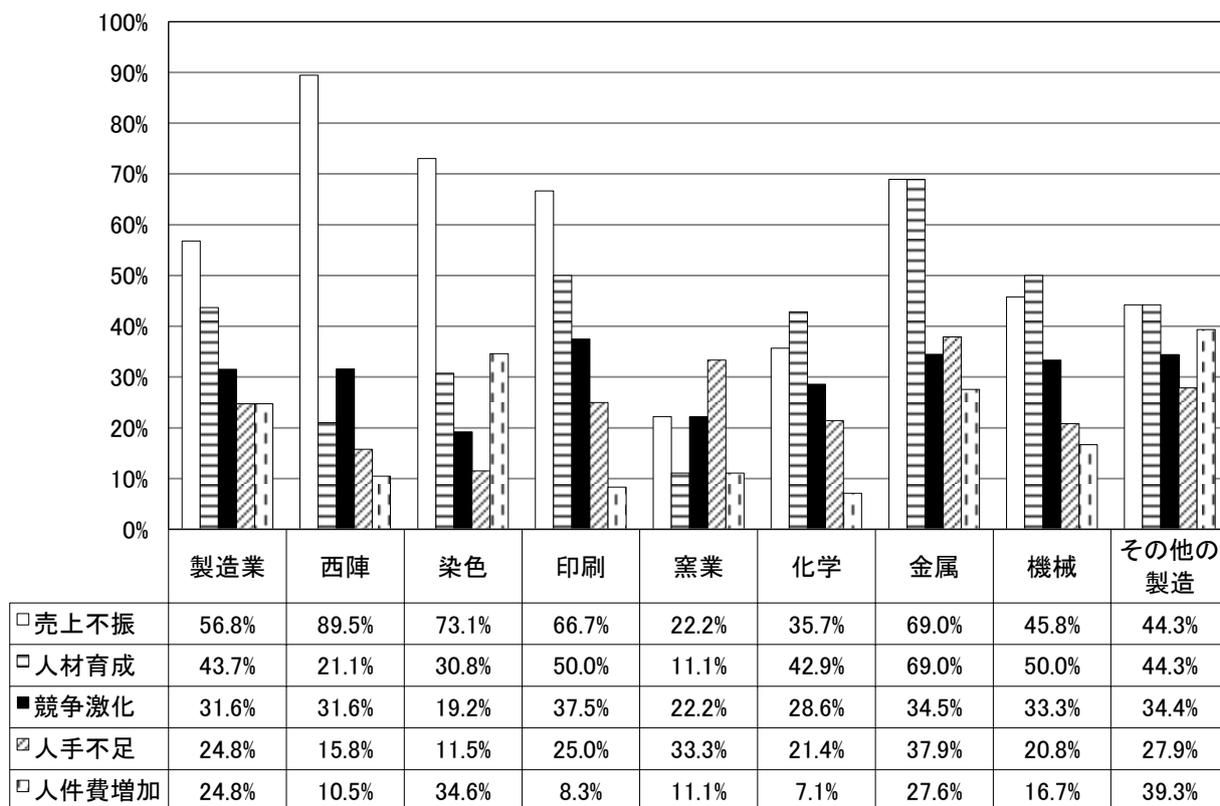
「売上不振」がトップとなったのは、製造業では8業種中、窯業、化学、機械以外の5業種であり、依然として販売低下傾向を示している企業が多くなっているようである。一方、非製造業6業種のうち、「売上不振」がトップとなったのは卸売及び小売の2業種。情報通信、飲食・宿泊、サービス、建設の4業種については「人材育成」がトップで、非製造業全体で見ると、依然として人の問題が経営上の一番の不安要素となっているようであり、製造業、非製造業のそれぞれで結果は分かれる形となった。

また、観光関連業種は前期トップの「人件費増加」、2位の「人手不足」が大きく減少し、回答割合は前期から大きく変わらないものの「売上不振」がトップとなった。

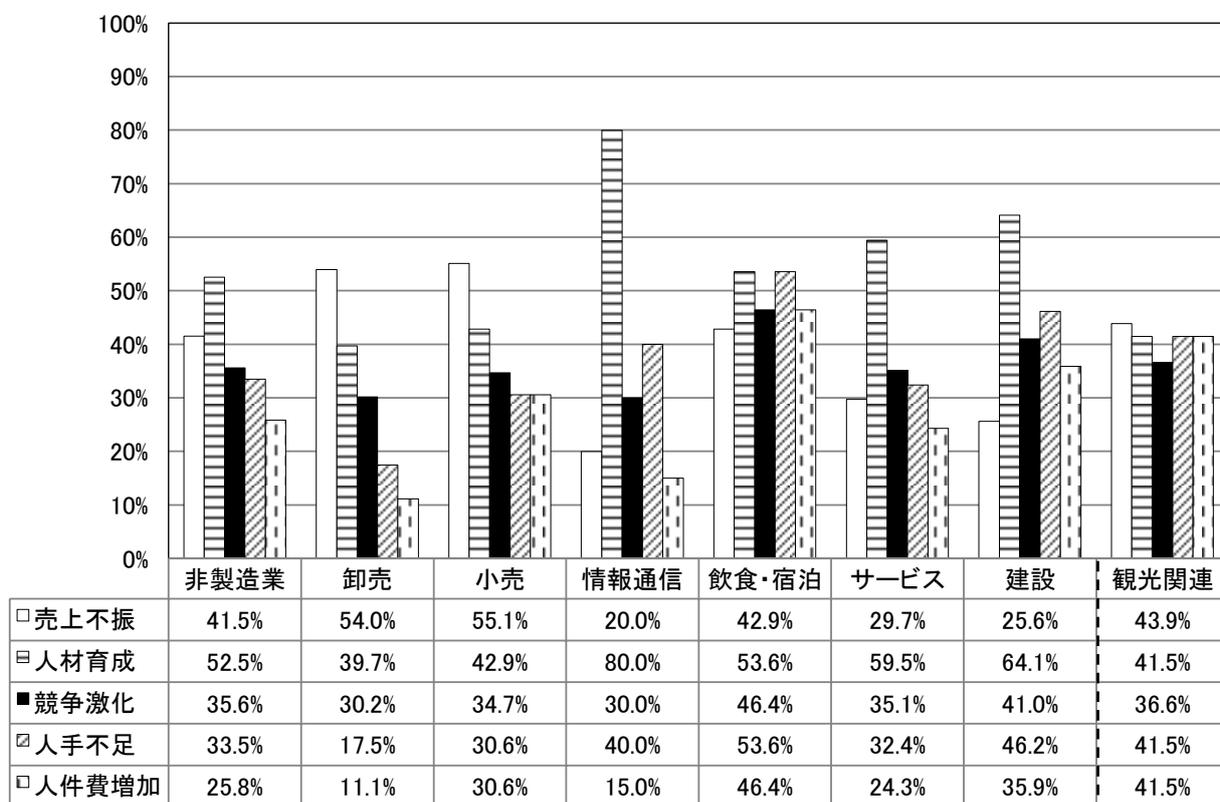


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

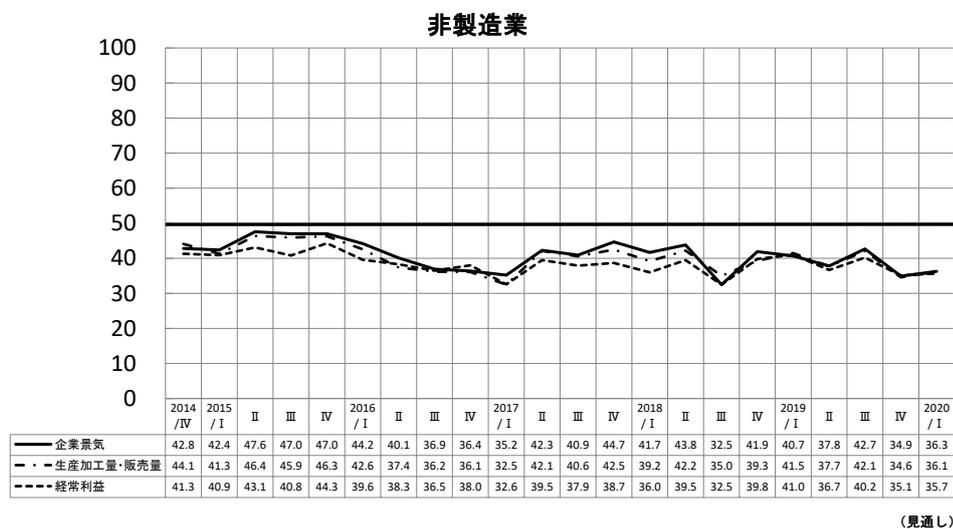
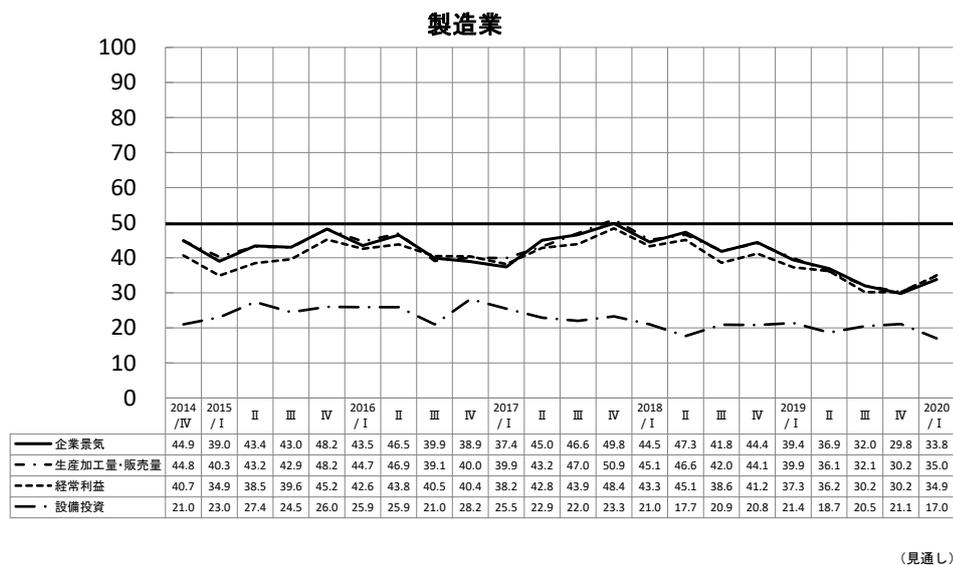
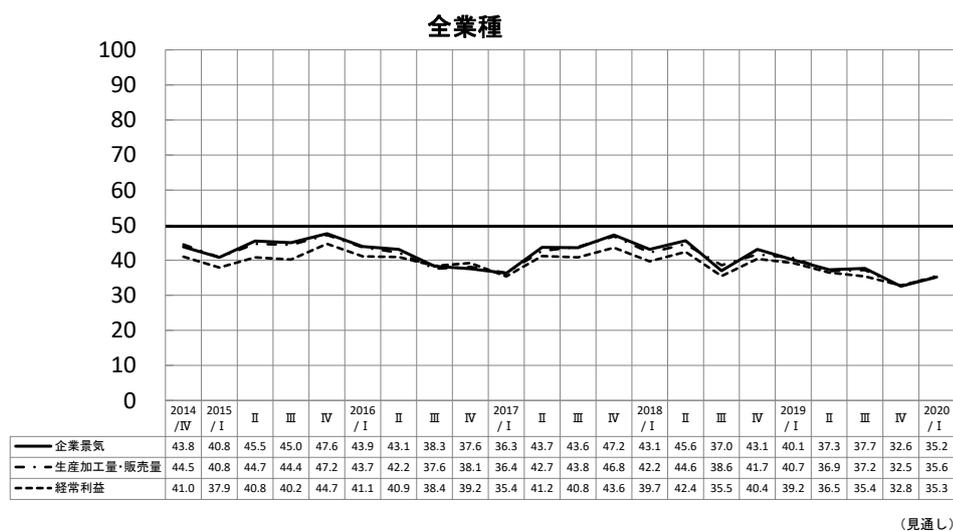
・経営上の不安要素・製造業主要回答



・経営上の不安要素・非製造業主要回答

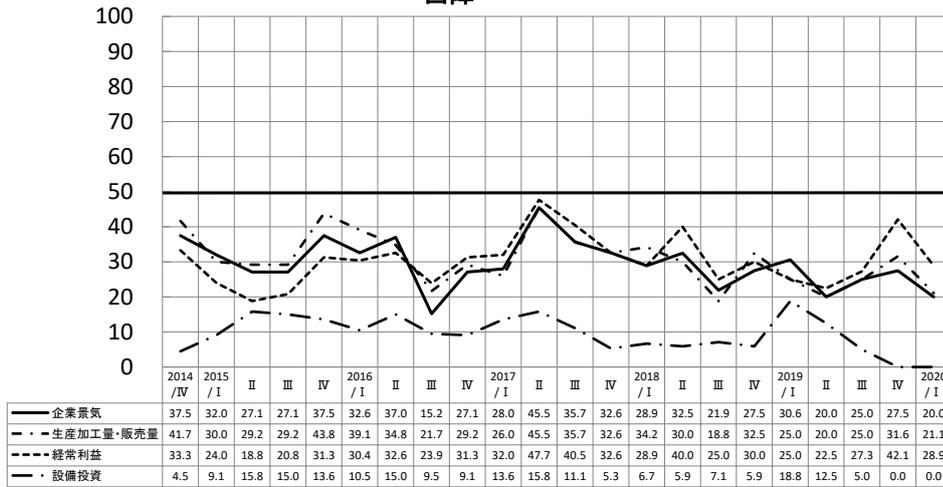


参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。



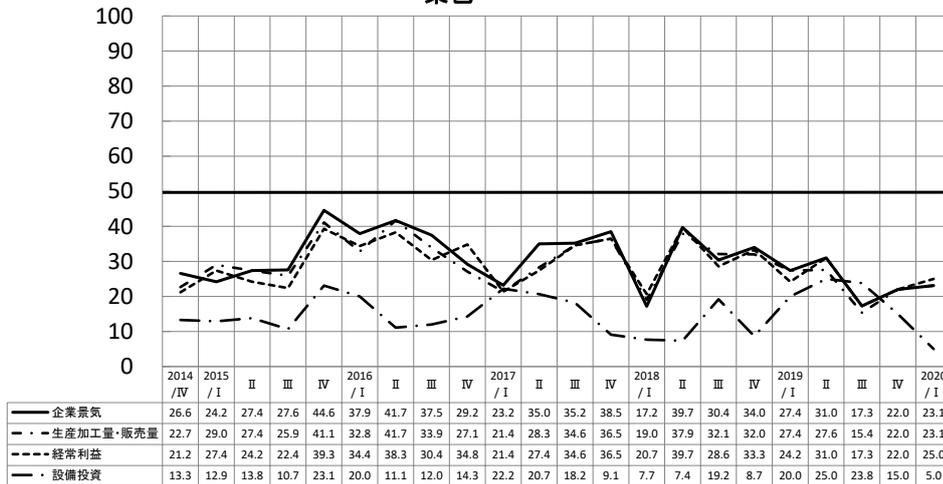
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



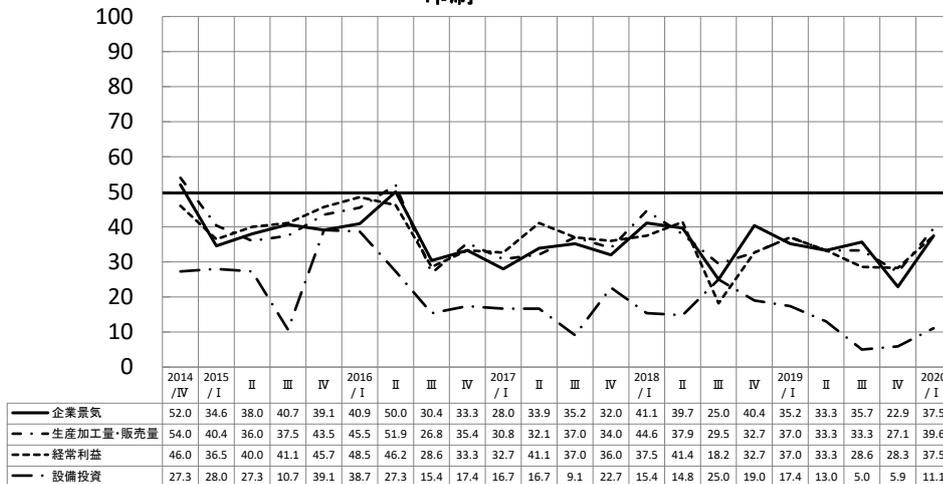
(見通し)

染色



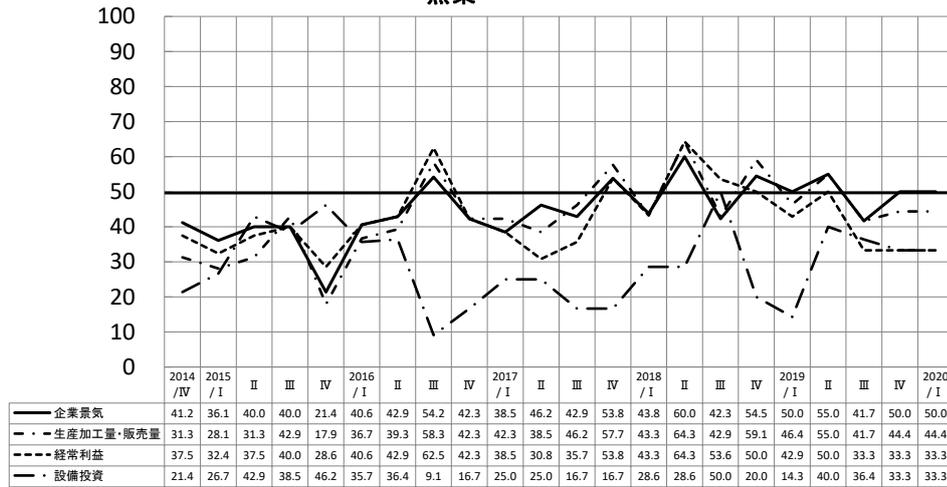
(見通し)

印刷



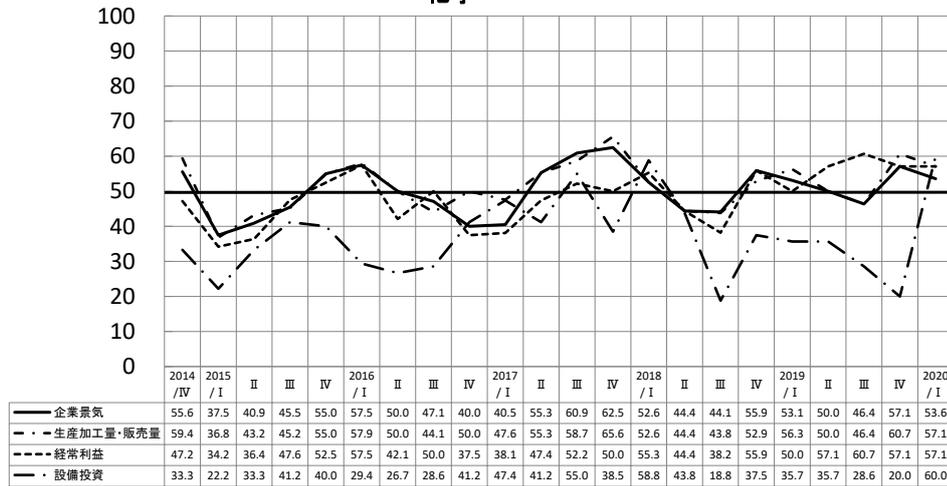
(見通し)

窯業



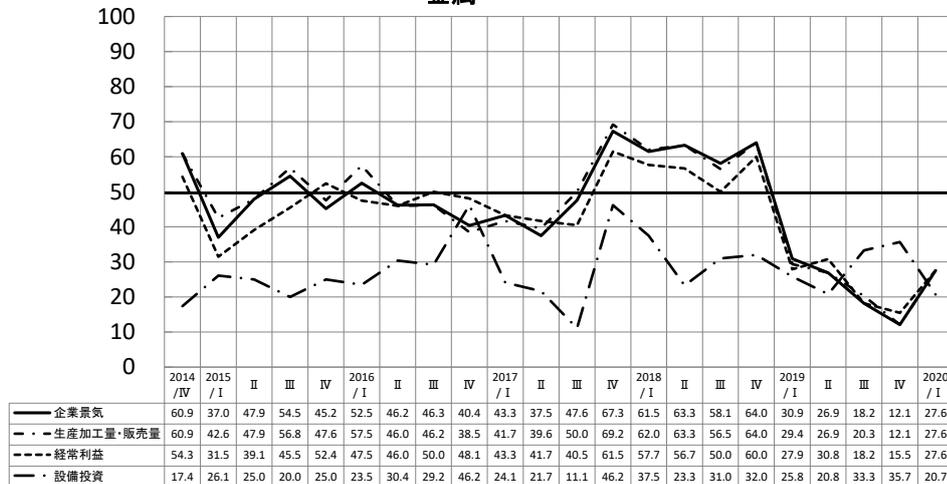
(見通し)

化学



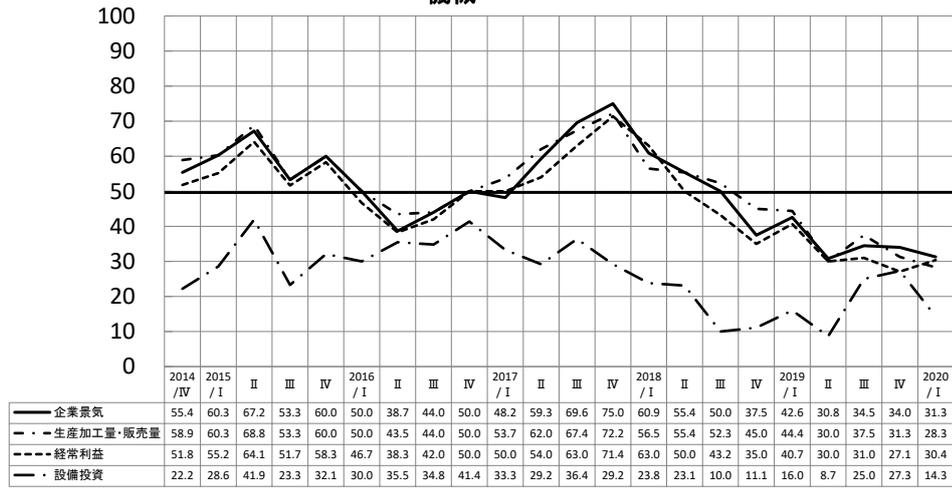
(見通し)

金属



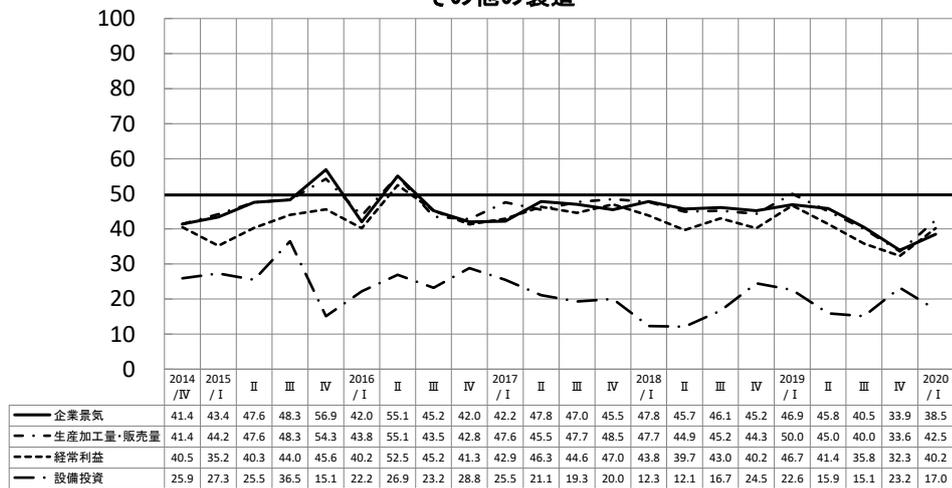
(見通し)

機械



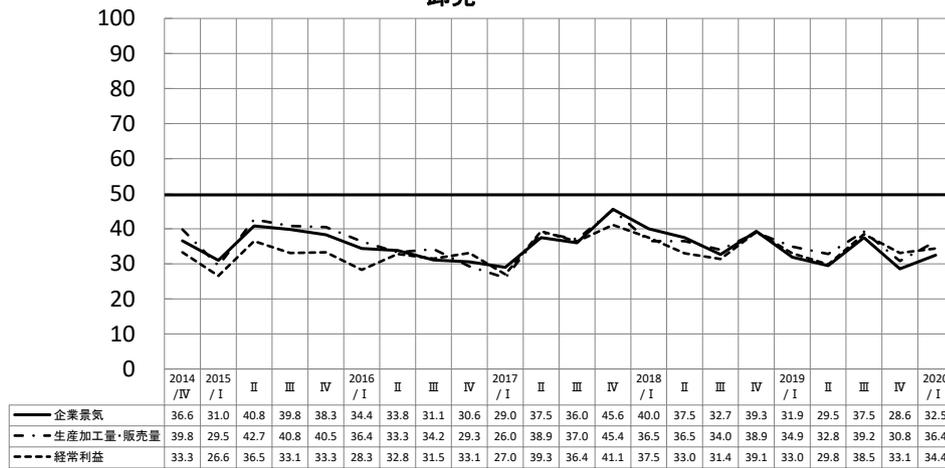
(見通し)

その他の製造



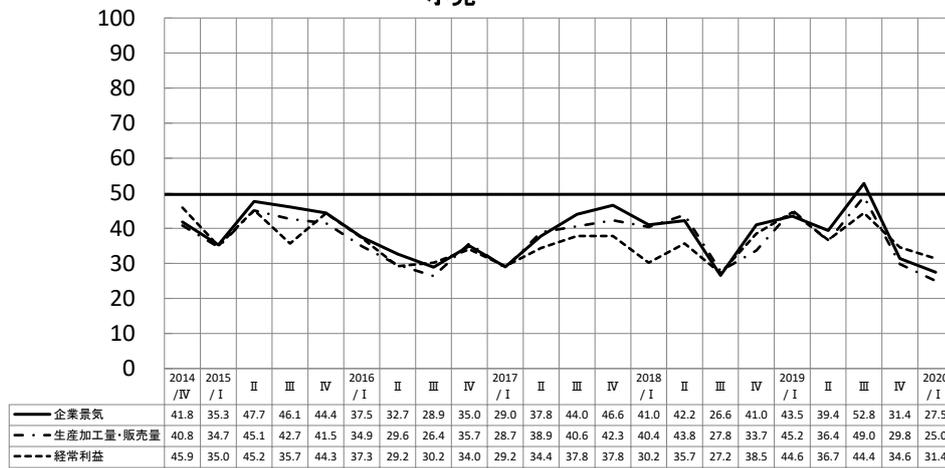
(見通し)

卸売



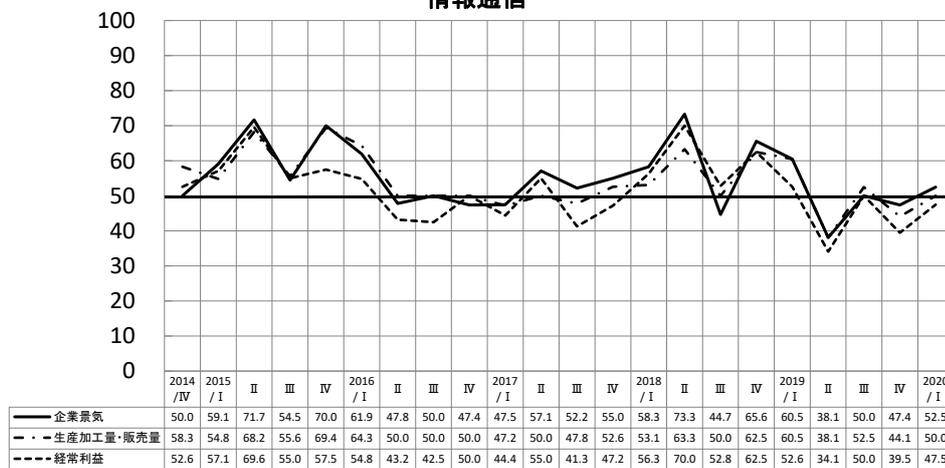
(見通し)

小売



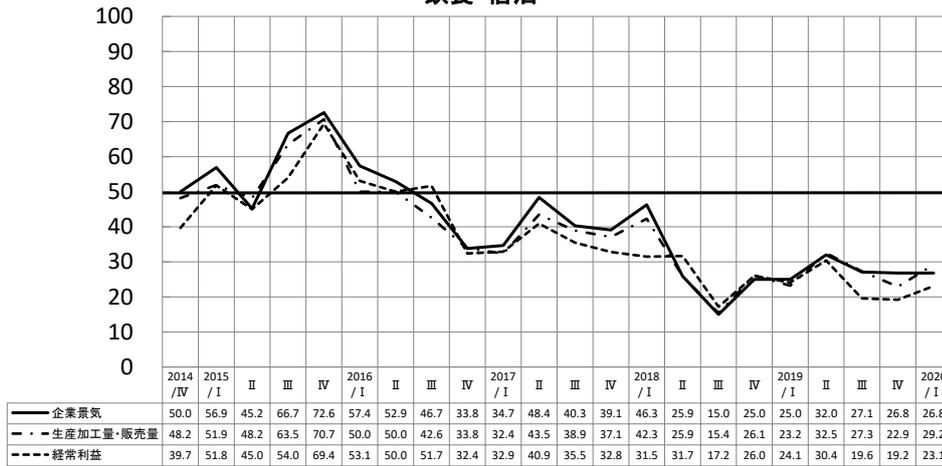
(見通し)

情報通信



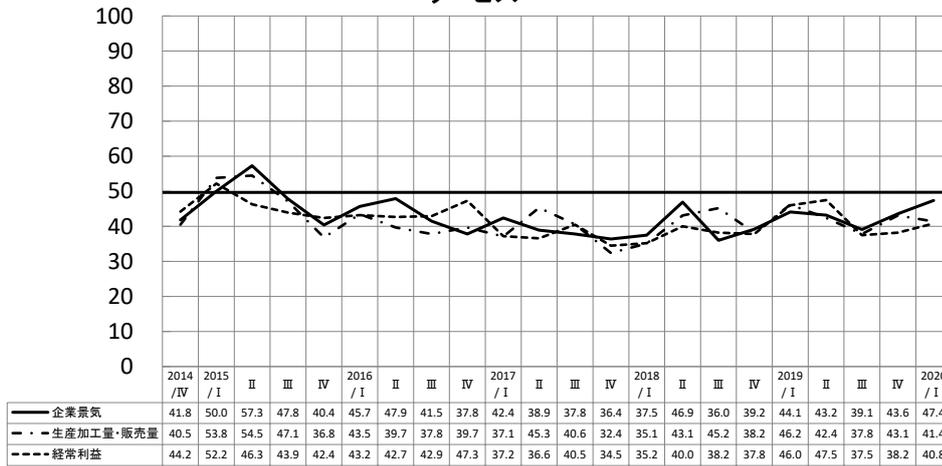
(見通し)

飲食・宿泊



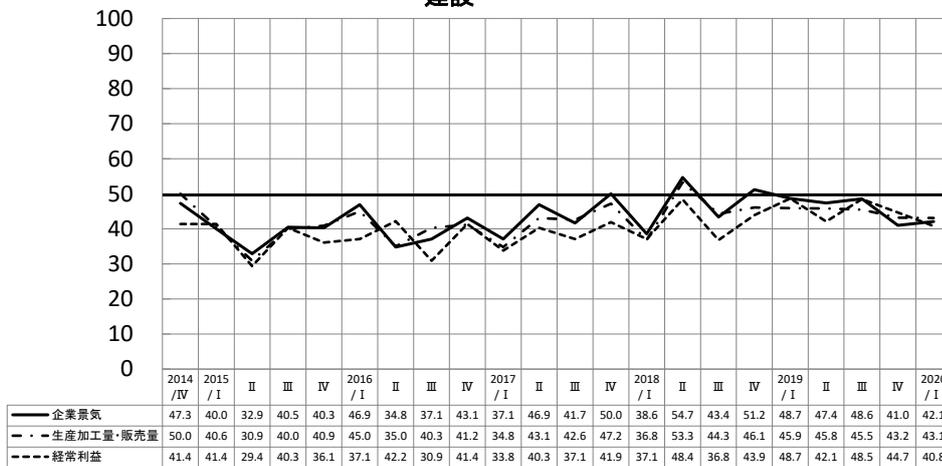
(見通し)

サービス



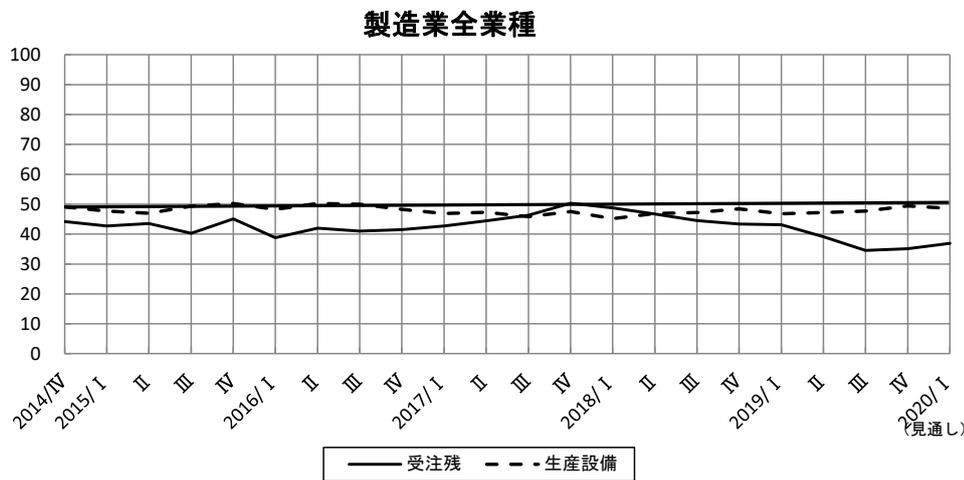
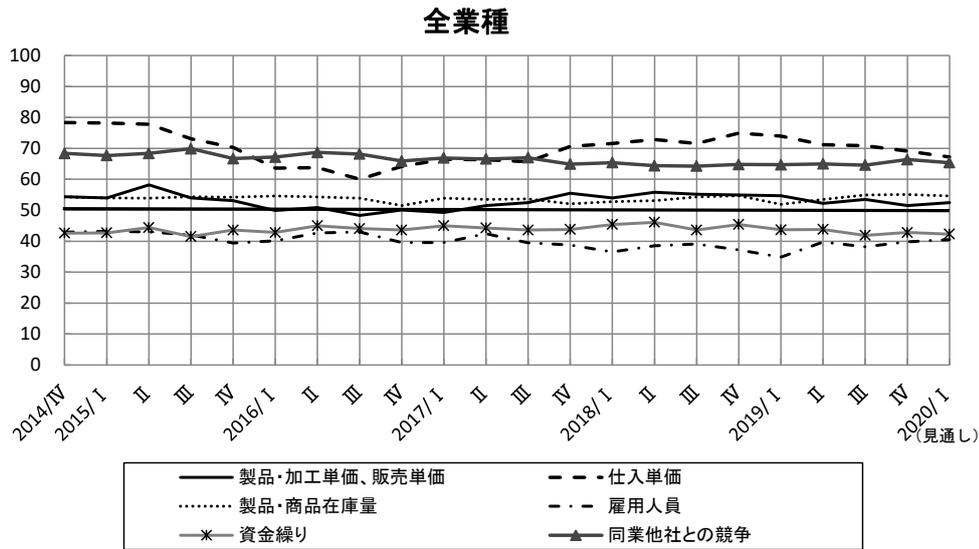
(見通し)

建設

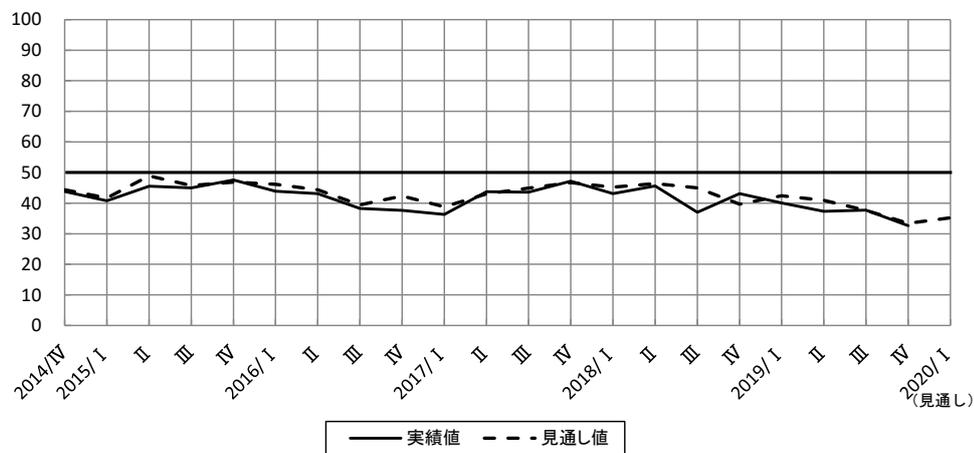


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	16
1. 企業景気.....	16
2. 生産加工量・販売量.....	18
3. 経常利益.....	20
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	22
5. 仕入単価.....	24
6. 製品・商品在庫量.....	26
7. 雇用人員.....	28
8. 資金繰り.....	30
9. 同業他社との競争.....	32
10. 受注残.....	34
11. 生産設備.....	35
12. 設備投資.....	36
(2) 当面の経営戦略について.....	37
(3) 経営上の不安要素について.....	46
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	56

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

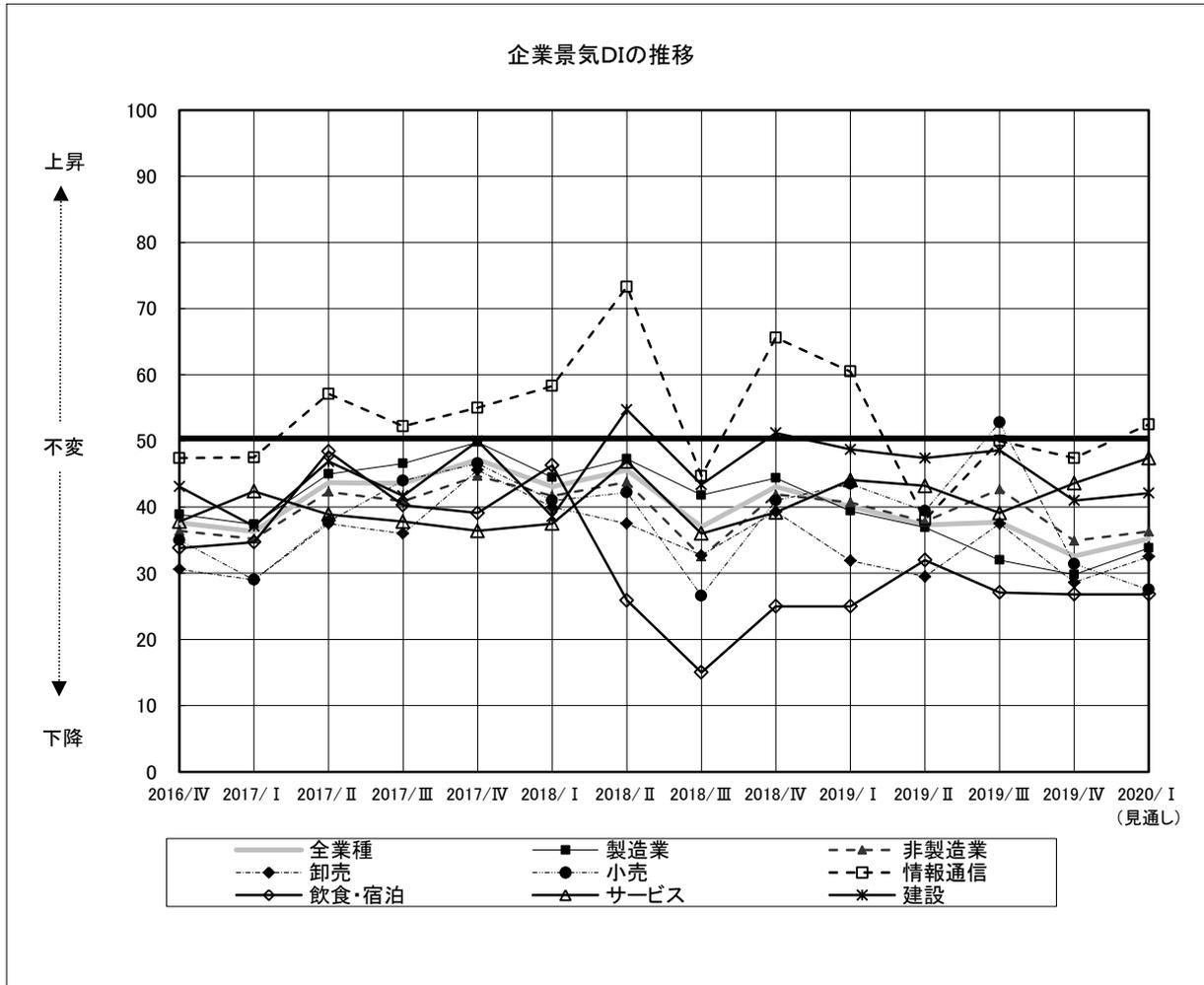


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

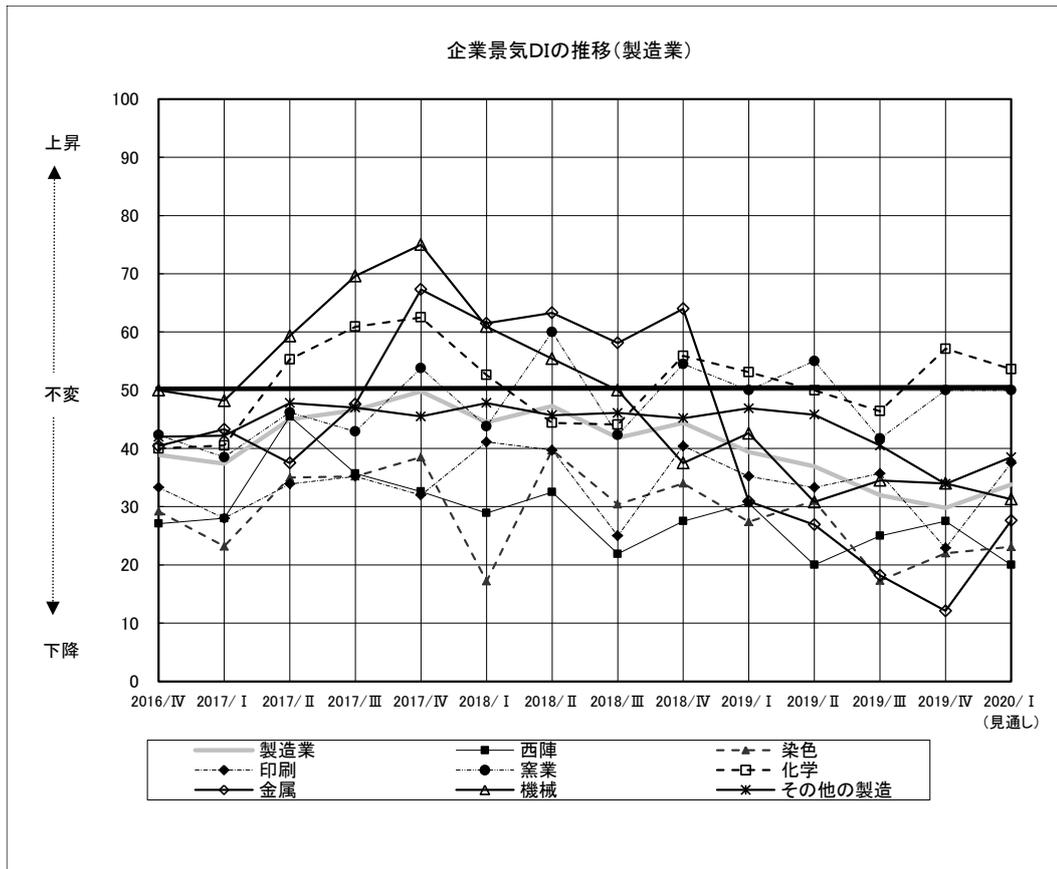


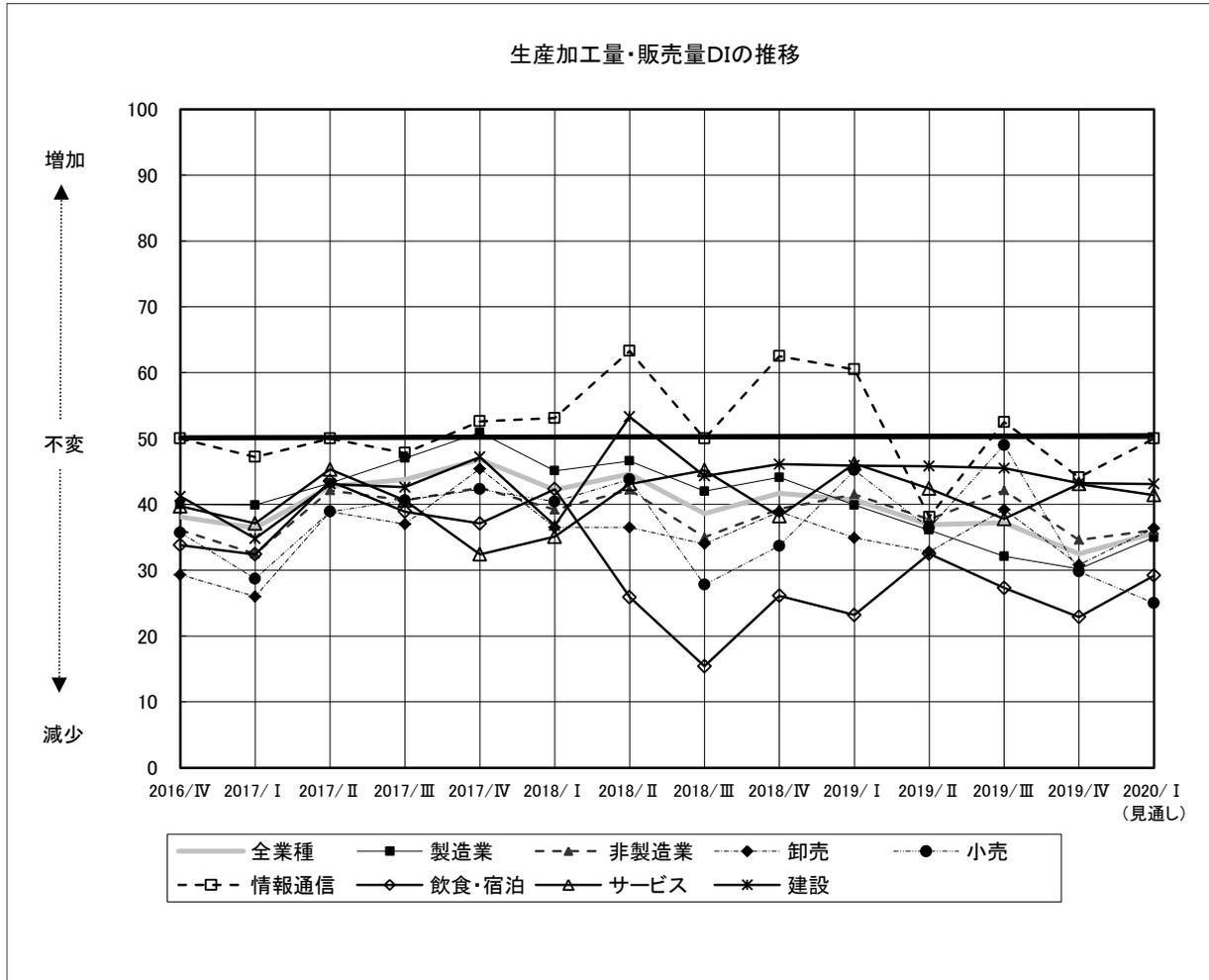
表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	37.7	32.6	▼ 5.1	△ 2.6
製造業	32.0	29.8	▼ 2.2	△ 4.0
西陣	25.0	27.5	△ 2.5	▼ 7.5
染色	17.3	22.0	△ 4.7	△ 1.1
印刷	35.7	22.9	▼ 12.8	△ 14.6
窯業	41.7	50.0	△ 8.3	0.0
化学	46.4	57.1	△ 10.7	▼ 3.5
金属	18.2	12.1	▼ 6.1	△ 15.5
機械	34.5	34.0	▼ 0.5	▼ 2.7
その他の製造	40.5	33.9	▼ 6.6	△ 4.6
非製造業	42.7	34.9	▼ 7.8	△ 1.4
卸売	37.5	28.6	▼ 8.9	△ 3.9
小売	52.8	31.4	▼ 21.4	▼ 3.9
情報通信	50.0	47.4	▼ 2.6	△ 5.1
飲食・宿泊	27.1	26.8	▼ 0.3	0.0
サービス	39.1	43.6	△ 4.5	△ 3.8
建設	48.6	41.0	▼ 7.6	△ 1.1
観光関連	32.9	25.6	▼ 7.3	△ 1.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）



3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移（全体）

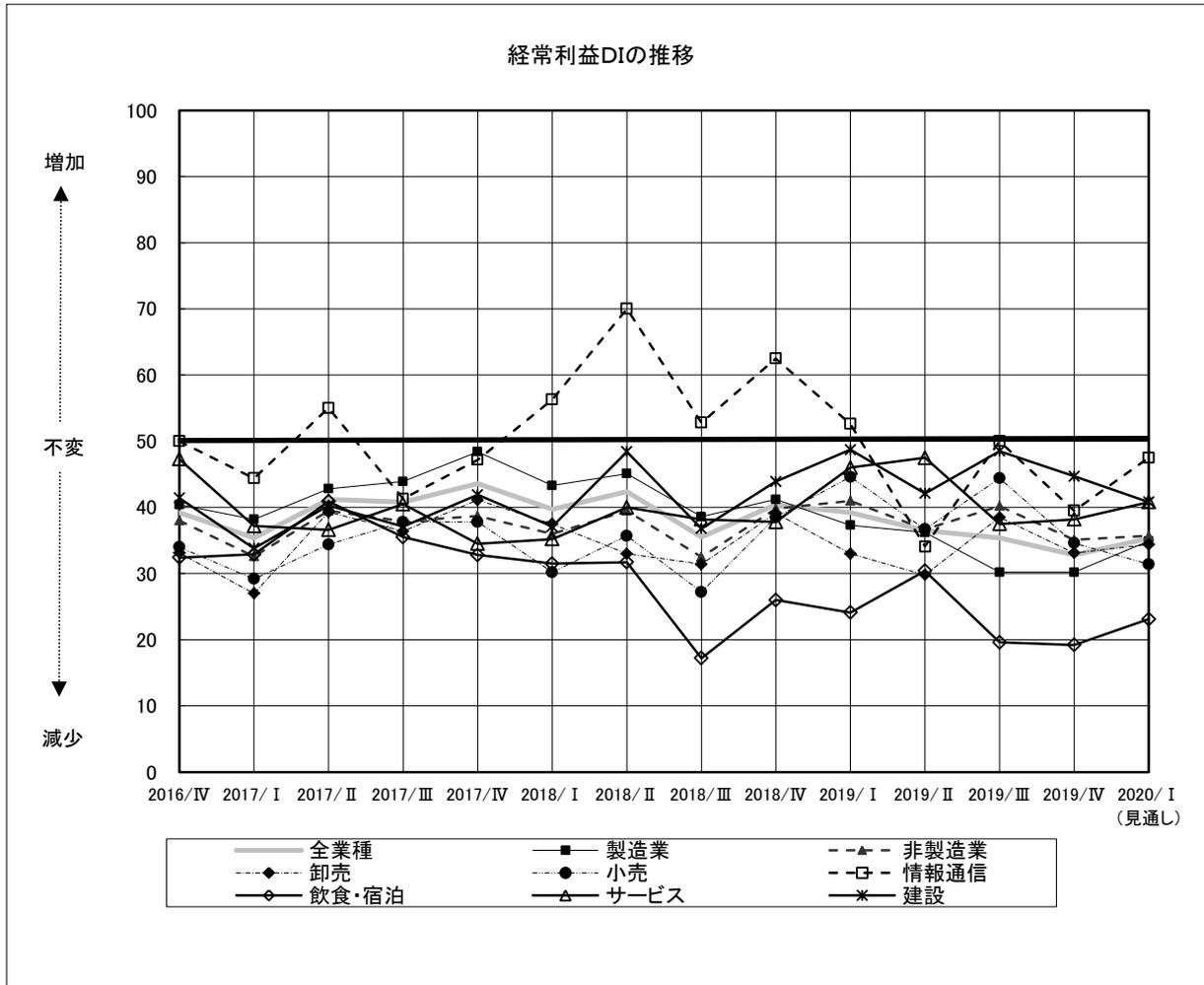


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

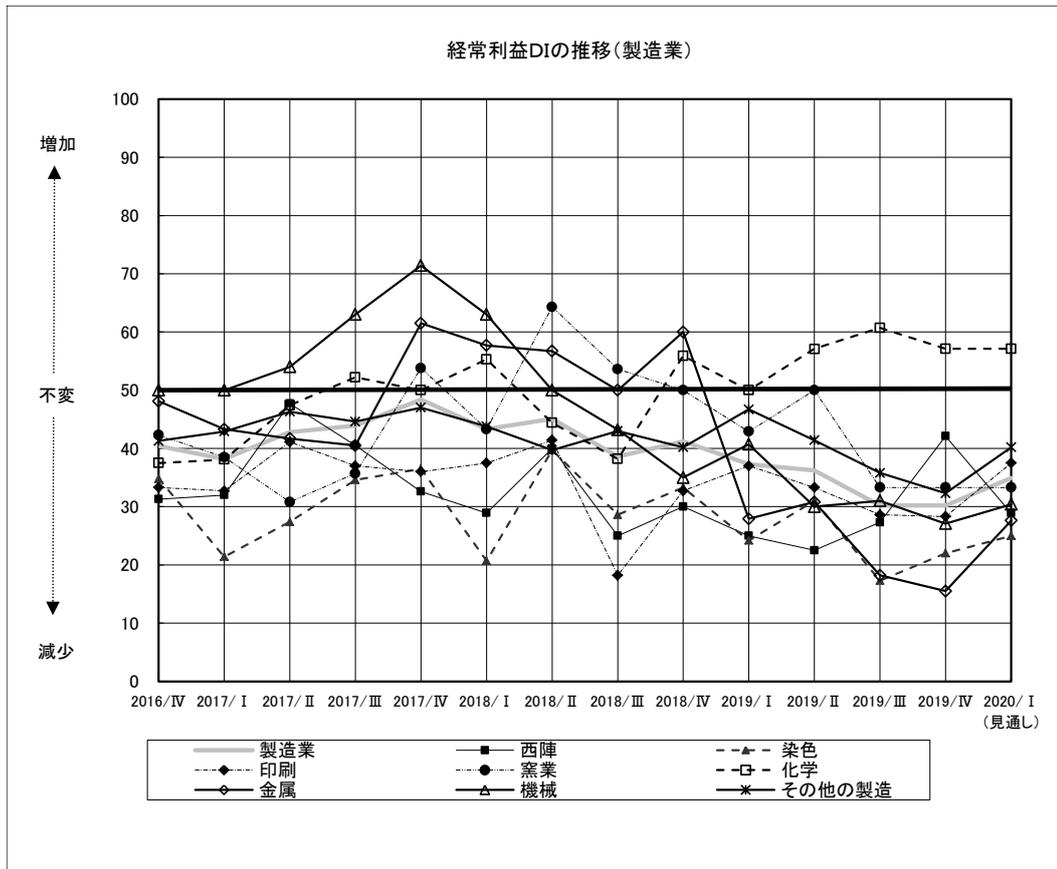


表3. 経常利益DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	35.4	32.8	▼ 2.6	35.3 △ 2.5
製造業	30.2	30.2	0.0	34.9 △ 4.7
西陣	27.3	42.1	△ 14.8	28.9 ▼ 13.2
染色	17.3	22.0	△ 4.7	25.0 △ 3.0
印刷	28.6	28.3	▼ 0.3	37.5 △ 9.2
窯業	33.3	33.3	0.0	33.3 0.0
化学	60.7	57.1	▼ 3.6	57.1 0.0
金属	18.2	15.5	▼ 2.7	27.6 △ 12.1
機械	31.0	27.1	▼ 3.9	30.4 △ 3.3
その他の製造	35.8	32.3	▼ 3.5	40.2 △ 7.9
非製造業	40.2	35.1	▼ 5.1	35.7 △ 0.6
卸売	38.5	33.1	▼ 5.4	34.4 △ 1.3
小売	44.4	34.6	▼ 9.8	31.4 ▼ 3.2
情報通信	50.0	39.5	▼ 10.5	47.5 △ 8.0
飲食・宿泊	19.6	19.2	▼ 0.4	23.1 △ 3.9
サービス	37.5	38.2	△ 0.7	40.8 △ 2.6
建設	48.5	44.7	▼ 3.8	40.8 ▼ 3.9
観光関連	33.3	19.2	▼ 14.1	19.2 0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

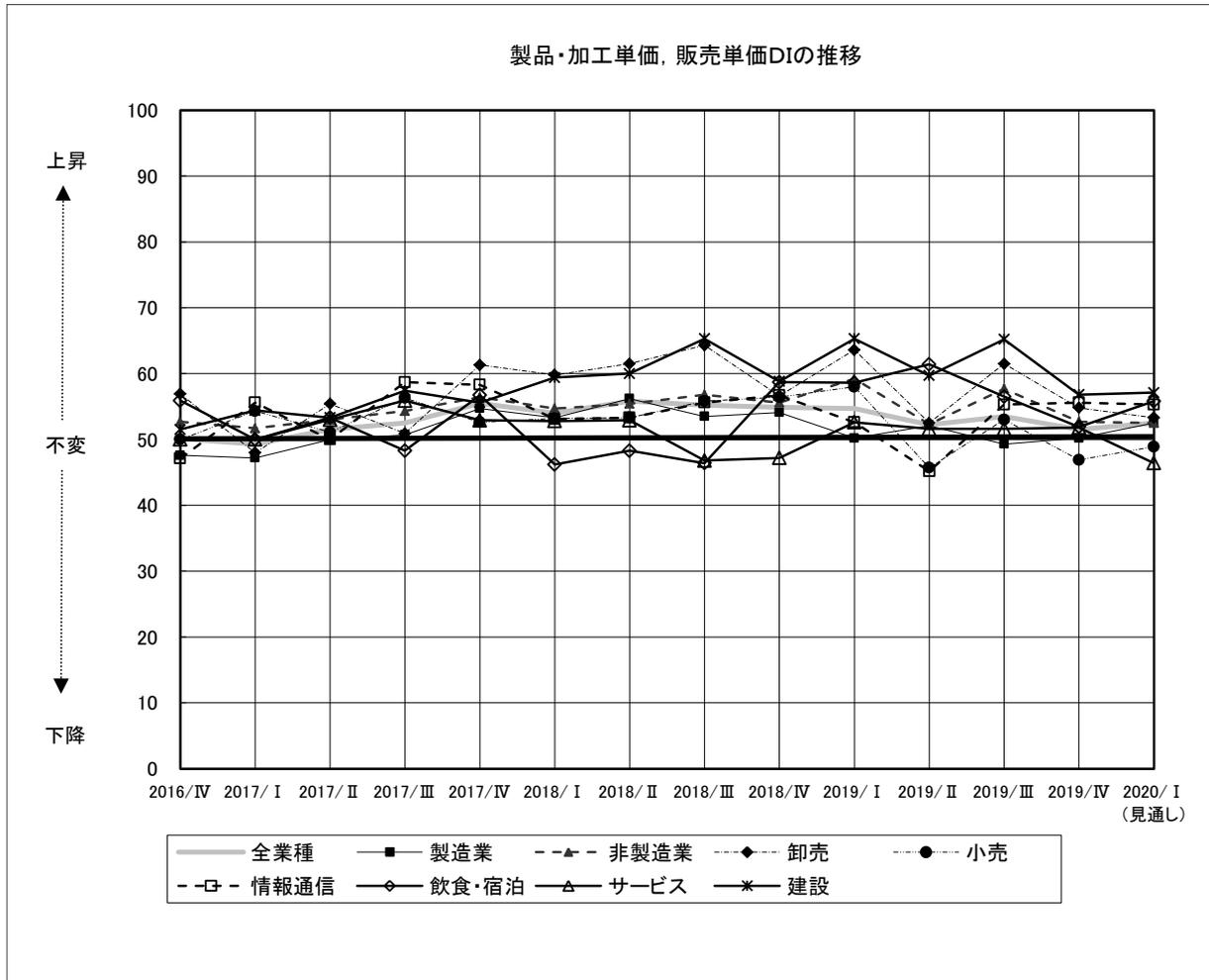


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

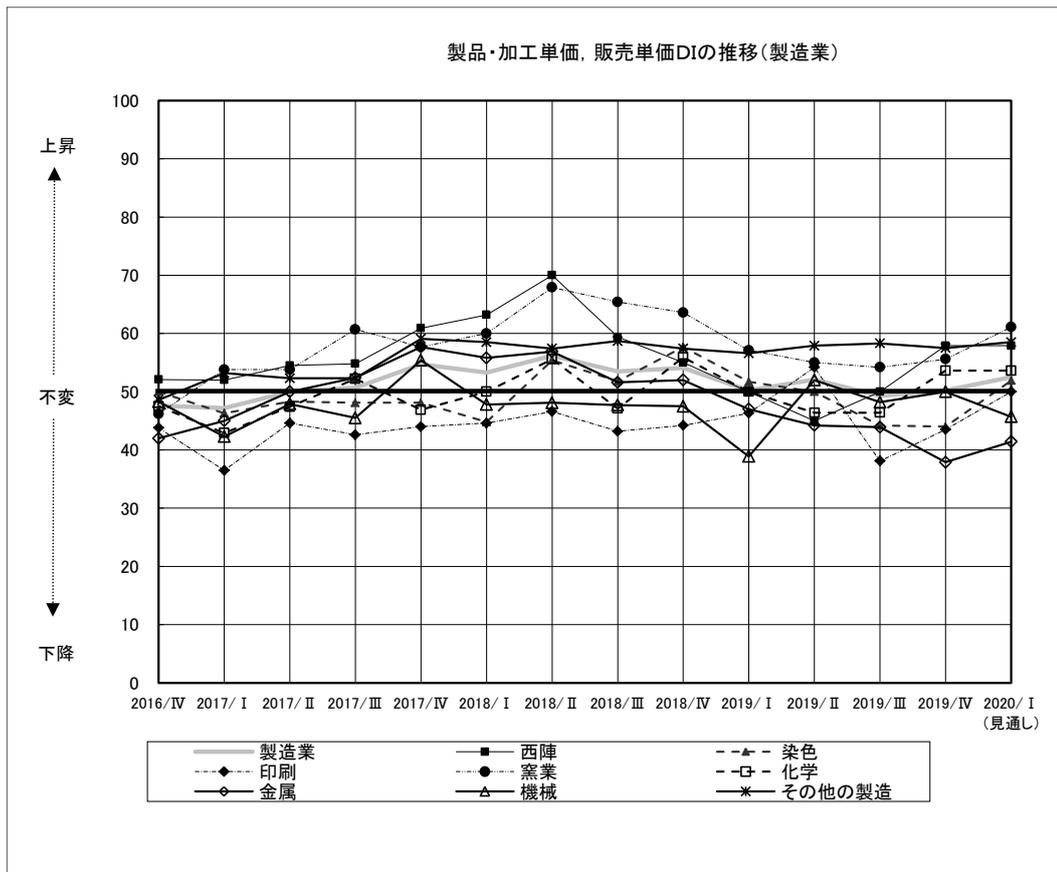


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	53.5	51.5	▼ 2.0	52.5	△ 1.0
製造業	49.3	50.2	△ 0.9	52.5	△ 2.3
西陣	50.0	57.9	△ 7.9	57.9	0.0
染色	44.2	44.0	▼ 0.2	51.9	△ 7.9
印刷	38.1	43.5	△ 5.4	50.0	△ 6.5
窯業	54.2	55.6	△ 1.4	61.1	△ 5.5
化学	46.4	53.6	△ 7.2	53.6	0.0
金属	43.9	37.9	▼ 6.0	41.4	△ 3.5
機械	48.2	50.0	△ 1.8	45.7	▼ 4.3
その他の製造	58.3	57.5	▼ 0.8	58.5	△ 1.0
非製造業	57.7	52.7	▼ 5.0	52.5	▼ 0.2
卸売	61.5	54.8	▼ 6.7	53.3	▼ 1.5
小売	53.0	46.9	▼ 6.1	48.9	△ 2.0
情報通信	55.3	55.6	△ 0.3	55.3	▼ 0.3
飲食・宿泊	56.5	51.9	▼ 4.6	55.8	△ 3.9
サービス	51.6	51.8	△ 0.2	46.4	▼ 5.4
建設	65.2	56.8	▼ 8.4	57.1	△ 0.3
観光関連	52.7	55.1	△ 2.4	55.1	0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

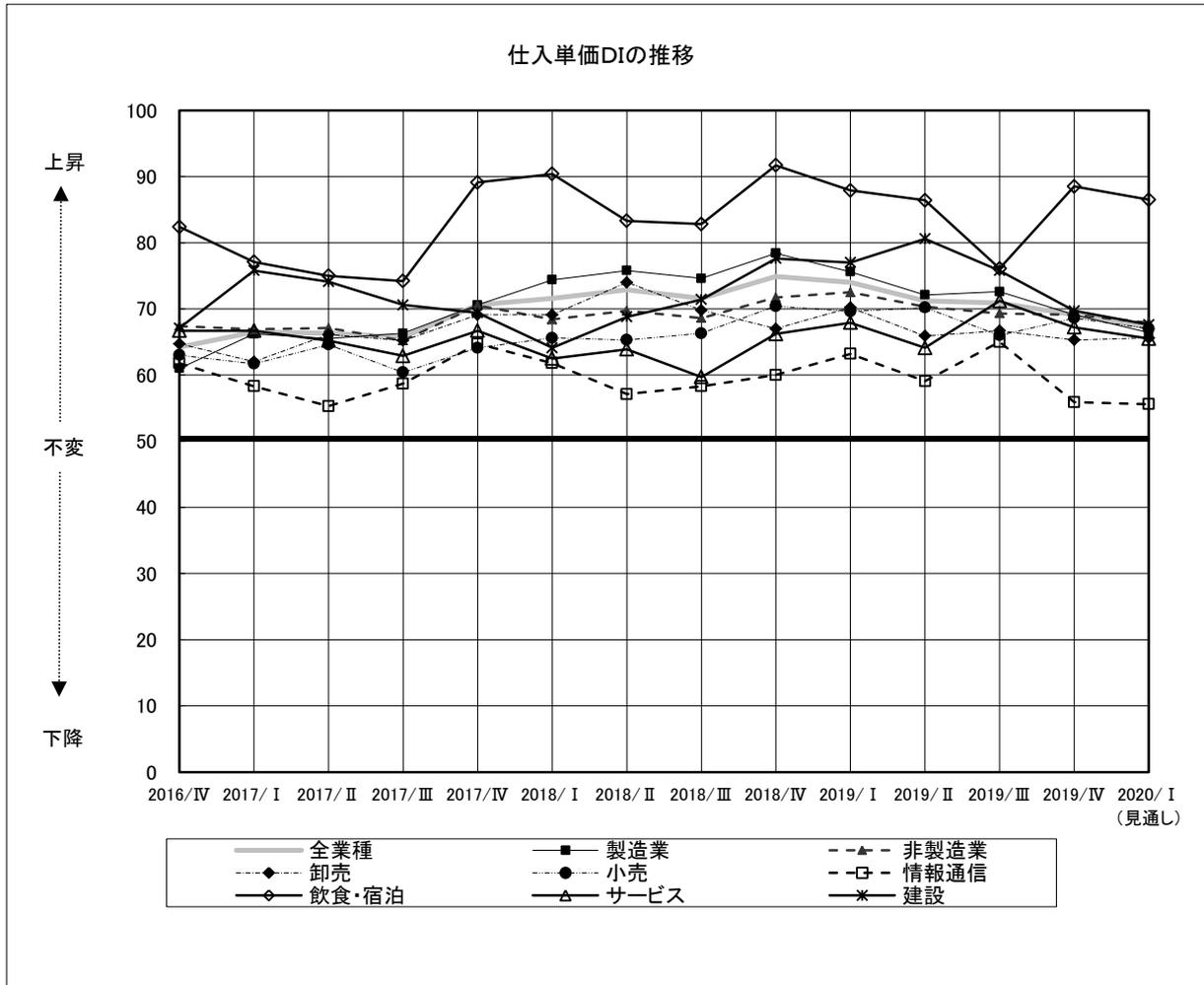


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

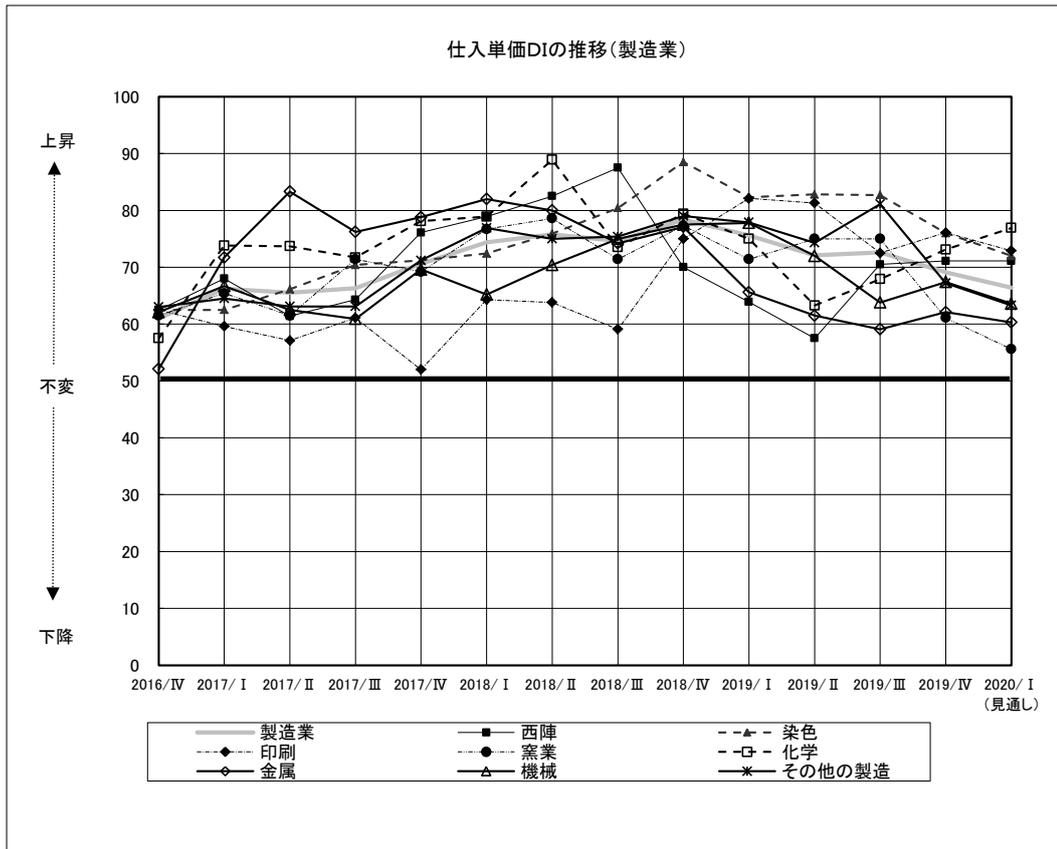


表5. 仕入単価DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	70.9	69.1	▼ 1.8	67.2
製造業	72.6	69.1	▼ 3.5	66.4
西陣	70.5	71.1	△ 0.6	71.1
染色	82.7	76.0	▼ 6.7	72.0
印刷	72.5	76.1	△ 3.6	72.9
窯業	75.0	61.1	▼ 13.9	55.6
化学	67.9	73.1	△ 5.2	76.9
金属	59.1	62.1	△ 3.0	60.3
機械	63.8	67.4	△ 3.6	63.6
その他の製造	81.1	67.2	▼ 13.9	63.3
非製造業	69.3	69.1	▼ 0.2	67.9
卸売	66.7	65.3	▼ 1.4	65.6
小売	66.0	68.6	△ 2.6	67.0
情報通信	65.0	55.9	▼ 9.1	55.6
飲食・宿泊	76.1	88.5	△ 12.4	86.5
サービス	71.2	67.2	▼ 4.0	65.5
建設	75.8	69.7	▼ 6.1	67.6
観光関連	73.6	78.2	△ 4.6	71.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

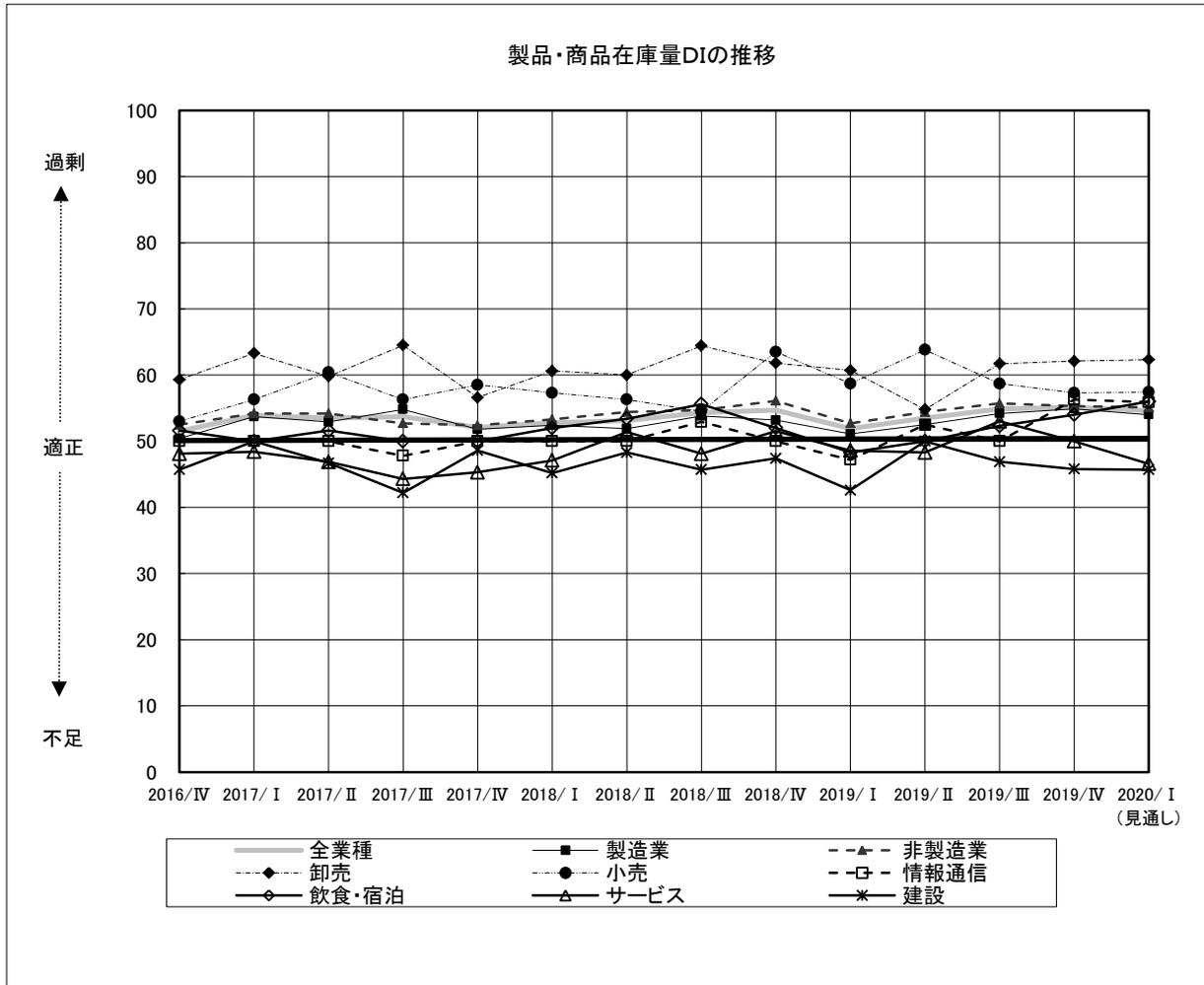


図12. 製品・商品在庫量DIの推移（製造業）

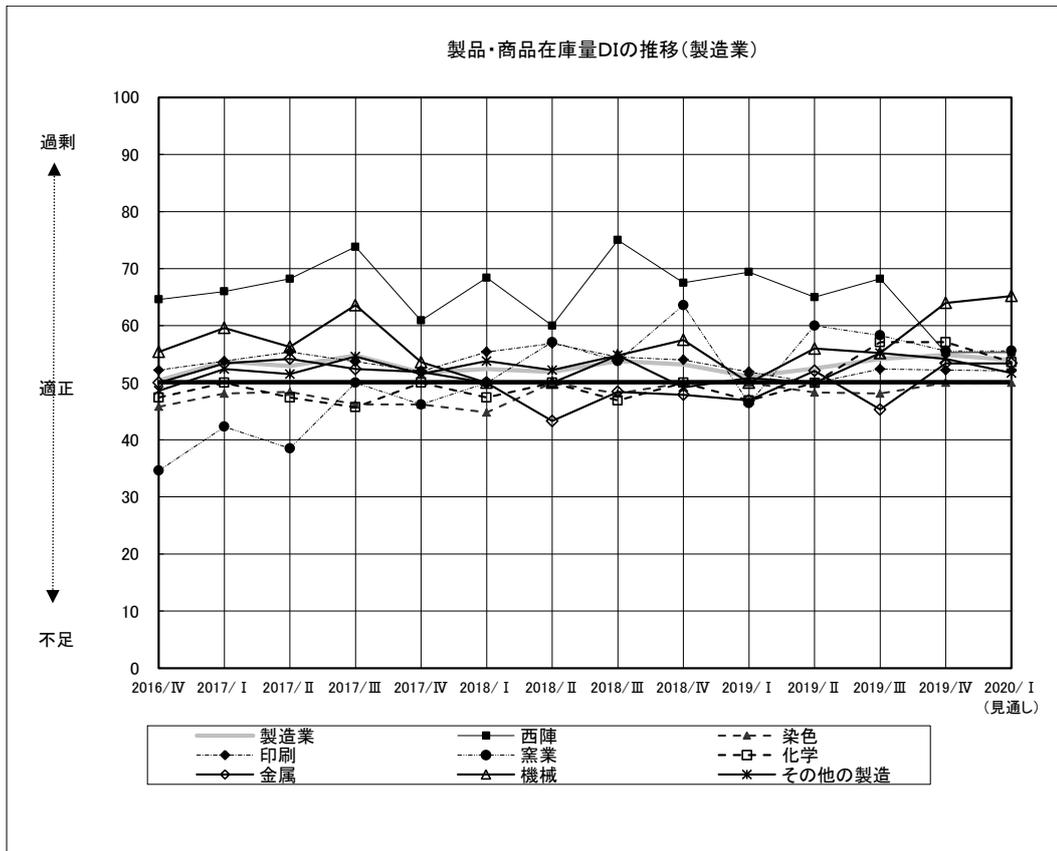


表6. 製品・商品在庫量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	54.9	55.1	△ 0.2	54.6	▼ 0.5
製造業	54.2	54.9	△ 0.7	54.0	▼ 0.9
西陣	68.2	55.3	▼ 12.9	55.3	0.0
染色	48.1	50.0	△ 1.9	50.0	0.0
印刷	52.4	52.2	▼ 0.2	52.1	▼ 0.1
窯業	58.3	55.6	▼ 2.7	55.6	0.0
化学	57.1	57.1	0.0	53.6	▼ 3.5
金属	45.3	53.4	△ 8.1	53.4	0.0
機械	55.2	64.0	△ 8.8	65.2	△ 1.2
その他の製造	55.2	54.2	▼ 1.0	51.7	▼ 2.5
非製造業	55.7	55.3	▼ 0.4	55.1	▼ 0.2
卸売	61.7	62.1	△ 0.4	62.3	△ 0.2
小売	58.7	57.3	▼ 1.4	57.4	△ 0.1
情報通信	50.0	56.3	△ 6.3	55.9	▼ 0.4
飲食・宿泊	52.3	54.0	△ 1.7	56.0	△ 2.0
サービス	53.0	50.0	▼ 3.0	46.6	▼ 3.4
建設	46.9	45.8	▼ 1.1	45.7	▼ 0.1
観光関連	56.9	57.7	△ 0.8	57.7	0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図13. 雇用人員DIの推移 (全体)

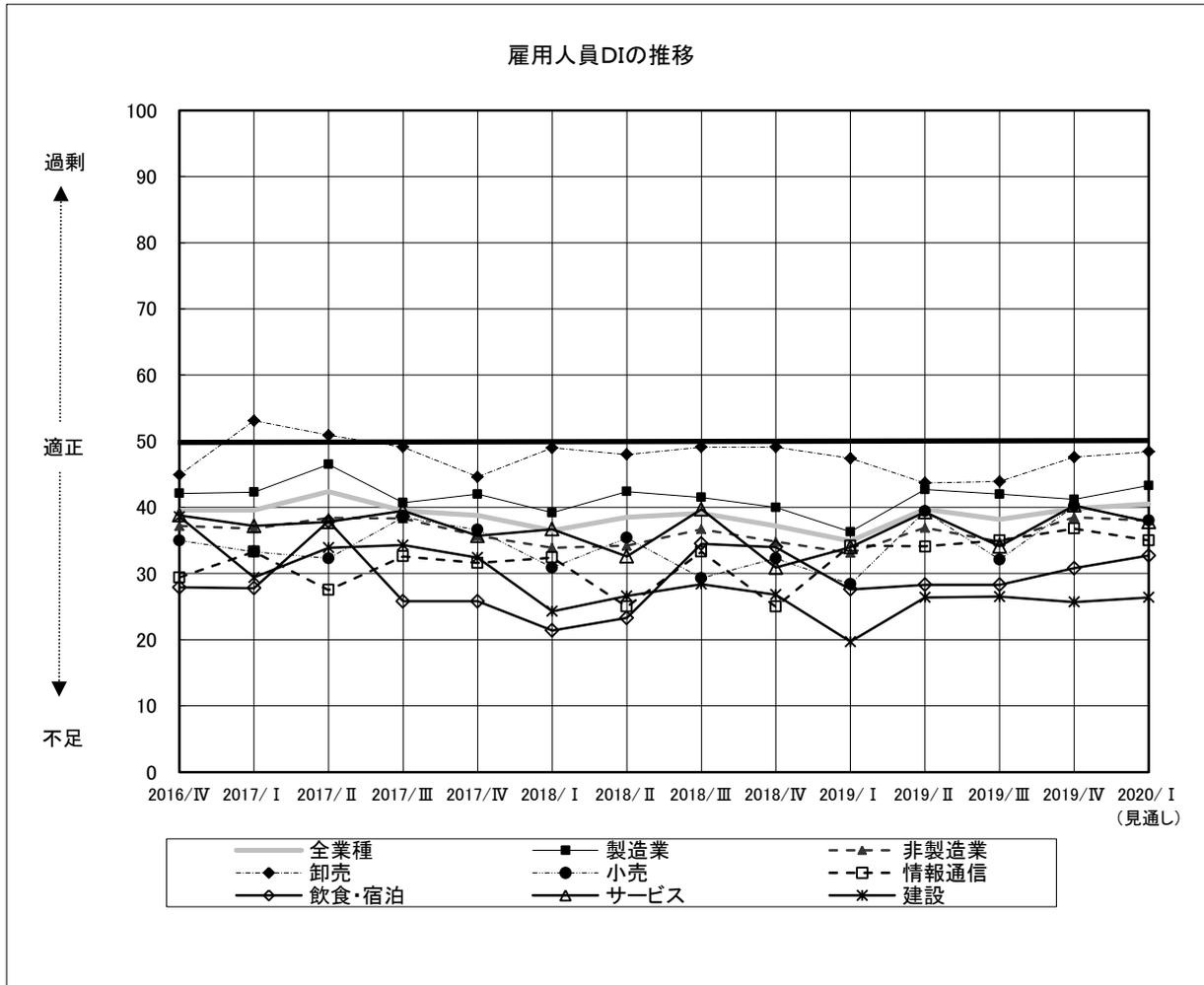


図14. 雇用人員DIの推移（製造業）

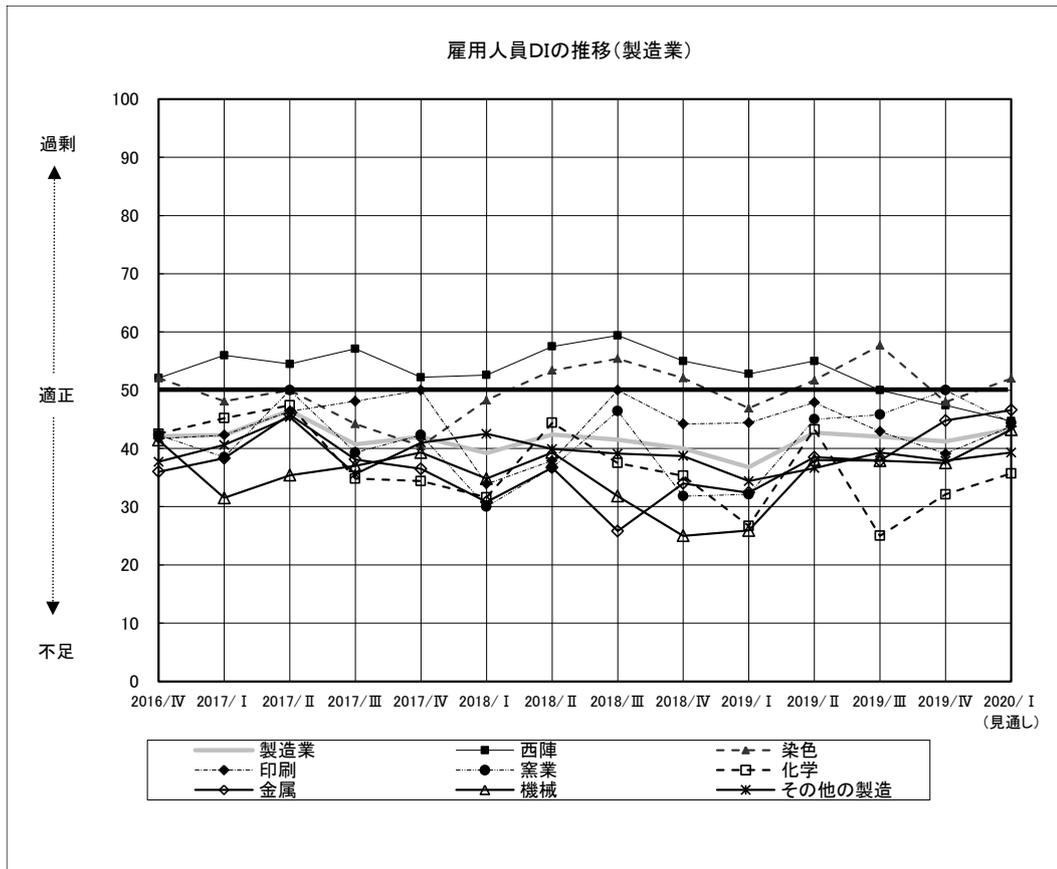


表7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	38.2	39.8	△ 1.6	△ 0.7
製造業	42.0	41.2	▼ 0.8	△ 2.1
西陣	50.0	47.4	▼ 2.6	▼ 2.7
染色	57.7	48.0	▼ 9.7	△ 4.0
印刷	42.9	39.1	▼ 3.8	△ 4.7
窯業	45.8	50.0	△ 4.2	▼ 5.6
化学	25.0	32.1	△ 7.1	△ 3.6
金属	37.9	44.8	△ 6.9	△ 1.8
機械	37.9	37.5	▼ 0.4	△ 5.7
その他の製造	39.3	37.9	▼ 1.4	△ 1.4
非製造業	34.8	38.5	△ 3.7	▼ 0.5
卸売	43.9	47.6	△ 3.7	△ 0.8
小売	32.1	40.2	△ 8.1	▼ 2.2
情報通信	35.0	36.8	△ 1.8	▼ 1.8
飲食・宿泊	28.3	30.8	△ 2.5	△ 1.9
サービス	34.1	40.3	△ 6.2	▼ 2.5
建設	26.5	25.7	▼ 0.8	△ 0.7
観光関連	31.1	35.9	△ 4.8	△ 2.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図15. 資金繰りDIの推移（全体）

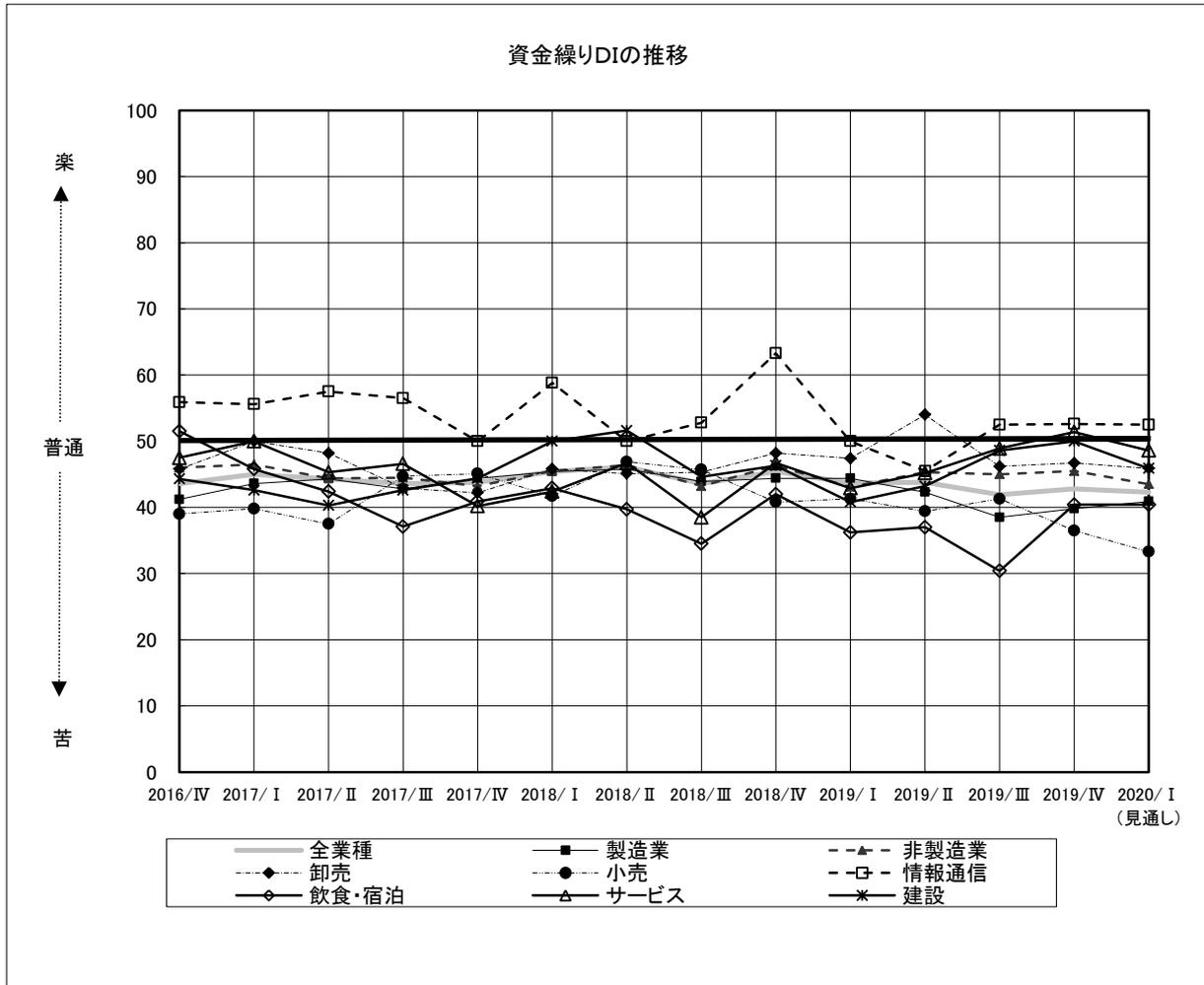


図16. 資金繰りDIの推移（製造業）

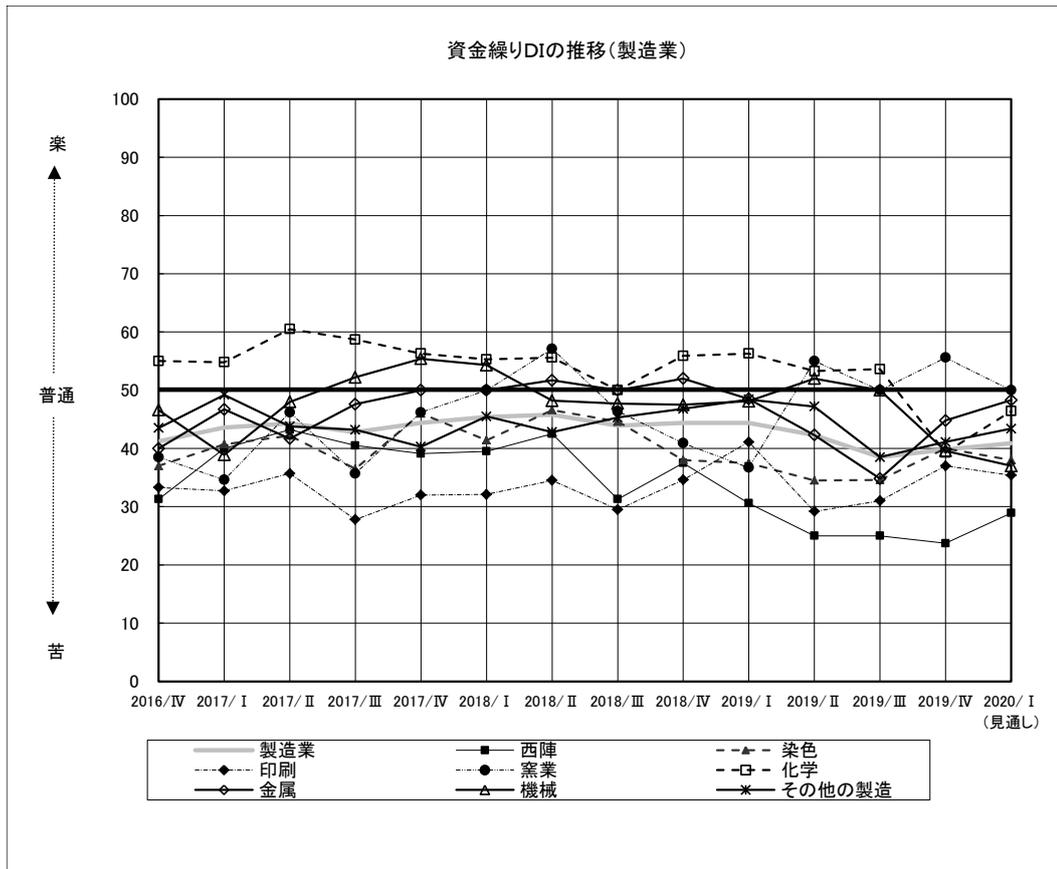


表8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	41.9	42.8	△ 0.9	▼ 0.5
製造業	38.5	39.8	△ 1.3	△ 1.1
西陣	25.0	23.7	▼ 1.3	△ 5.2
染色	34.6	40.0	△ 5.4	▼ 2.0
印刷	31.0	37.0	△ 6.0	▼ 1.6
窯業	50.0	55.6	△ 5.6	▼ 5.6
化学	53.6	39.3	▼ 14.3	△ 7.1
金属	34.8	44.8	△ 10.0	△ 3.5
機械	50.0	39.6	▼ 10.4	▼ 2.6
その他の製造	38.5	41.1	△ 2.6	△ 2.3
非製造業	45.0	45.5	△ 0.5	▼ 2.0
卸売	46.2	46.7	△ 0.5	▼ 0.8
小売	41.3	36.5	▼ 4.8	▼ 3.2
情報通信	52.5	52.6	△ 0.1	▼ 0.1
飲食・宿泊	30.4	40.4	△ 10.0	0.0
サービス	48.9	51.4	△ 2.5	▼ 2.8
建設	48.6	50.0	△ 1.4	▼ 4.1
観光関連	37.8	41.0	△ 3.2	▼ 3.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移（全体）

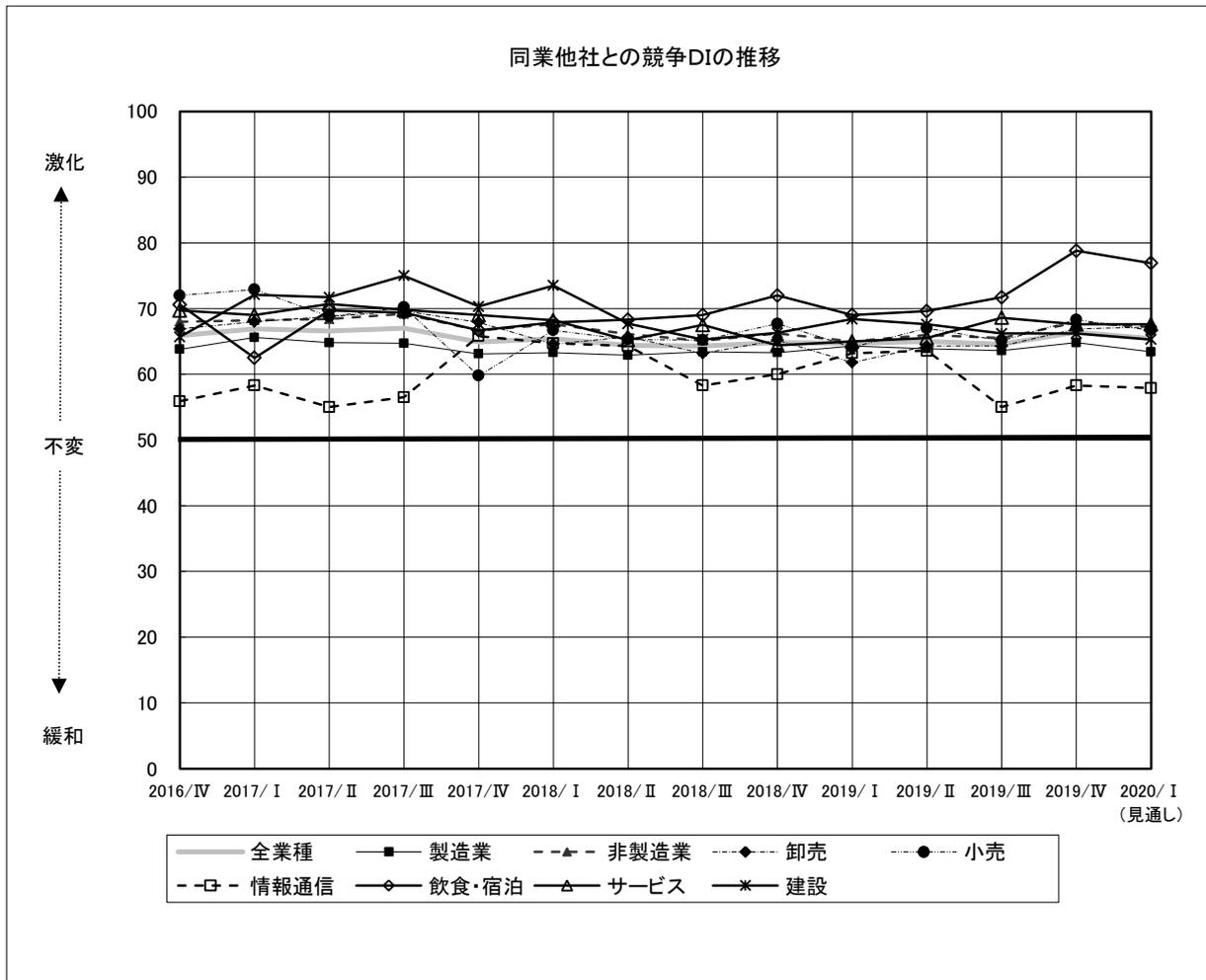


図 18. 同業他社との競争DIの推移（製造業）

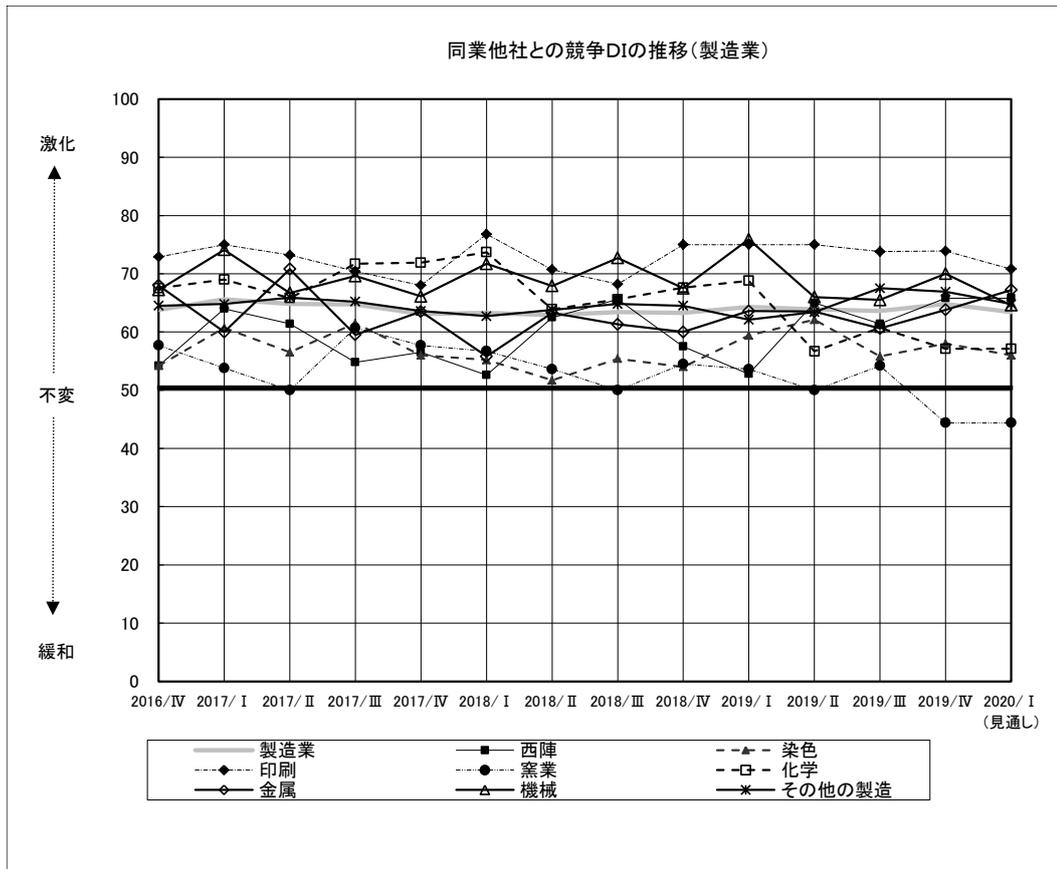


表 9. 同業他社との競争DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	64.6	66.4	△ 1.8	65.4	▼ 1.0
製造業	63.6	64.8	△ 1.2	63.4	▼ 1.4
西陣	61.4	65.8	△ 4.4	65.8	0.0
染色	55.8	58.0	△ 2.2	56.0	▼ 2.0
印刷	73.8	73.9	△ 0.1	70.8	▼ 3.1
窯業	54.2	44.4	▼ 9.8	44.4	0.0
化学	60.7	57.1	▼ 3.6	57.1	0.0
金属	60.6	63.8	△ 3.2	67.2	△ 3.4
機械	65.5	70.0	△ 4.5	64.6	▼ 5.4
その他の製造	67.5	66.9	▼ 0.6	64.8	▼ 2.1
非製造業	65.5	67.9	△ 2.4	67.2	▼ 0.7
卸売	64.3	66.9	△ 2.6	67.2	△ 0.3
小売	65.1	68.3	△ 3.2	66.7	▼ 1.6
情報通信	55.0	58.3	△ 3.3	57.9	▼ 0.4
飲食・宿泊	71.7	78.8	△ 7.1	76.9	▼ 1.9
サービス	68.6	67.6	▼ 1.0	67.6	0.0
建設	66.2	66.2	0.0	65.3	▼ 0.9
観光関連	71.6	70.5	▼ 1.1	71.8	△ 1.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

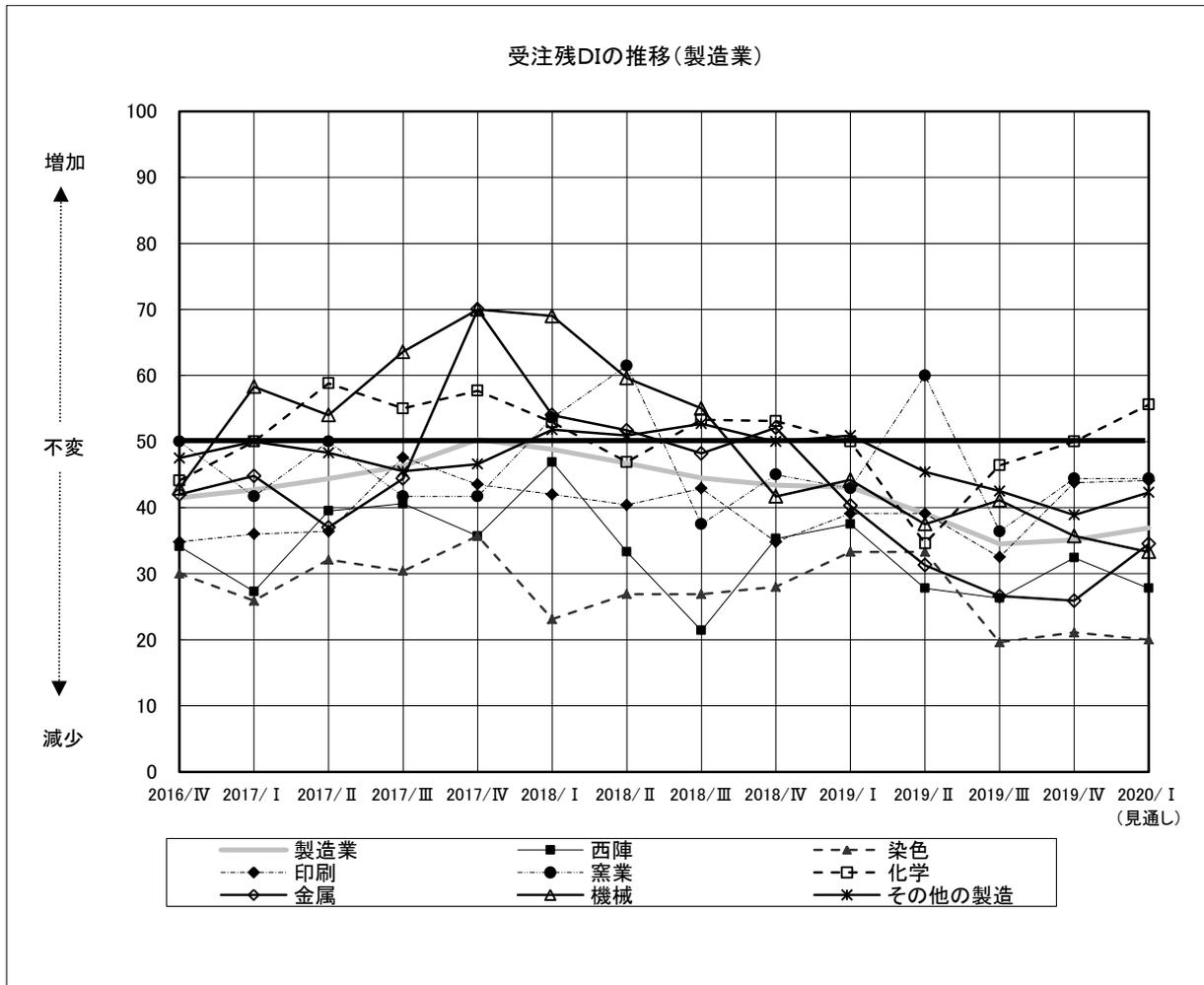


表10. 受注残DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	34.5	35.1	△ 0.6	36.9	△ 1.8
西陣	26.3	32.4	△ 6.1	27.8	▼ 4.6
染色	19.6	21.1	△ 1.5	20.0	▼ 1.1
印刷	32.5	43.8	△ 11.3	44.1	△ 0.3
窯業	36.4	44.4	△ 8.0	44.4	0.0
化学	46.4	50.0	△ 3.6	55.6	△ 5.6
金属	26.6	25.9	▼ 0.7	34.5	△ 8.6
機械	41.1	35.7	▼ 5.4	33.3	▼ 2.4
その他の製造	42.5	38.9	▼ 3.6	42.3	△ 3.4
観光関連	25.0	38.9	△ 13.9	33.3	▼ 5.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

1 1. 生産設備

図 20. 生産設備DIの推移

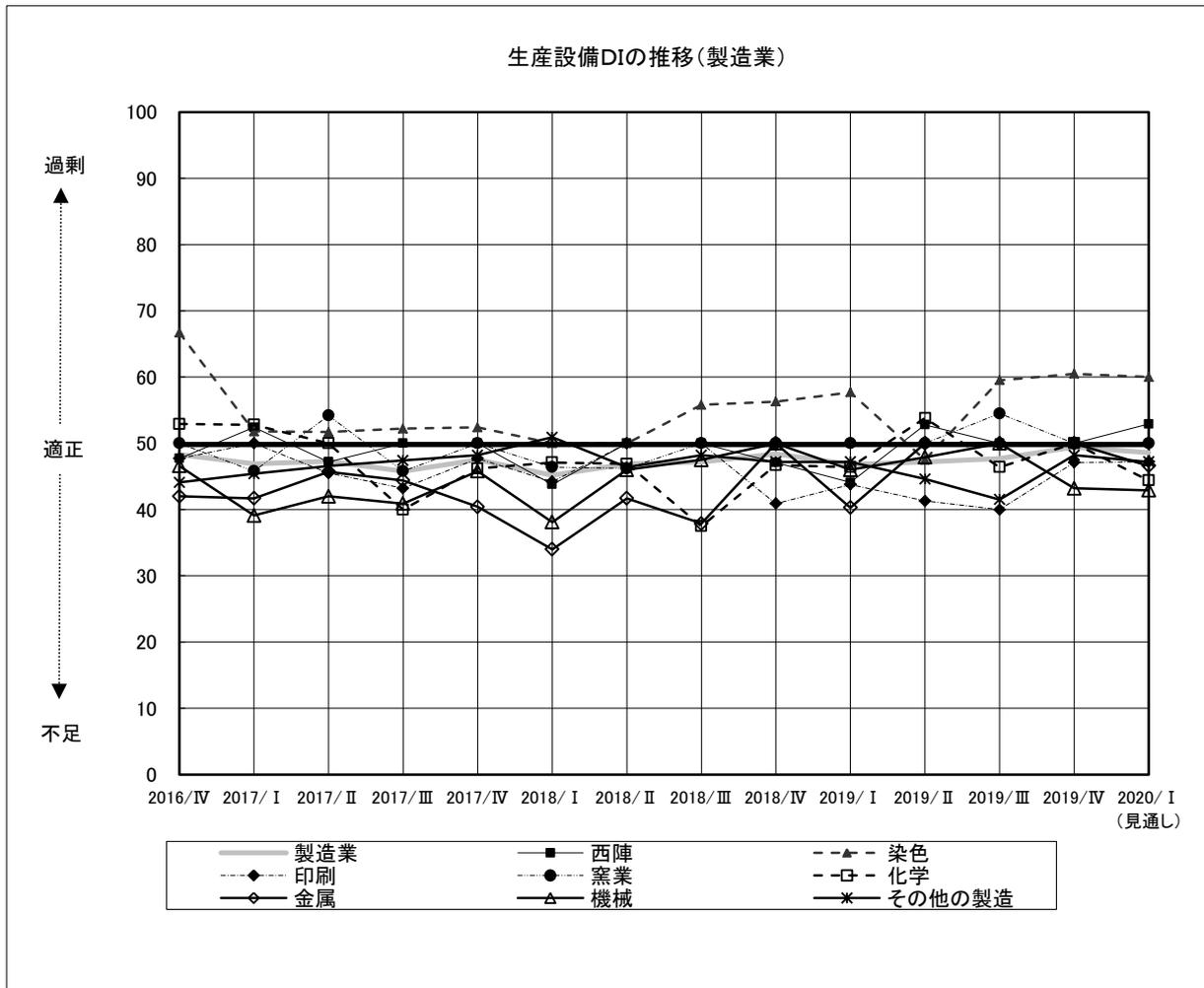


表 11. 生産設備DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	47.7	49.4	△ 1.7	48.6 ▼ 0.8
西陣	50.0	50.0	0.0	52.9 △ 2.9
染色	59.5	60.5	△ 1.0	60.0 ▼ 0.5
印刷	40.0	47.1	△ 7.1	47.2 △ 0.1
窯業	54.5	50.0	▼ 4.5	50.0 0.0
化学	46.4	50.0	△ 3.6	44.4 ▼ 5.6
金属	50.0	50.0	0.0	46.6 ▼ 3.4
機械	50.0	43.2	▼ 6.8	42.9 ▼ 0.3
その他の製造	41.5	48.2	△ 6.7	47.2 ▼ 1.0
観光関連	50.0	50.0	0.0	50.0 0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

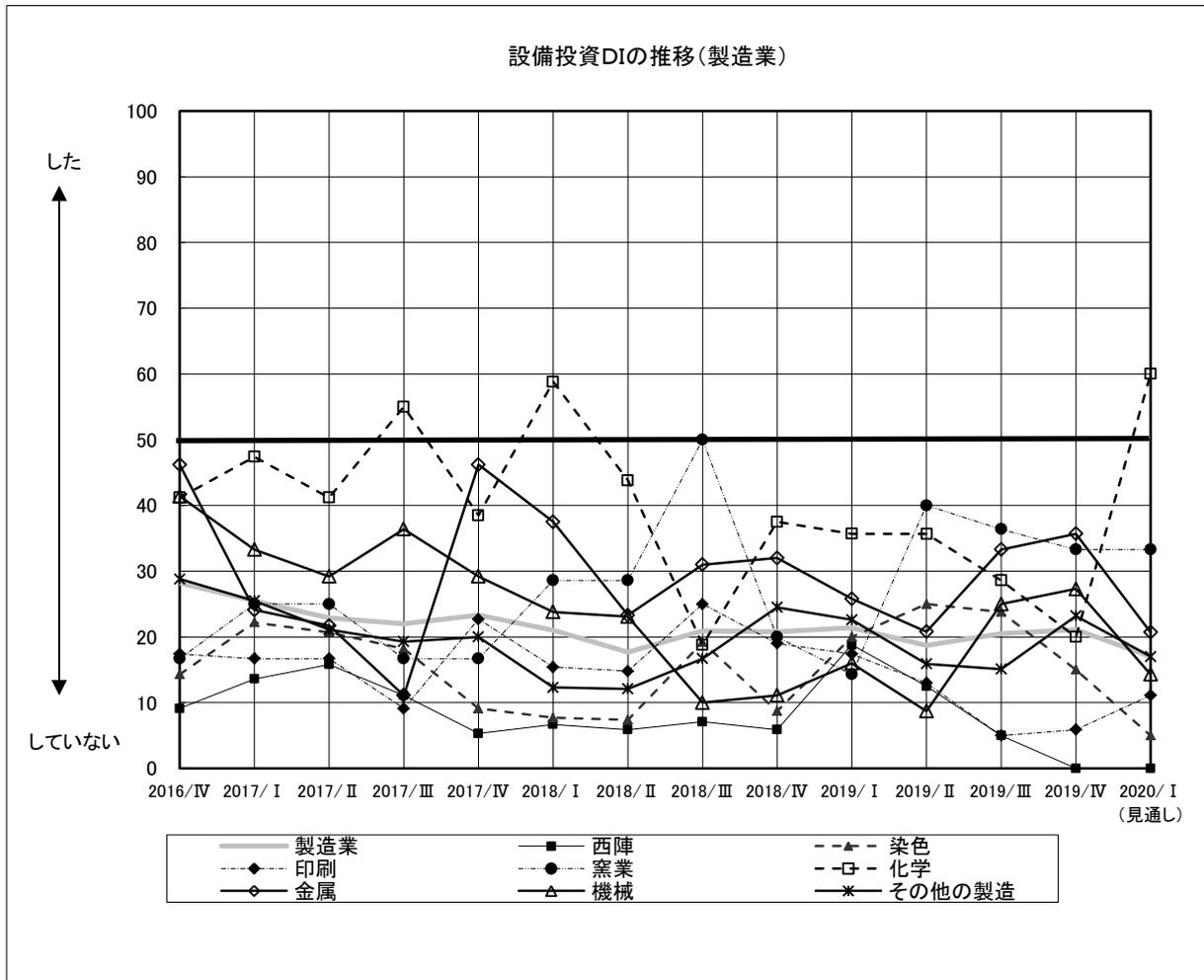


表12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	20.5	21.1	△ 0.6	17.0 ▼ 4.1
西陣	5.0	0.0	▼ 5.0	0.0
染色	23.8	15.0	▼ 8.8	5.0 ▼ 10.0
印刷	5.0	5.9	△ 0.9	11.1 △ 5.2
窯業	36.4	33.3	▼ 3.1	33.3
化学	28.6	20.0	▼ 8.6	60.0 △ 40.0
金属	33.3	35.7	△ 2.4	20.7 ▼ 15.0
機械	25.0	27.3	△ 2.3	14.3 ▼ 13.0
その他の製造	15.1	23.2	△ 8.1	17.0 ▼ 6.2
観光関連	8.3	33.3	△ 25.0	22.2 ▼ 11.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

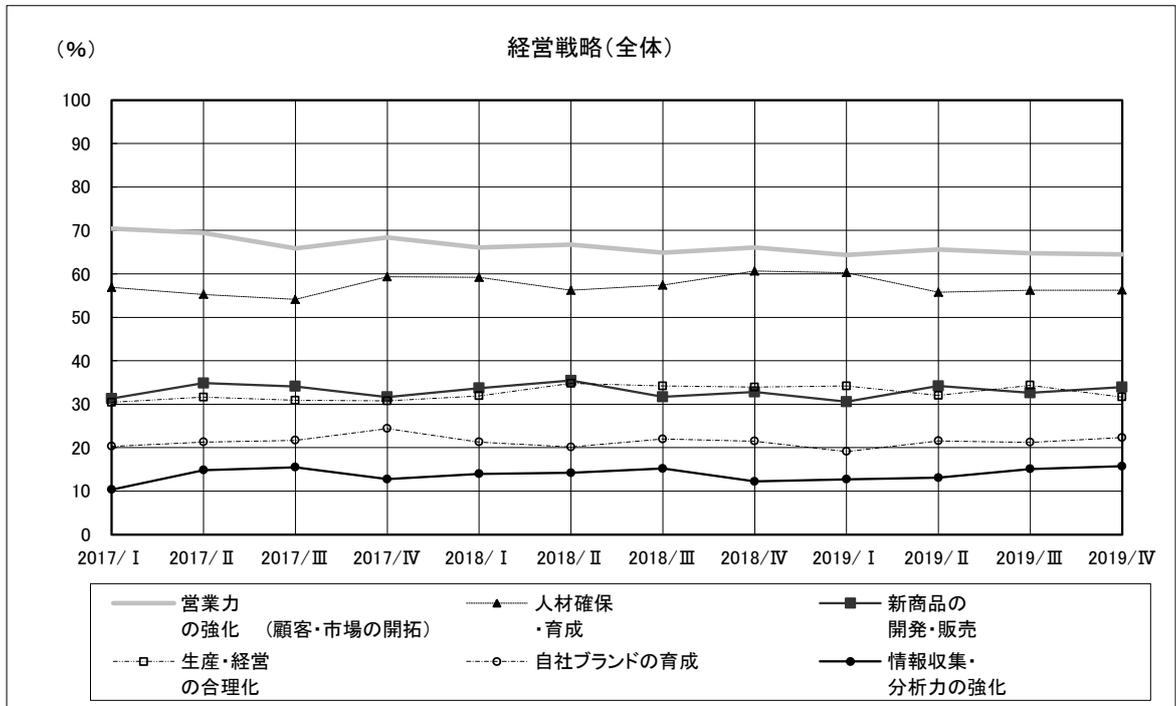


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

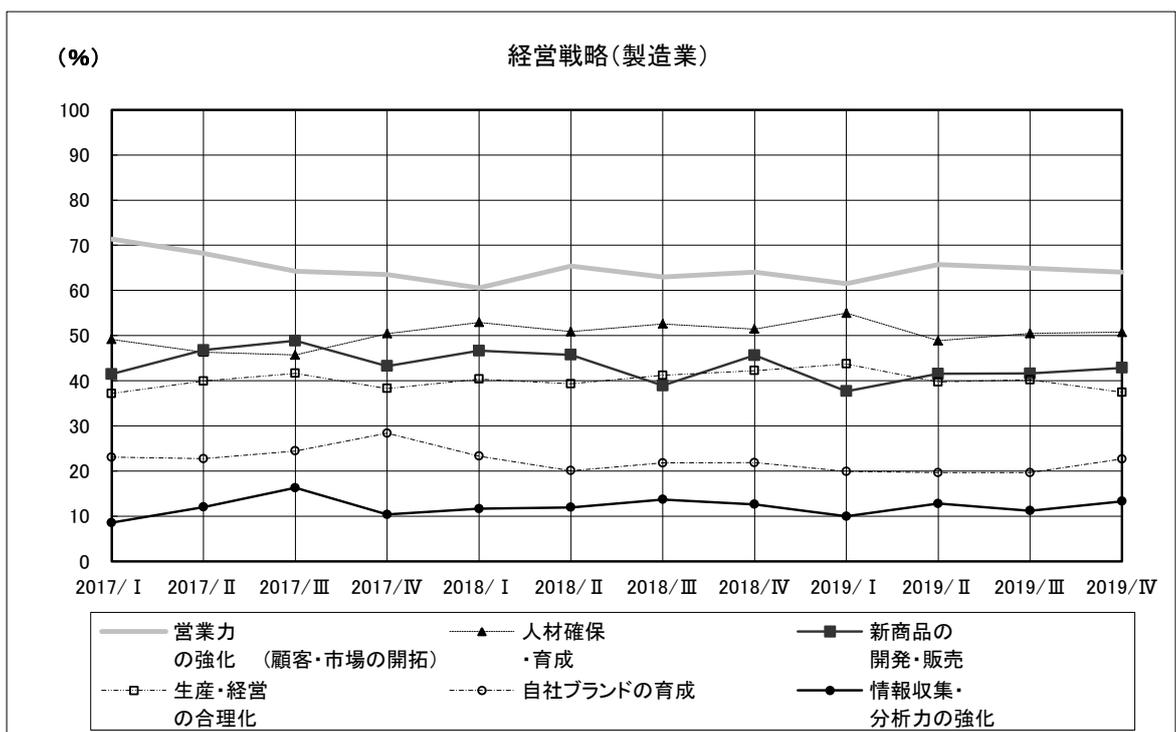


図 24. 当面の経営戦略・西陣

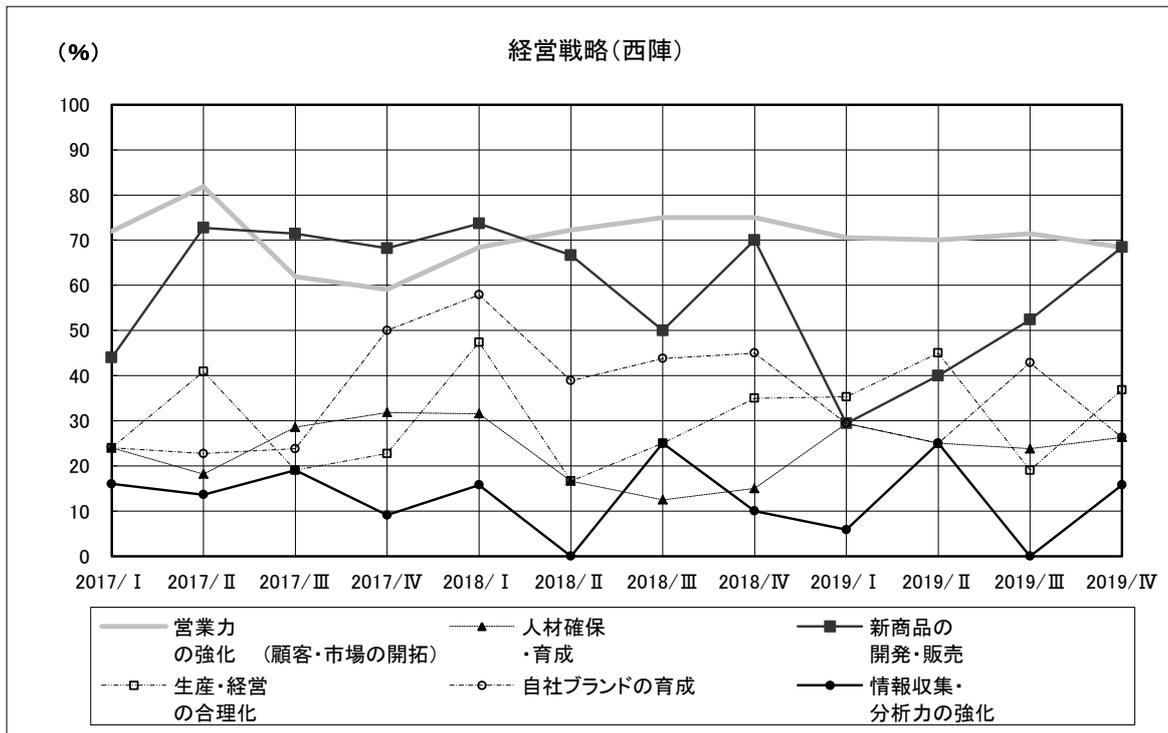


図 25. 当面の経営戦略・染色

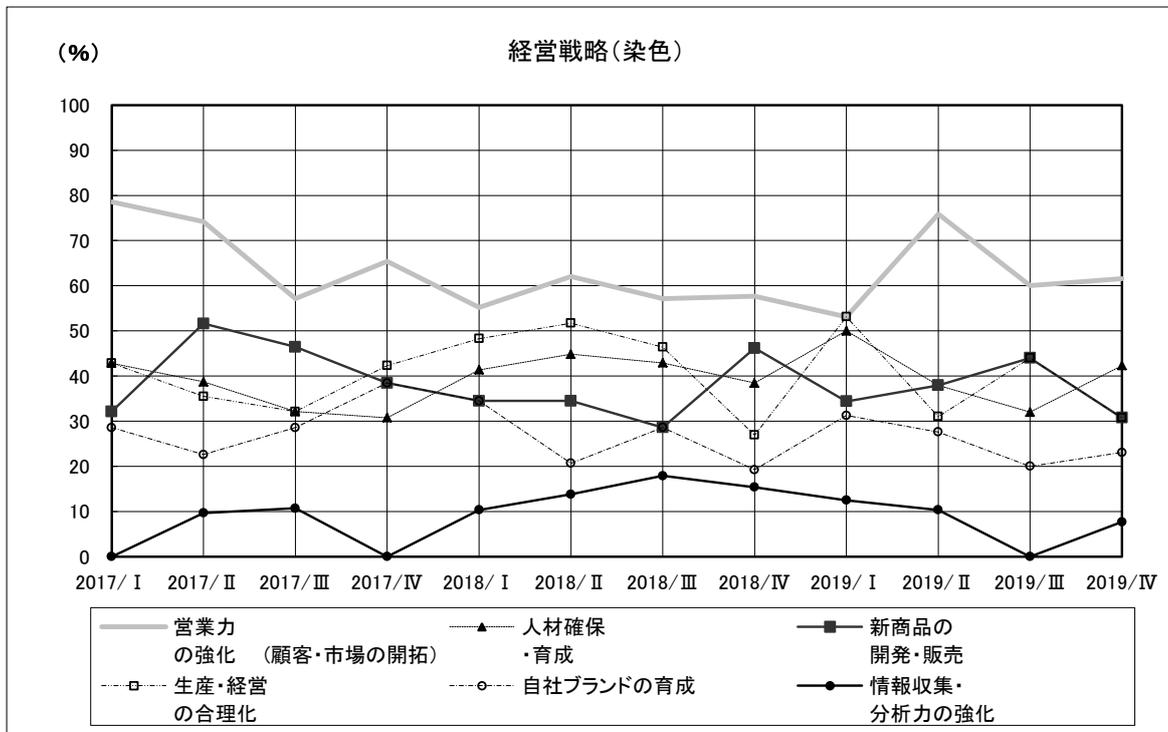


図 26. 当面の経営戦略・印刷

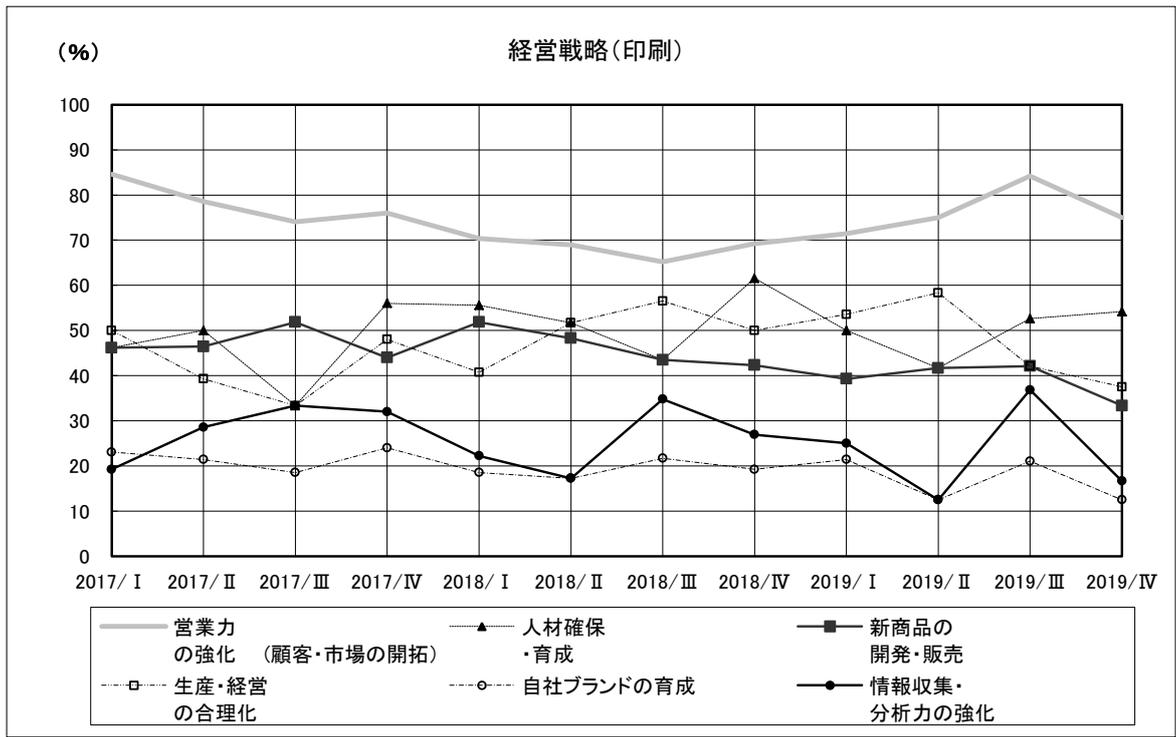


図 27. 当面の経営戦略・窯業

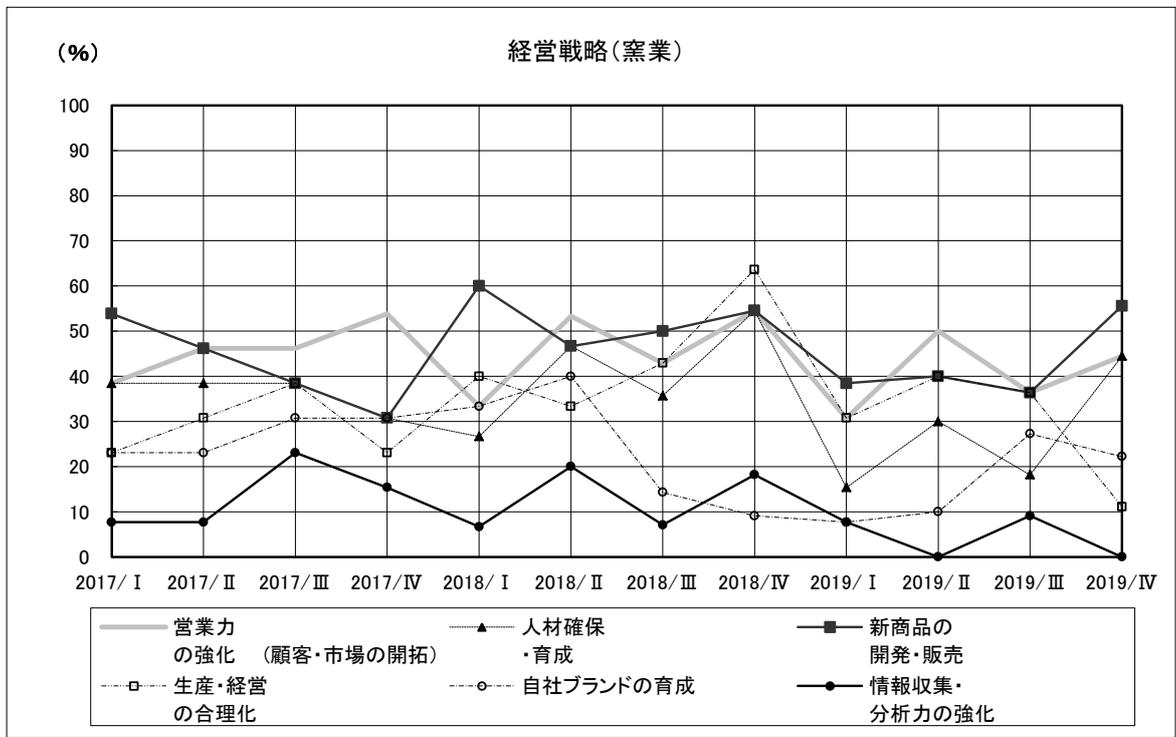


図 28. 当面の経営戦略・化学

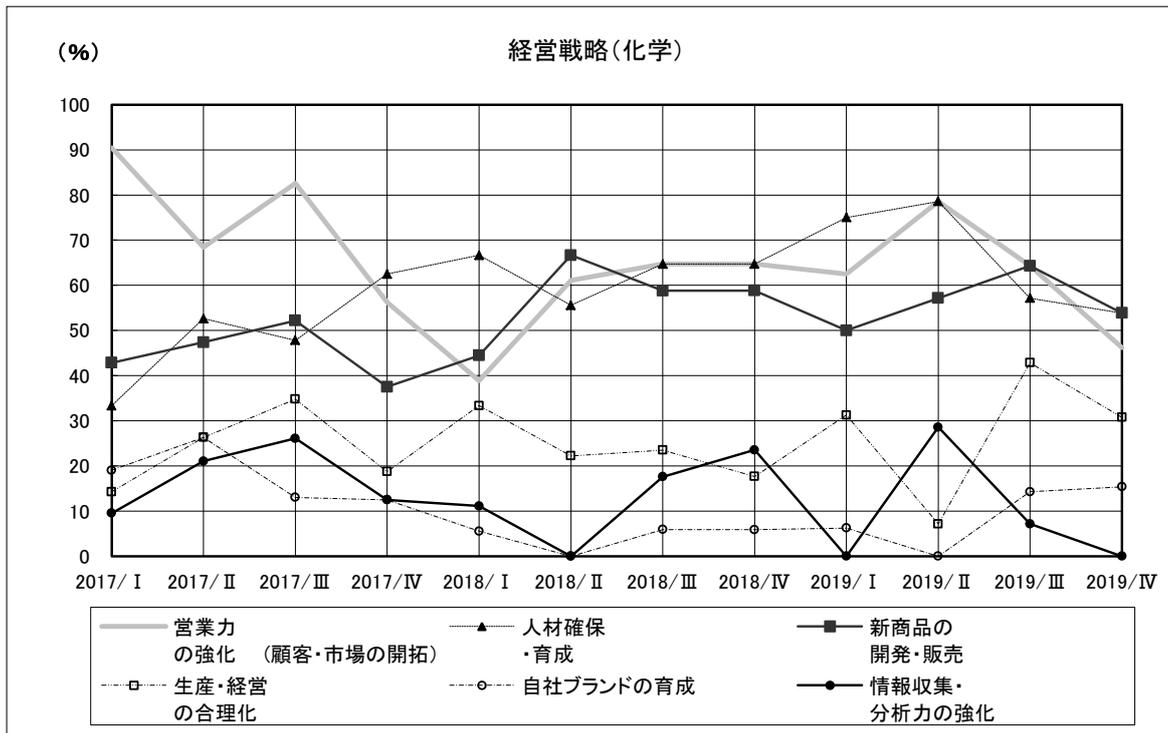


図 29. 当面の経営戦略・金属

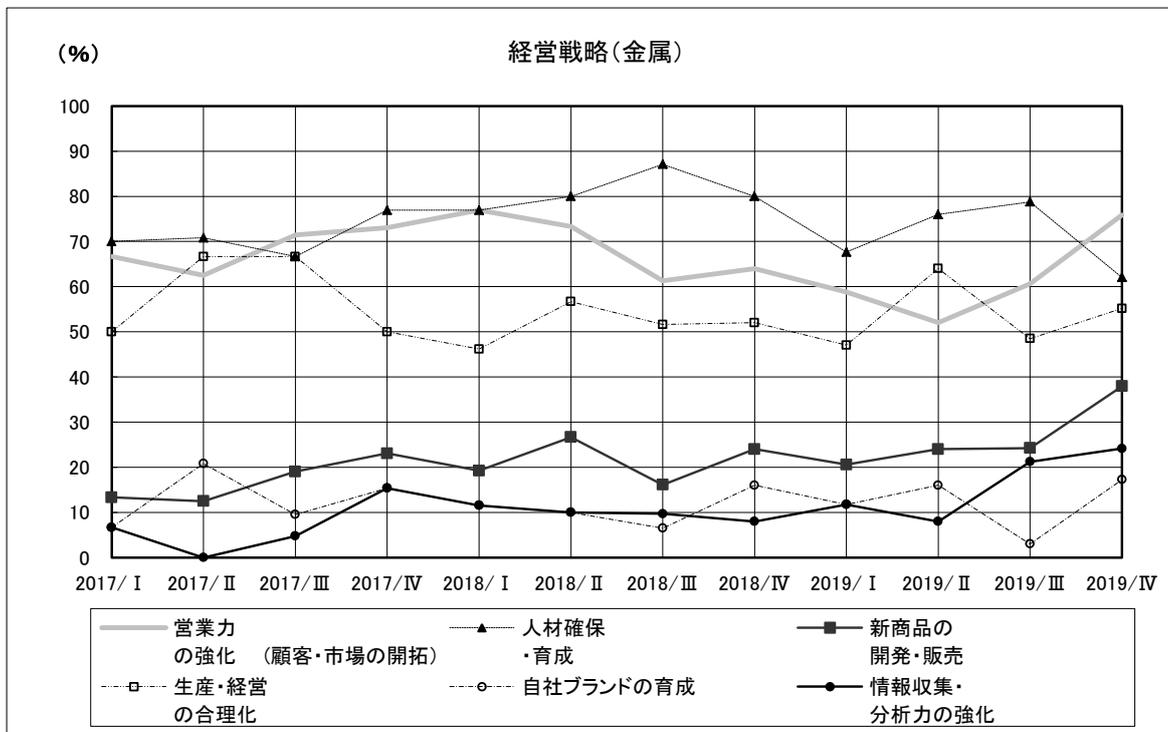


図 30. 当面の経営戦略・機械

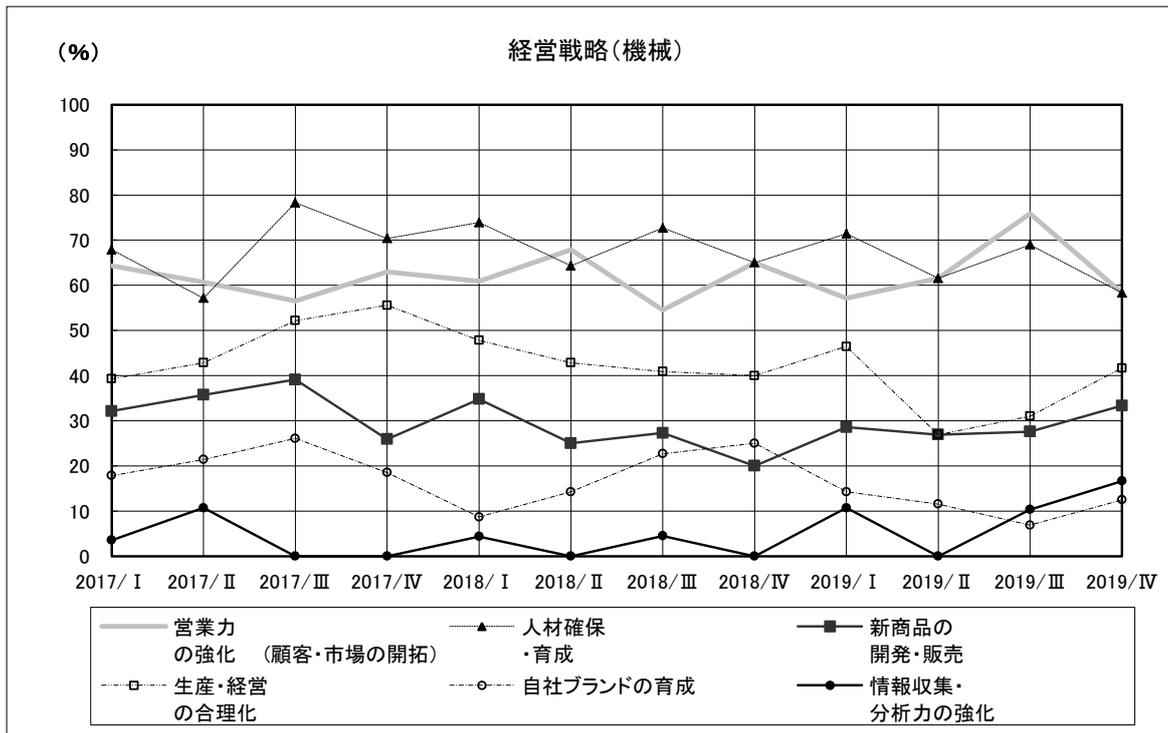


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

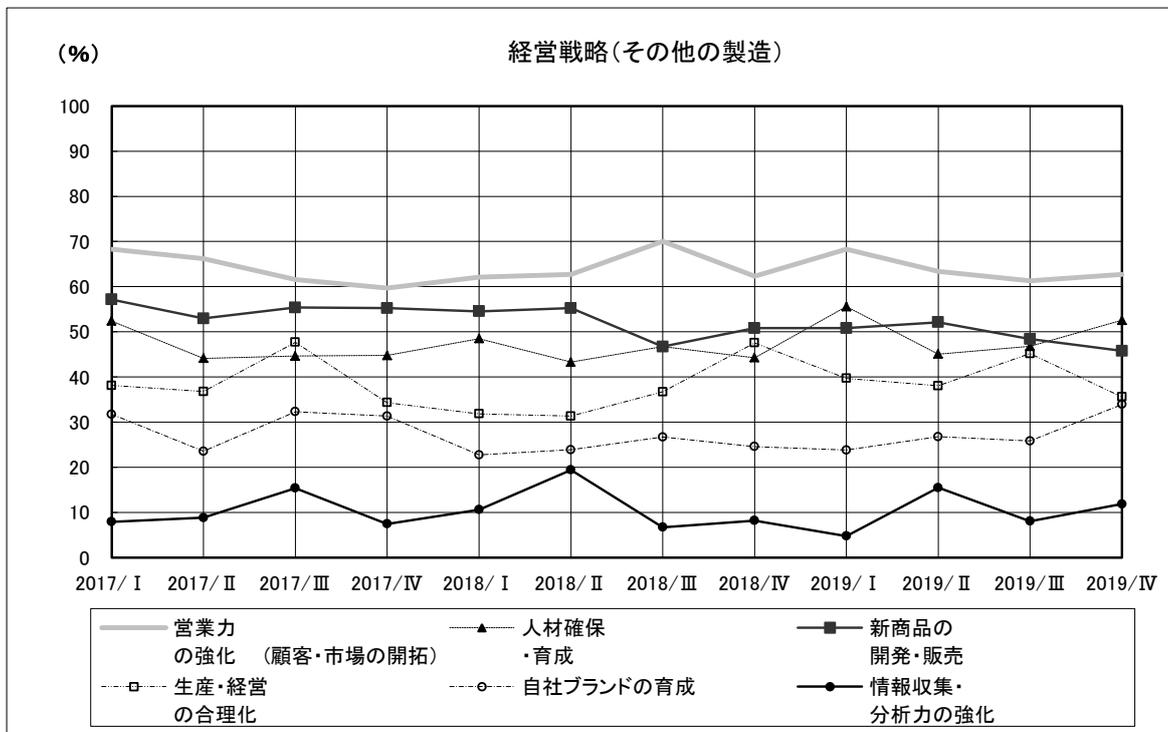


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

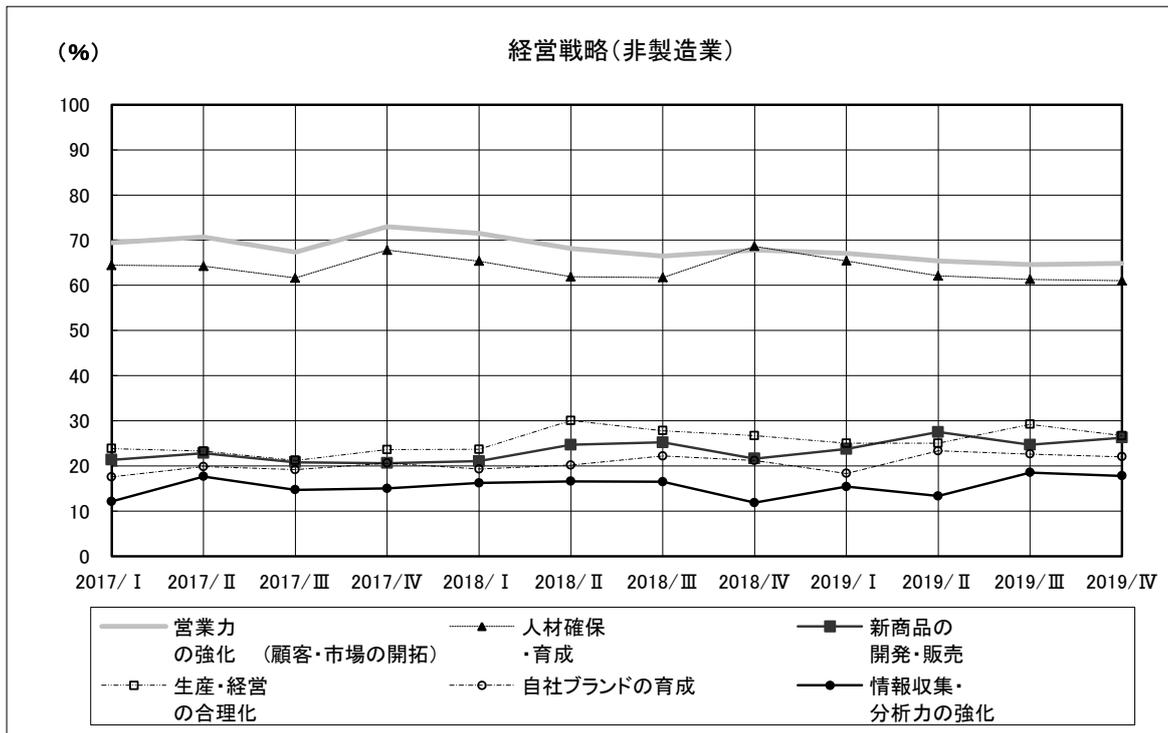


図 33. 当面の経営戦略・卸売

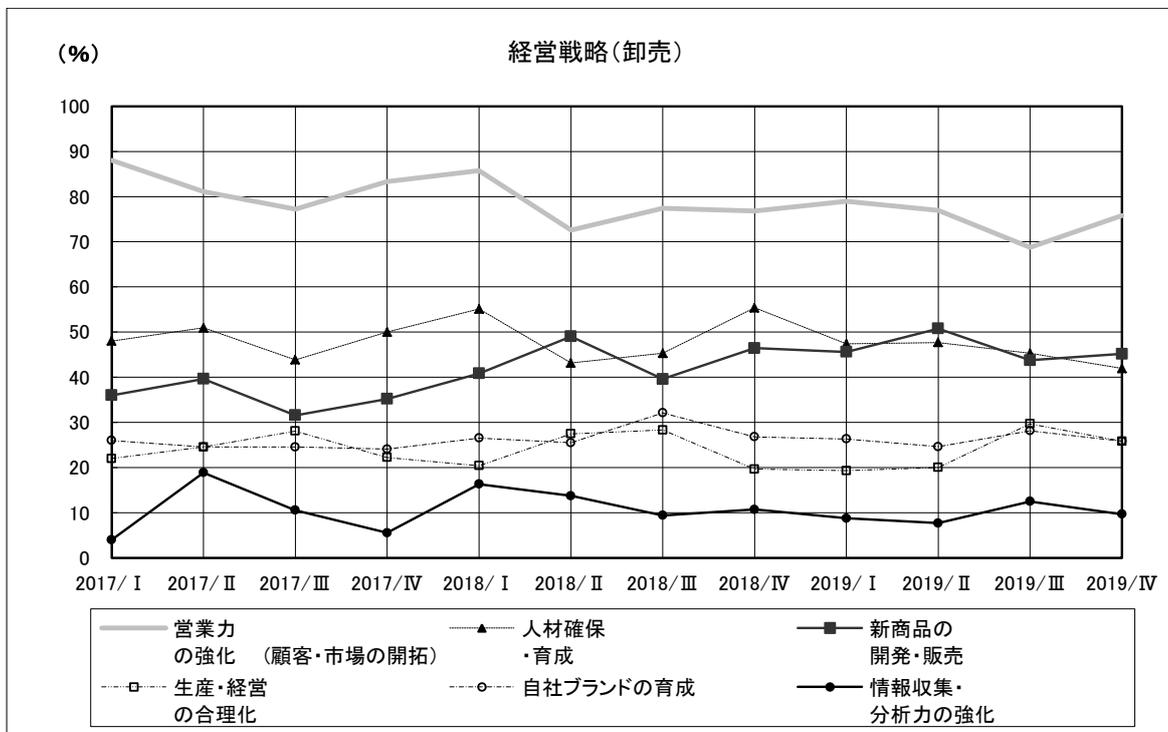


図 34. 当面の経営戦略・小売

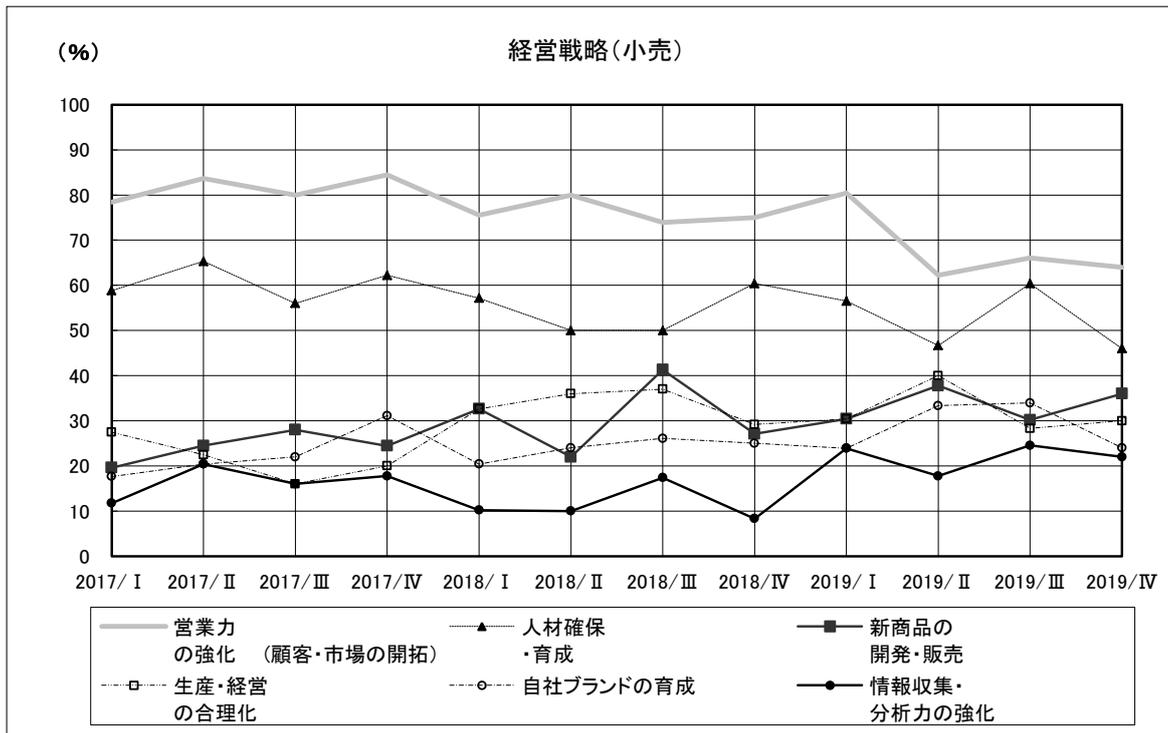


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

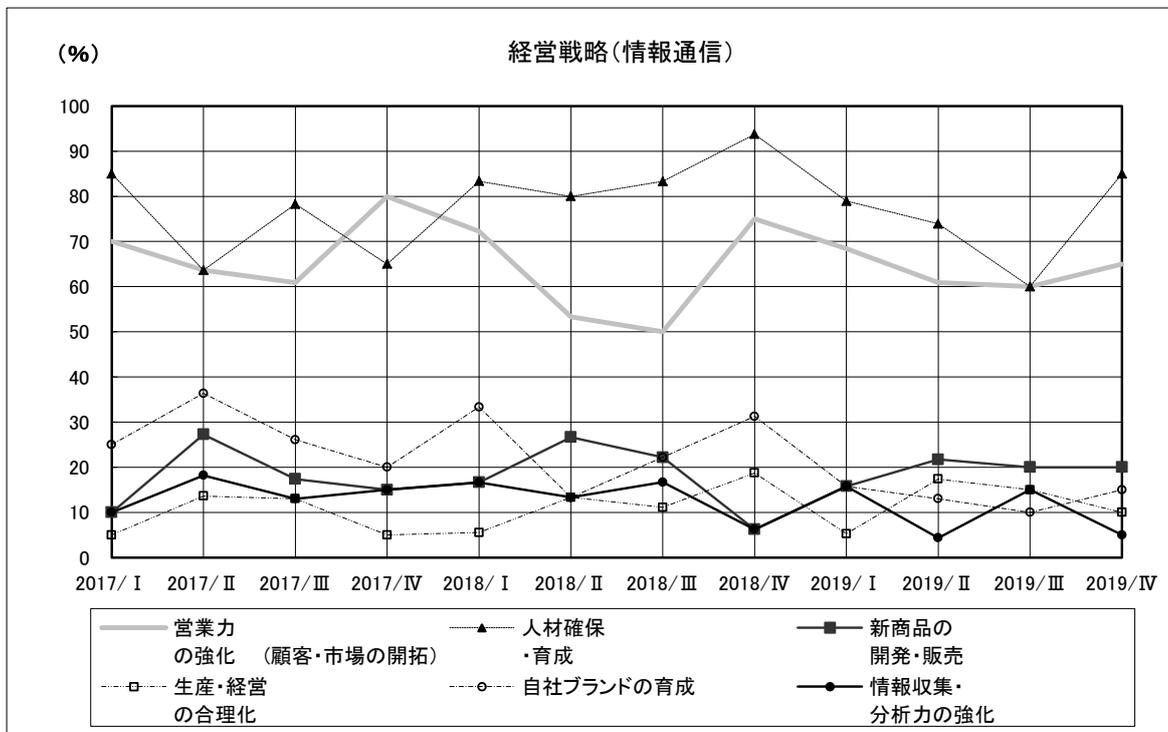


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

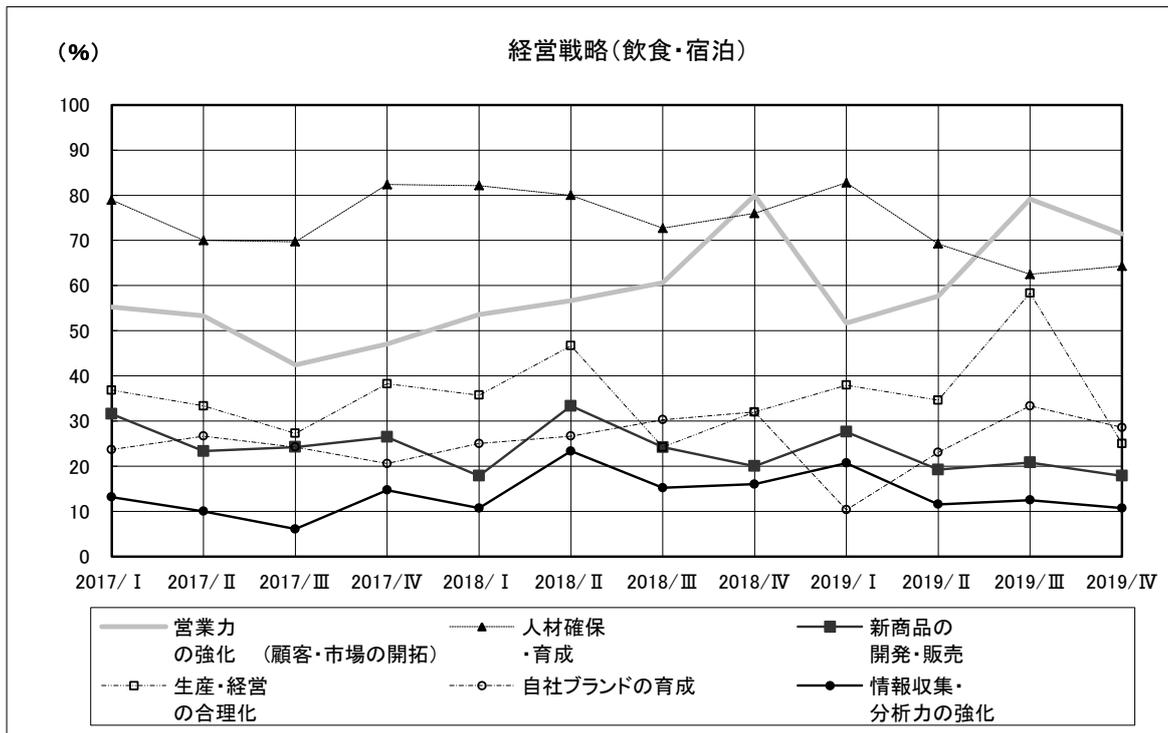


図 37. 当面の経営戦略・サービス

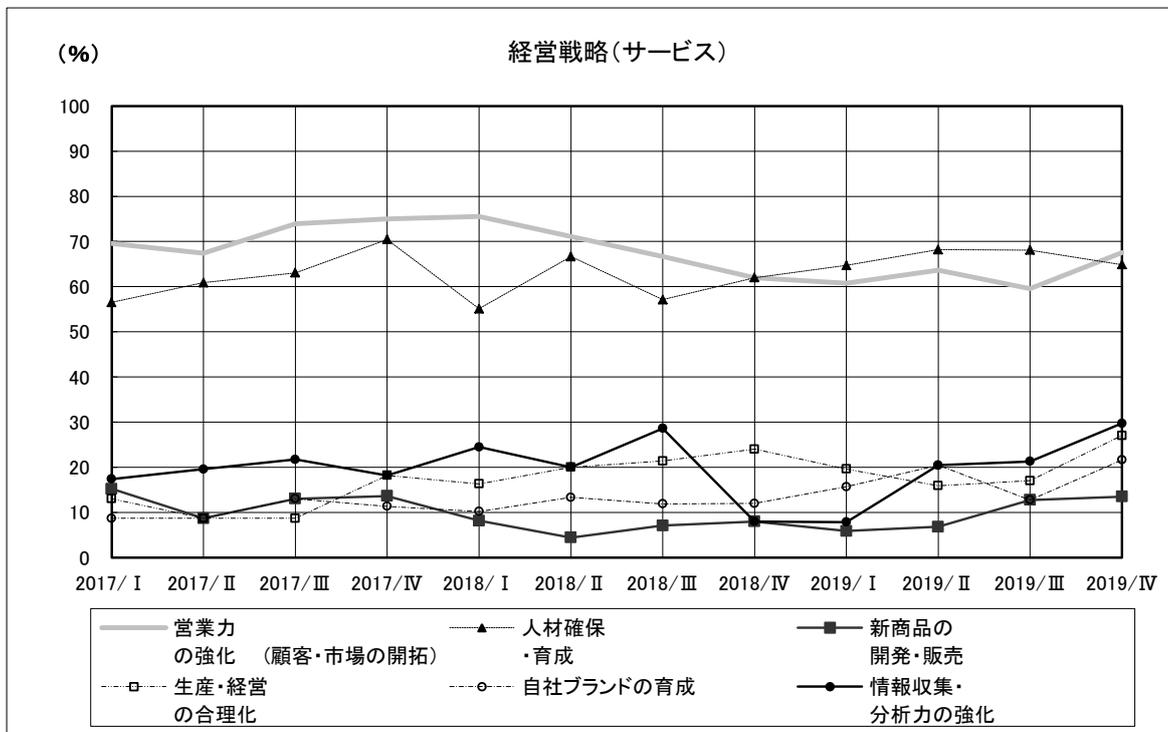


図 38. 当面の経営戦略・建設

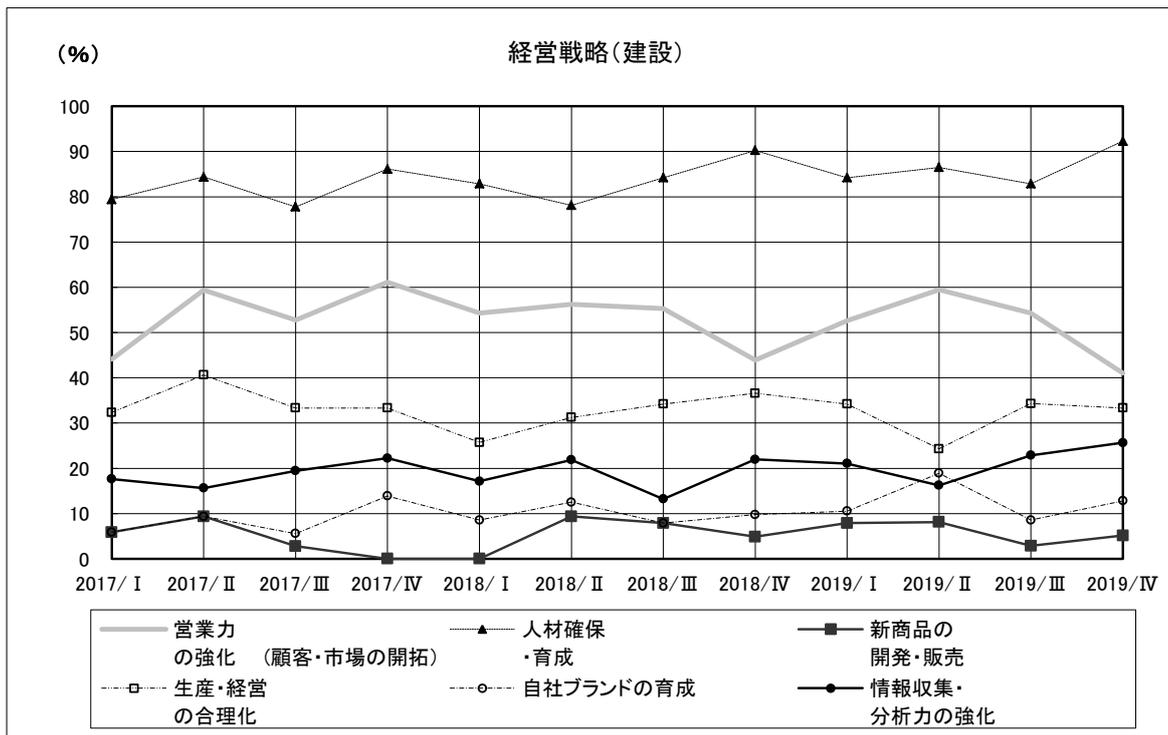


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	自社ブランドの育成	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	283 64.5%	139 31.7%	247 56.3%	56 12.8%	98 22.3%	149 33.9%	34 7.7%	69 15.7%	10 2.3%	439 100.0%	47
製造業	130 64.0%	76 37.4%	103 50.7%	33 16.3%	46 22.7%	87 42.9%	26 12.8%	27 13.3%	2 1.0%	203 100.0%	20
西陣	13 68.4%	7 36.8%	5 26.3%	6 31.6%	5 26.3%	13 68.4%	1 5.3%	3 15.8%	0 0.0%	19 100.0%	1
染色	16 61.5%	8 30.8%	11 42.3%	5 19.2%	6 23.1%	8 30.8%	2 7.7%	2 7.7%	1 3.8%	26 100.0%	1
印刷	18 75.0%	9 37.5%	13 54.2%	0 0.0%	3 12.5%	8 33.3%	2 8.3%	4 16.7%	0 0.0%	24 100.0%	2
窯業	4 44.4%	1 11.1%	4 44.4%	0 0.0%	2 22.2%	5 55.6%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%	3
化学	6 46.2%	4 30.8%	7 53.8%	4 30.8%	2 15.4%	7 53.8%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	13 100.0%	2
金属	22 75.9%	16 55.2%	18 62.1%	8 27.6%	5 17.2%	11 37.9%	4 13.8%	7 24.1%	0 0.0%	29 100.0%	3
機械	14 58.3%	10 41.7%	14 58.3%	1 4.2%	3 12.5%	8 33.3%	2 8.3%	4 16.7%	0 0.0%	24 100.0%	1
その他の製造	37 62.7%	21 35.6%	31 52.5%	9 15.3%	20 33.9%	27 45.8%	11 18.6%	7 11.9%	0 0.0%	59 100.0%	7
非製造業	153 64.8%	63 26.7%	144 61.0%	23 9.7%	52 22.0%	62 26.3%	8 3.4%	42 17.8%	8 3.4%	236 100.0%	27
卸売	47 75.8%	16 25.8%	26 41.9%	6 9.7%	16 25.8%	28 45.2%	3 4.8%	6 9.7%	1 1.6%	62 100.0%	3
小売	32 64.0%	15 30.0%	23 46.0%	5 10.0%	12 24.0%	18 36.0%	1 2.0%	11 22.0%	3 6.0%	50 100.0%	9
情報通信	13 65.0%	2 10.0%	17 85.0%	2 10.0%	3 15.0%	4 20.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%	20 100.0%	3
飲食・宿泊	20 71.4%	7 25.0%	18 64.3%	2 7.1%	8 28.6%	5 17.9%	0 0.0%	3 10.7%	1 3.6%	28 100.0%	2
サービス	25 67.6%	10 27.0%	24 64.9%	4 10.8%	8 21.6%	5 13.5%	1 2.7%	11 29.7%	3 8.1%	37 100.0%	7
建設	16 41.0%	13 33.3%	36 92.3%	4 10.3%	5 12.8%	2 5.1%	1 2.6%	10 25.6%	0 0.0%	39 100.0%	3
観光関連	23 57.5%	14 35.0%	25 62.5%	4 10.0%	16 40.0%	20 50.0%	0 0.0%	5 12.5%	1 2.5%	40 100.0%	4

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位7項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

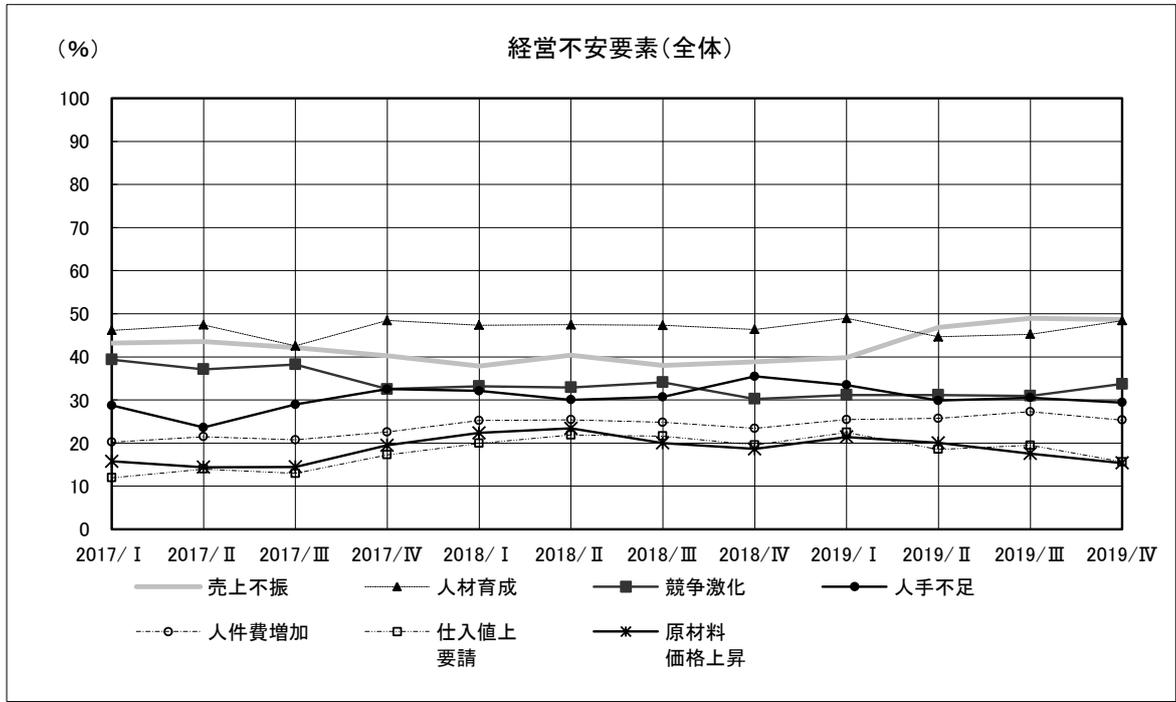


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

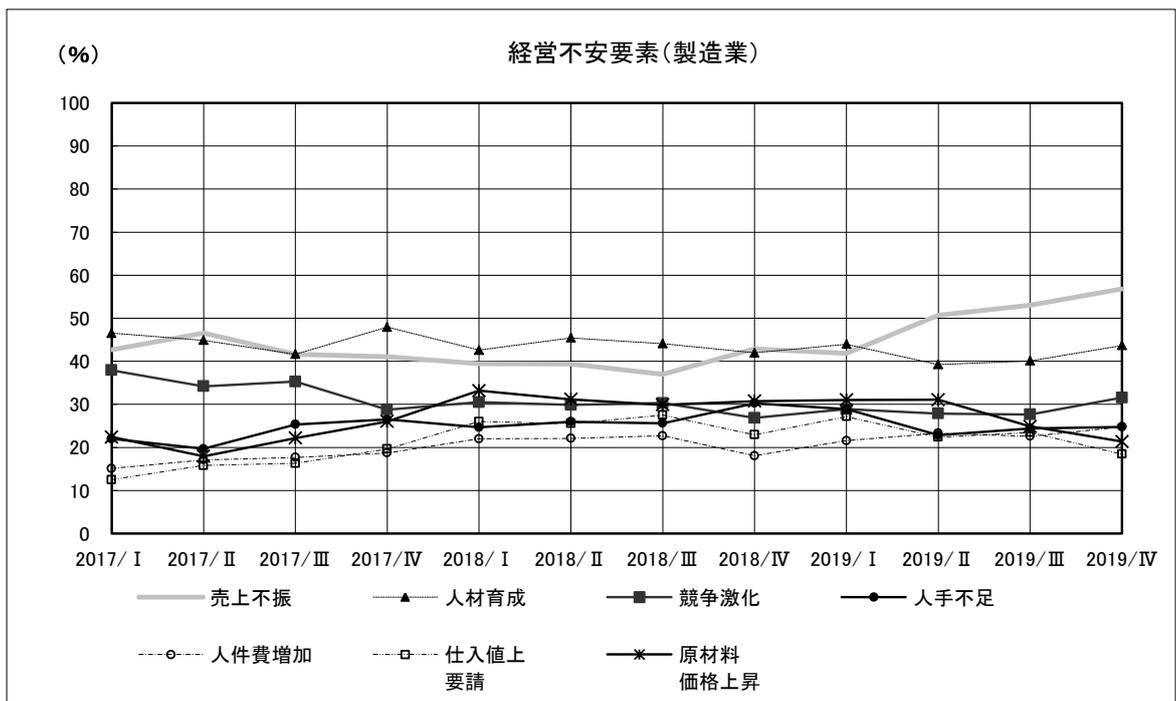


図 41. 経営上の不安要素・西陣

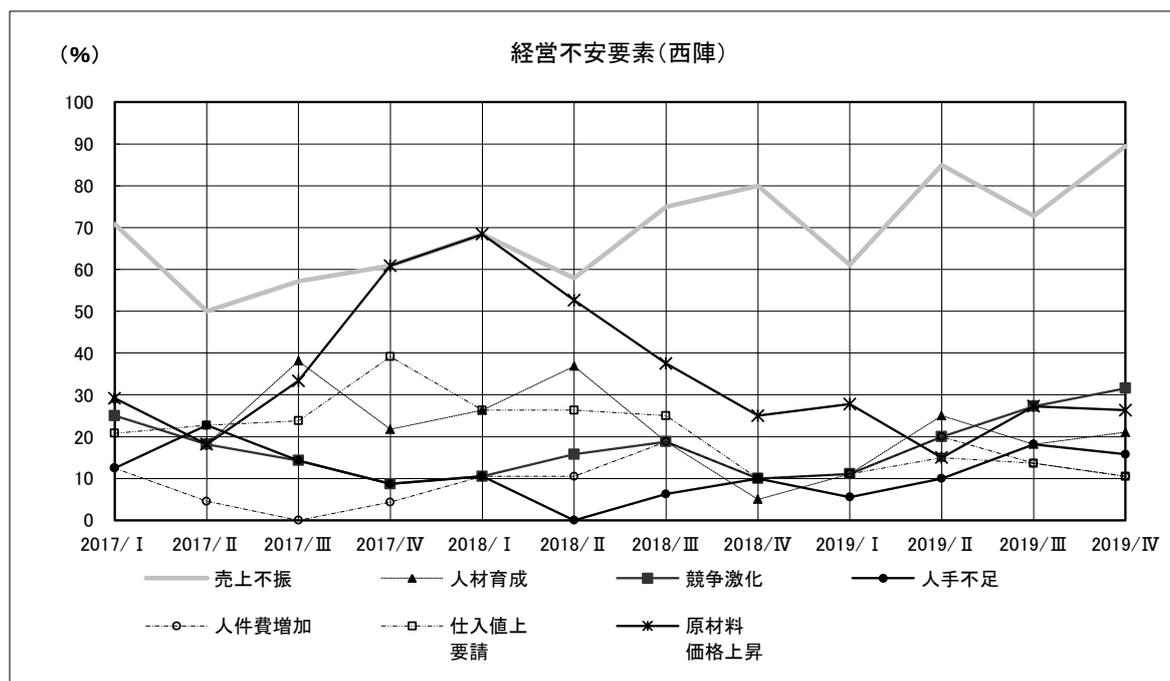


図 42. 経営上の不安要素・染色

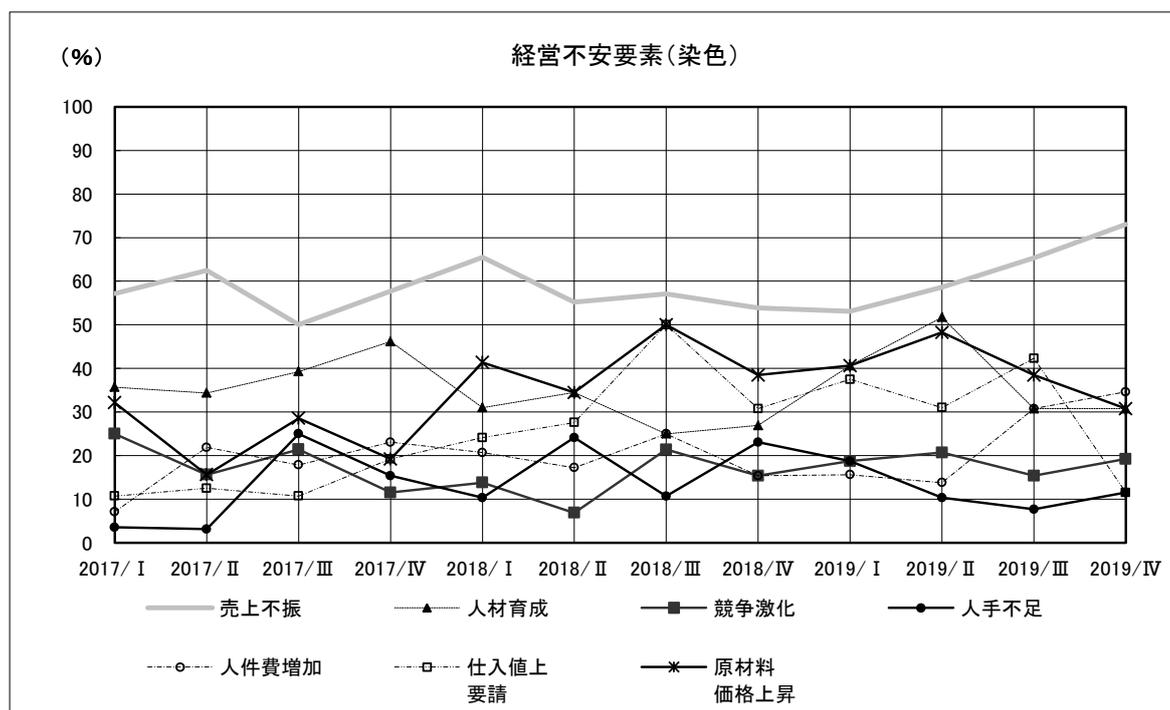


図 43. 経営上の不安要素・印刷

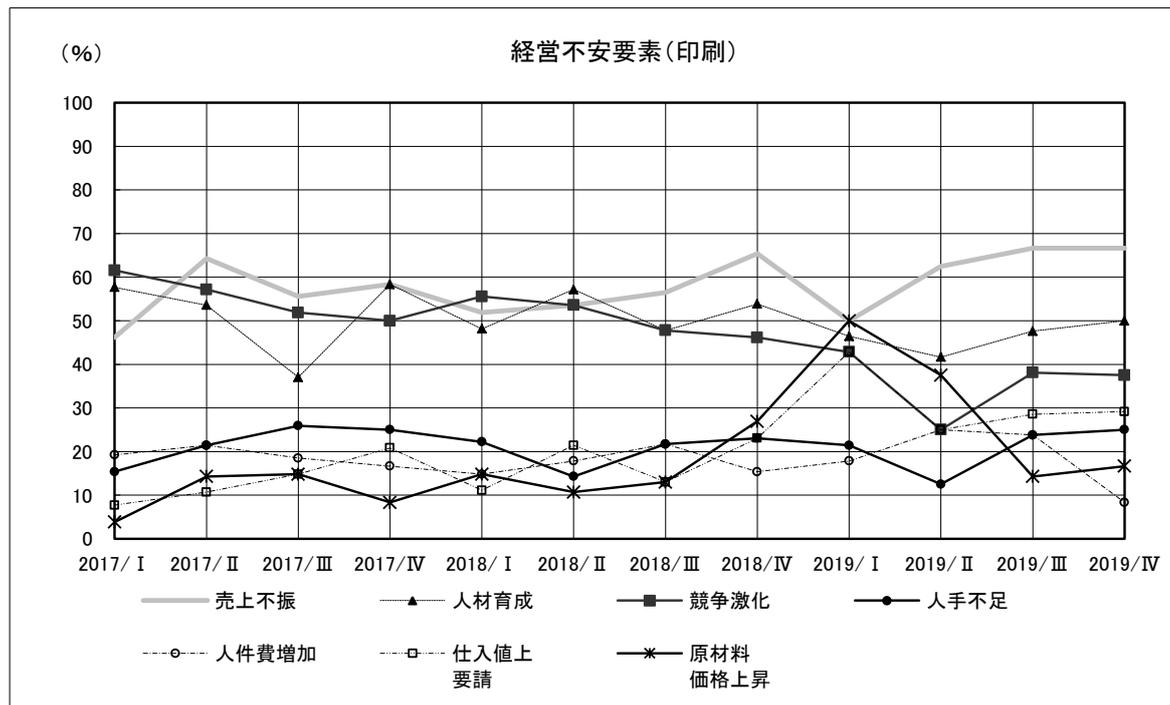


図 44. 経営上の不安要素・窯業

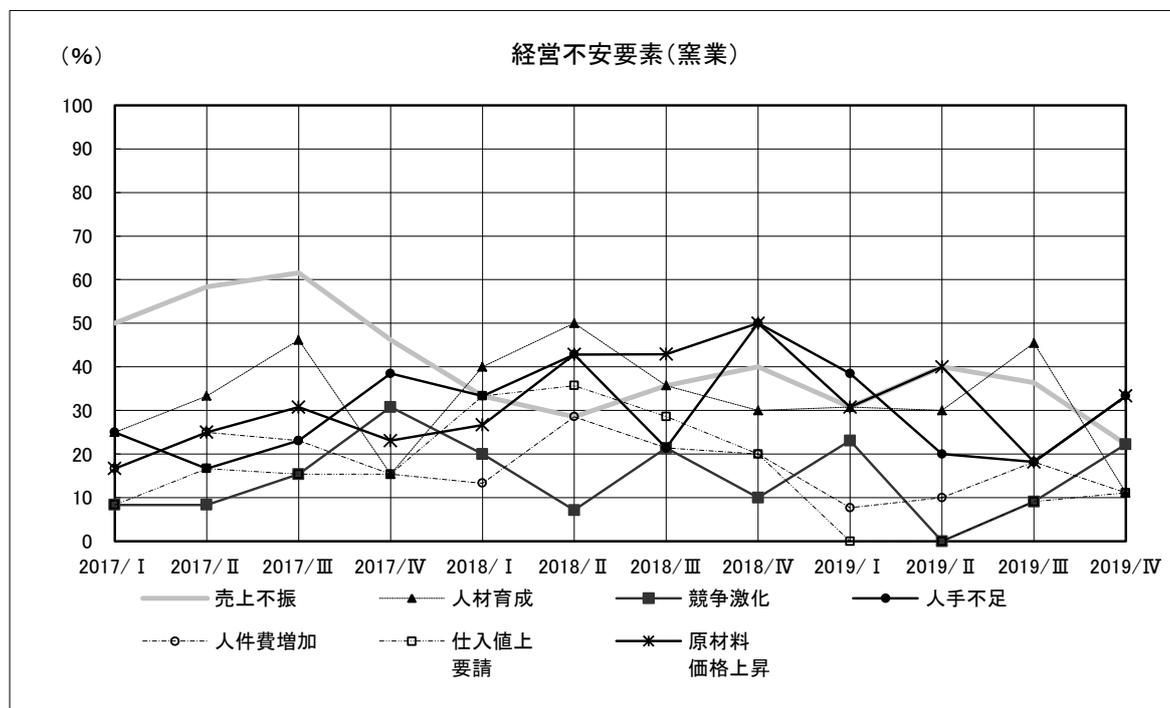


図 45. 経営上の不安要素・化学

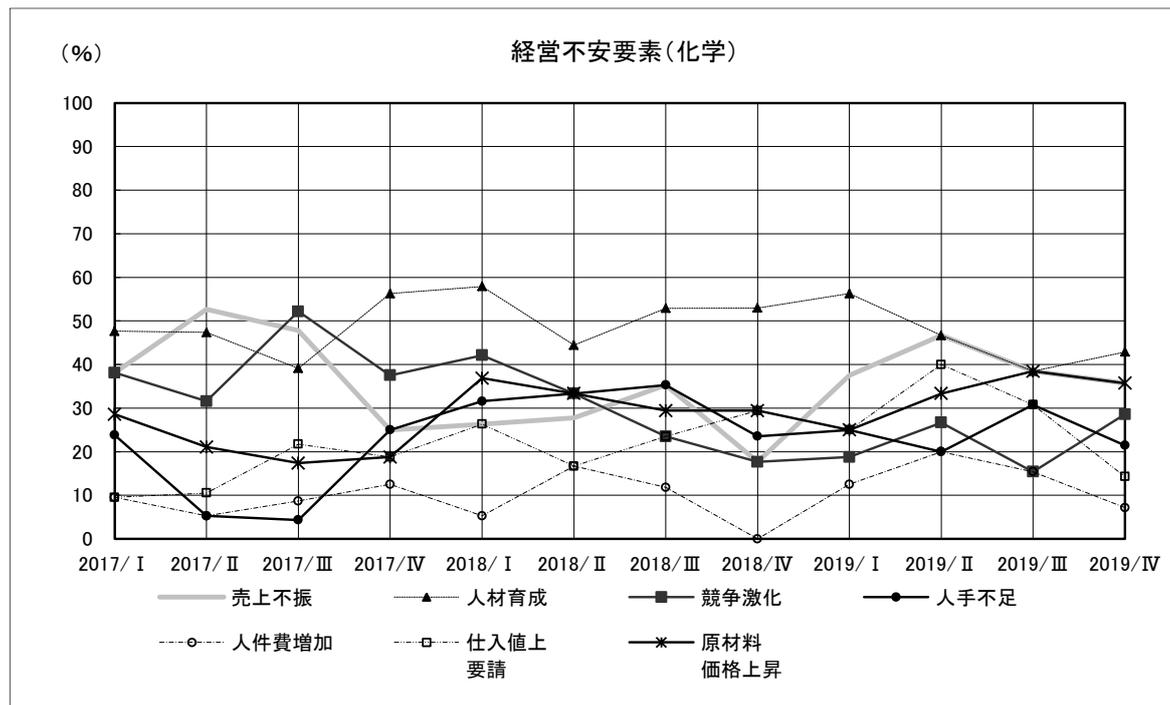


図 46. 経営上の不安要素・金属

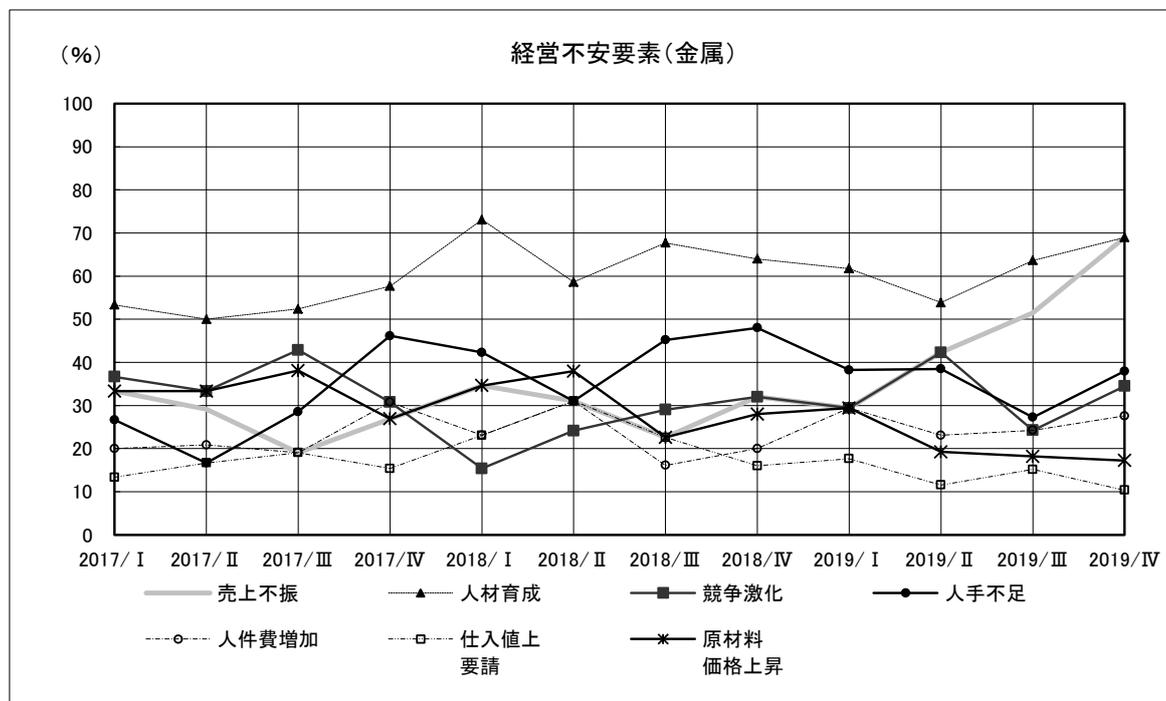


図 47. 経営上の不安要素・機械

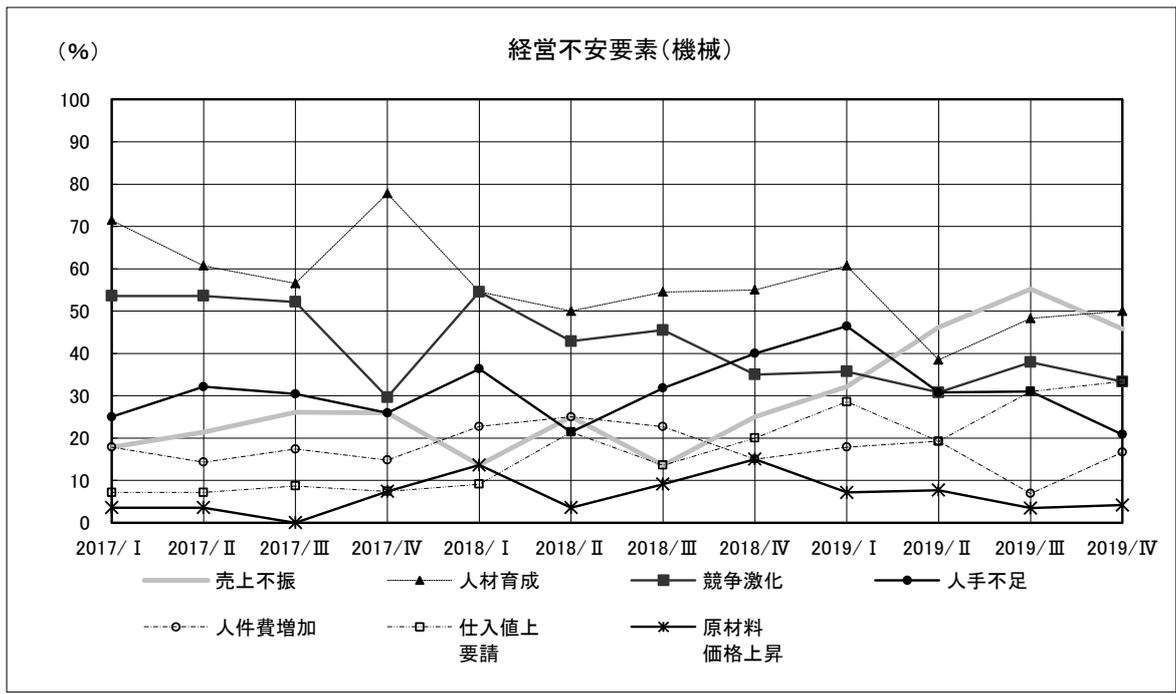


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

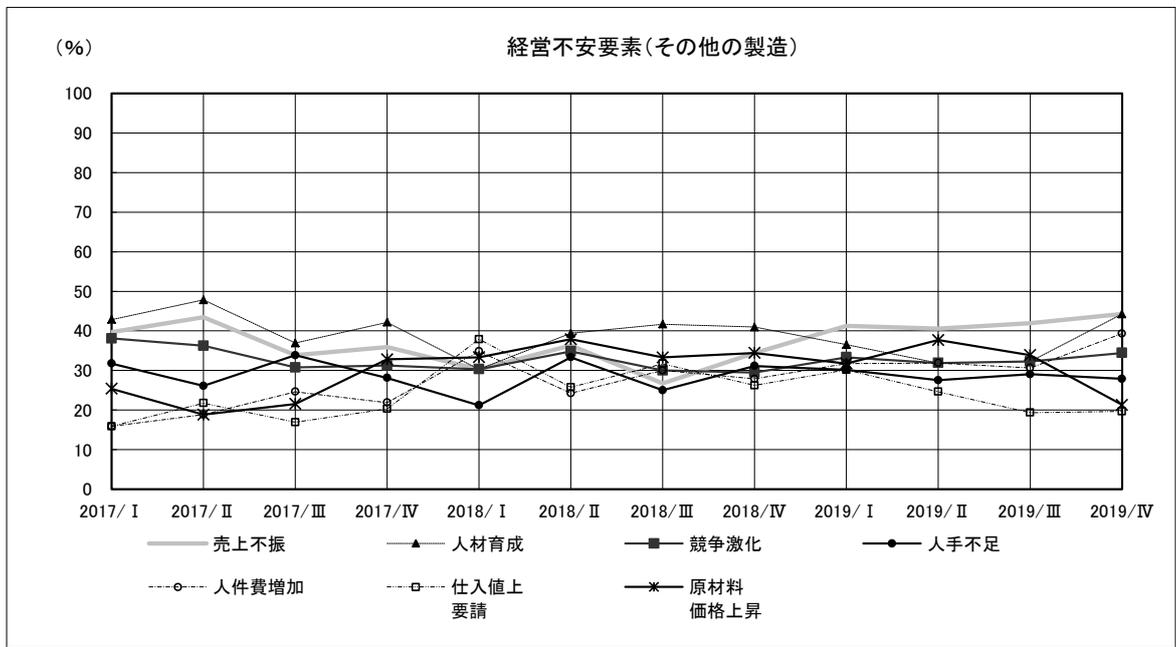


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

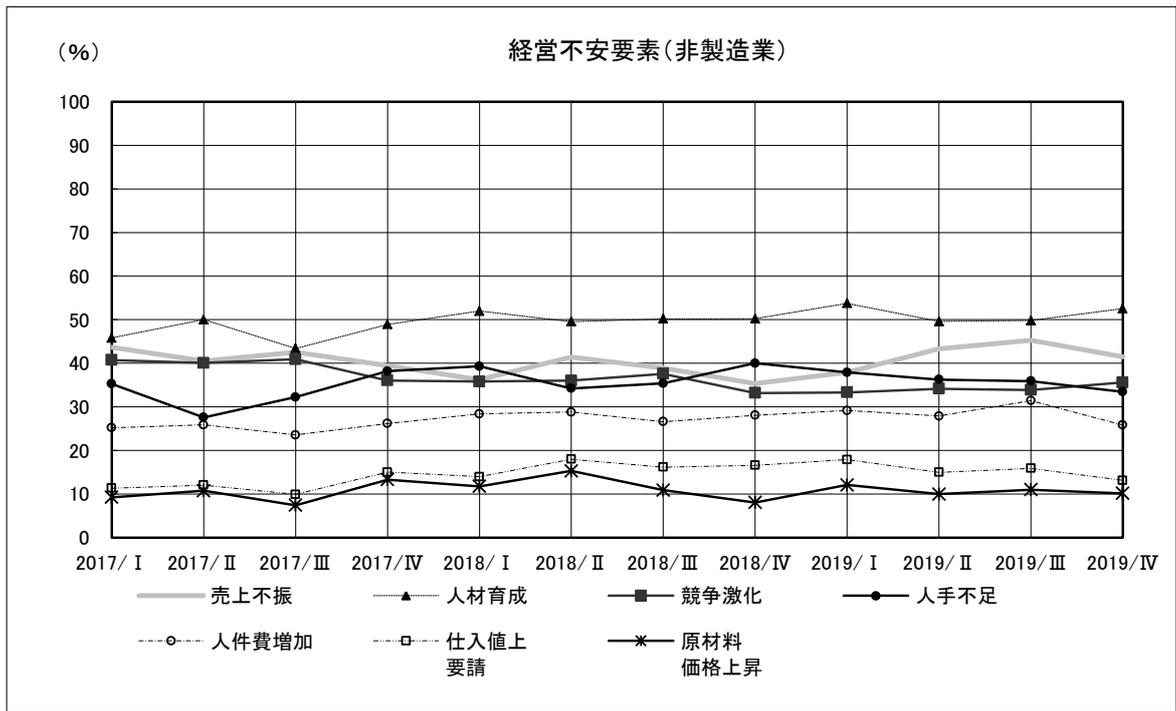


図 50. 経営上の不安要素・卸売

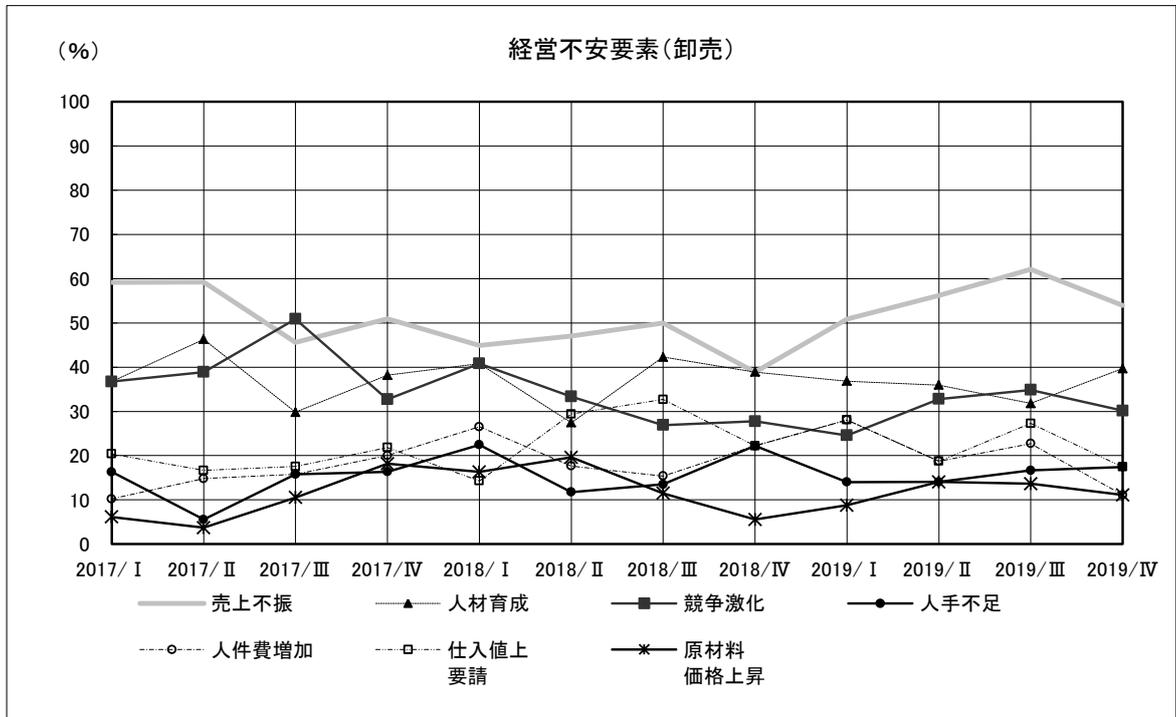


図 51. 経営上の不安要素・小売

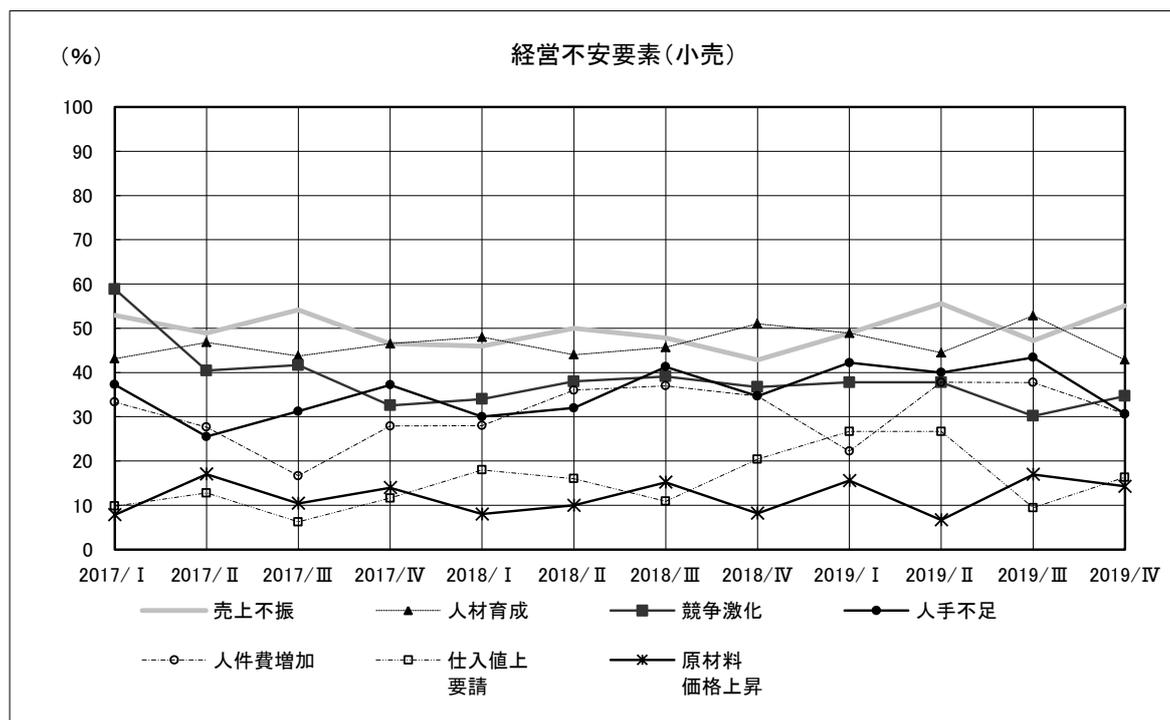


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

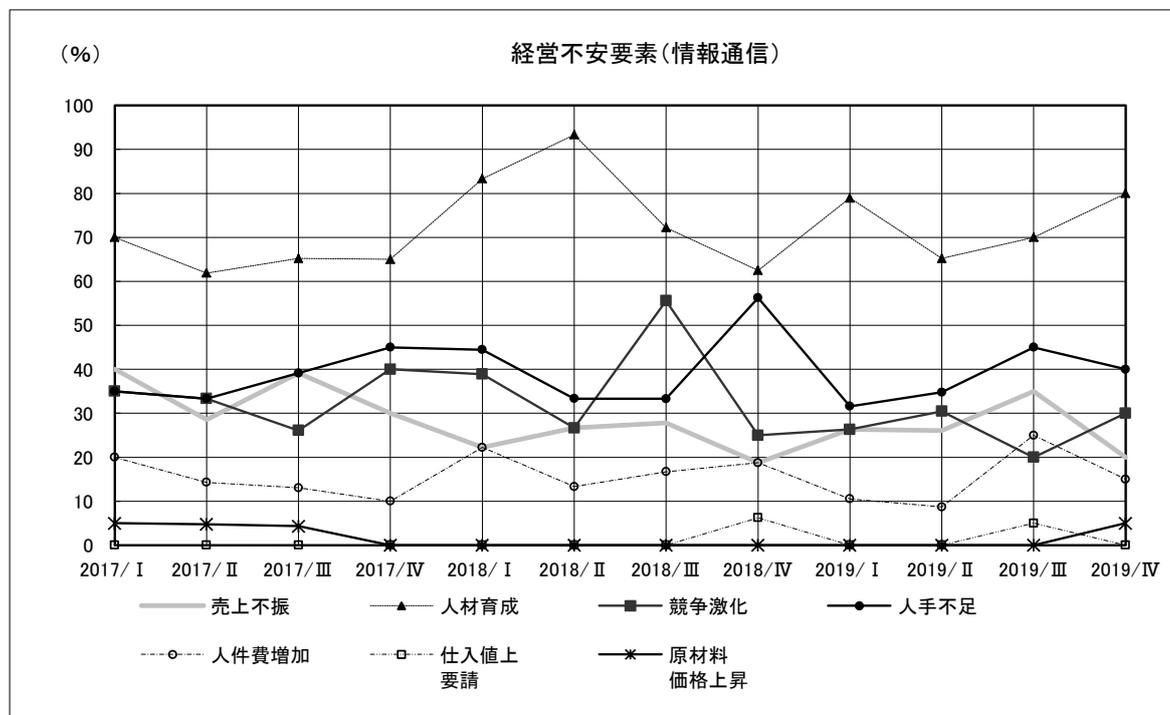


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

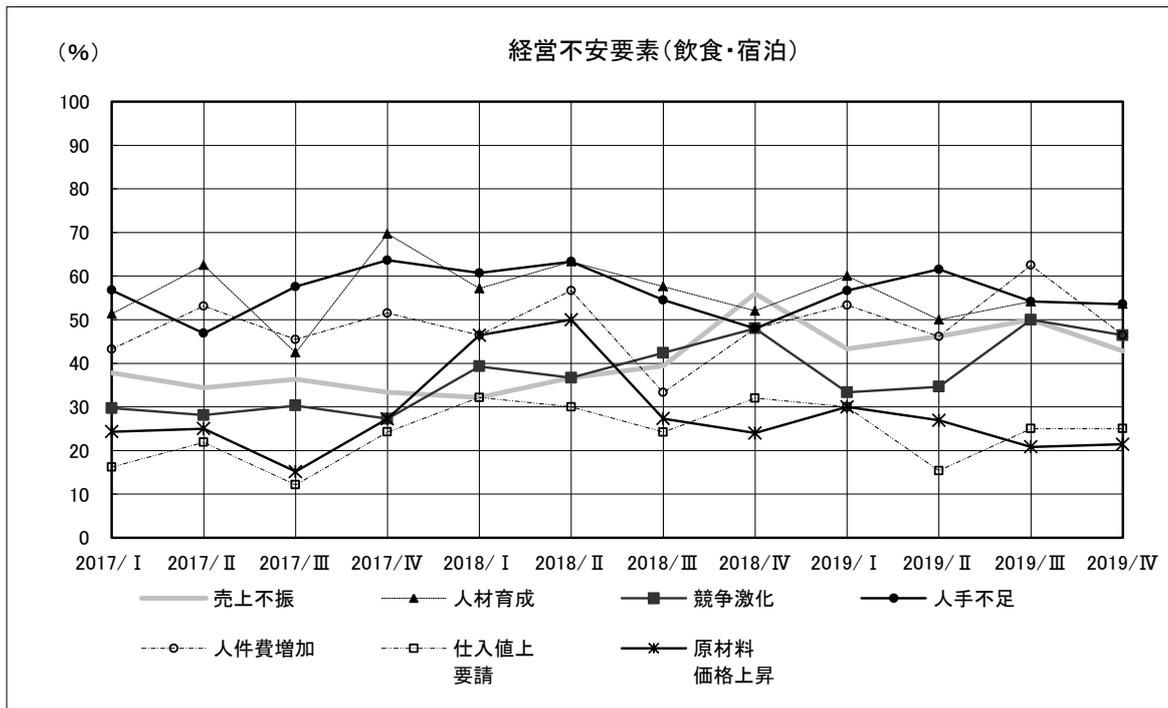


図 54. 経営上の不安要素・サービス

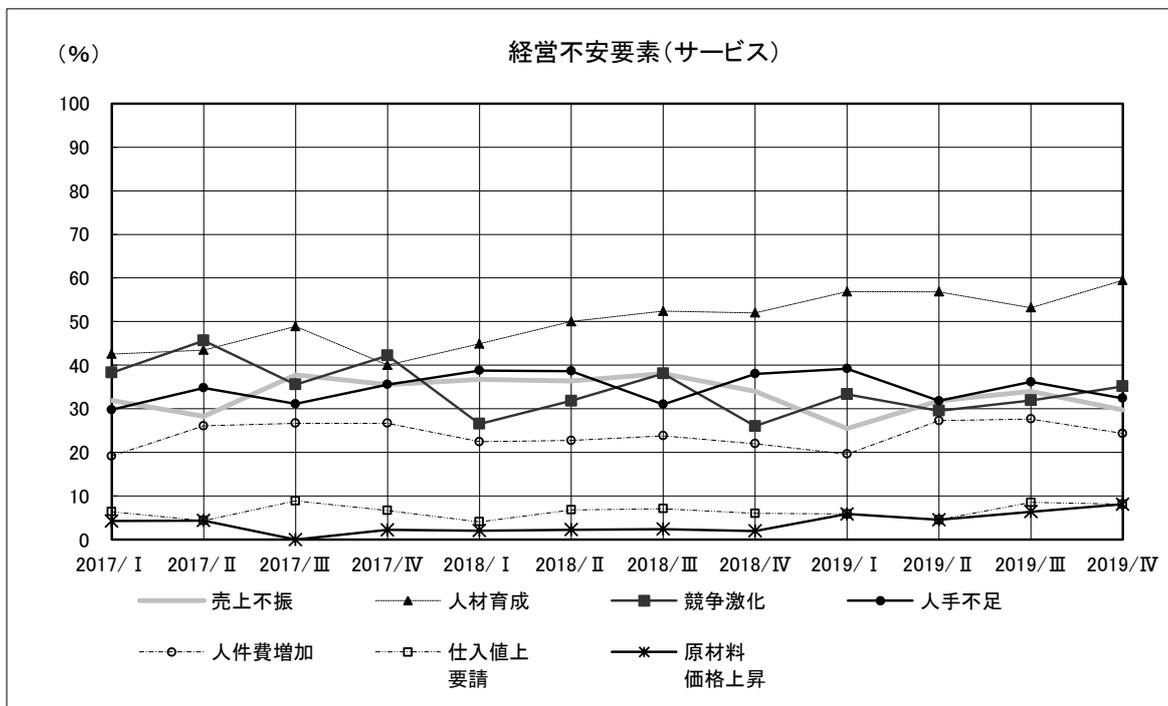


図 55. 経営上の不安要素・建設

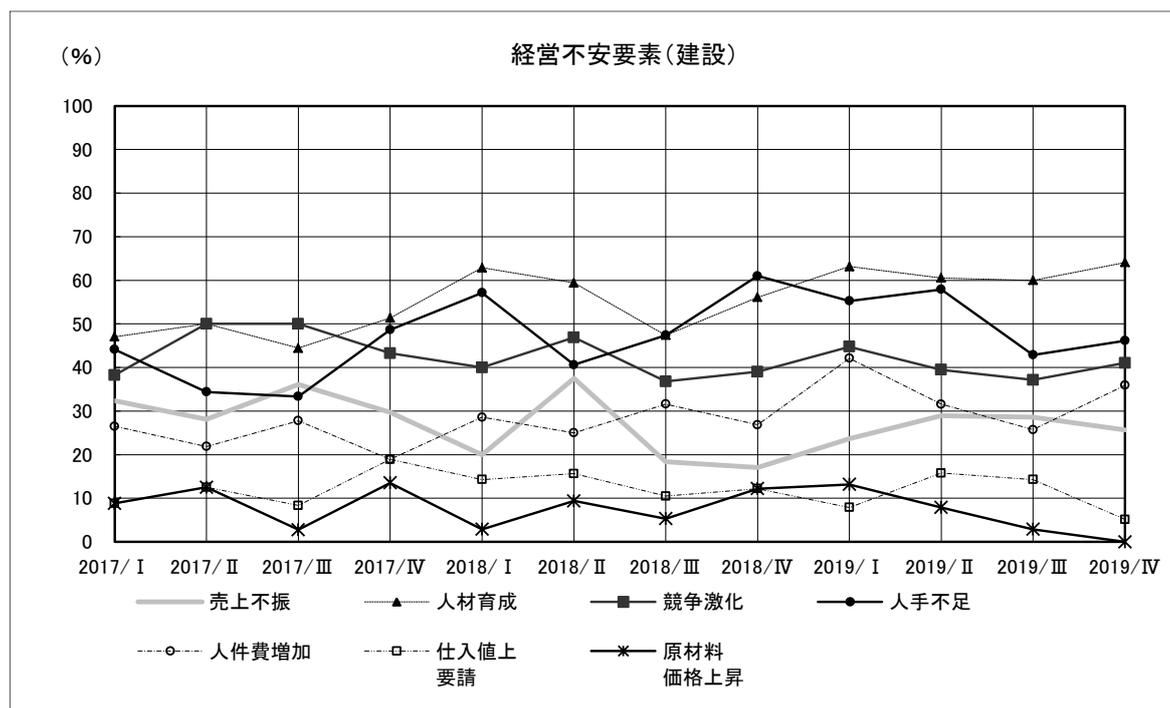


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	149 33.7%	215 48.6%	214 48.4%	44 10.0%	69 15.6%	68 15.4%	9 2.0%	63 14.3%
製造業	65 31.6%	117 56.8%	90 43.7%	22 10.7%	38 18.4%	44 21.4%	5 2.4%	26 12.6%
西陣	6 31.6%	17 89.5%	4 21.1%	1 5.3%	2 10.5%	5 26.3%	0 0.0%	6 31.6%
染色	5 19.2%	19 73.1%	8 30.8%	1 3.8%	3 11.5%	8 30.8%	3 11.5%	1 3.8%
印刷	9 37.5%	16 66.7%	12 50.0%	4 16.7%	7 29.2%	4 16.7%	0 0.0%	4 16.7%
窯業	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
化学	4 28.6%	5 35.7%	6 42.9%	0 0.0%	2 14.3%	5 35.7%	1 7.1%	1 7.1%
金属	10 34.5%	20 69.0%	20 69.0%	3 10.3%	3 10.3%	5 17.2%	0 0.0%	6 20.7%
機械	8 33.3%	11 45.8%	12 50.0%	8 33.3%	8 33.3%	1 4.2%	0 0.0%	2 8.3%
その他の製造	21 34.4%	27 44.3%	27 44.3%	5 8.2%	12 19.7%	13 21.3%	1 1.6%	6 9.8%
非製造業	84 35.6%	98 41.5%	124 52.5%	22 9.3%	31 13.1%	24 10.2%	4 1.7%	37 15.7%
卸売	19 30.2%	34 54.0%	25 39.7%	4 6.3%	11 17.5%	7 11.1%	0 0.0%	13 20.6%
小売	17 34.7%	27 55.1%	21 42.9%	6 12.2%	8 16.3%	7 14.3%	1 2.0%	9 18.4%
情報通信	6 30.0%	4 20.0%	16 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	1 5.0%
飲食・宿泊	13 46.4%	12 42.9%	15 53.6%	2 7.1%	7 25.0%	6 21.4%	0 0.0%	8 28.6%
サービス	13 35.1%	11 29.7%	22 59.5%	5 13.5%	3 8.1%	3 8.1%	0 0.0%	4 10.8%
建設	16 41.0%	10 25.6%	25 64.1%	5 12.8%	2 5.1%	0 0.0%	3 7.7%	2 5.1%
観光関連	15 36.6%	18 43.9%	17 41.5%	3 7.3%	9 22.0%	9 22.0%	0 0.0%	8 19.5%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	為替動向	その他	有効回答	無回答
全業種	50 11.3%	54 12.2%	130 29.4%	112 25.3%	14 3.2%	21 4.8%	442 100.0%	44
製造業	22 10.7%	20 9.7%	51 24.8%	51 24.8%	9 4.4%	8 3.9%	206 100.0%	17
西陣	1 5.3%	1 5.3%	3 15.8%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	19 100.0%	1
染色	3 11.5%	2 7.7%	3 11.5%	9 34.6%	2 7.7%	1 3.8%	26 100.0%	1
印刷	2 8.3%	3 12.5%	6 25.0%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	24 100.0%	2
窯業	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	9 100.0%	3
化学	1 7.1%	2 14.3%	3 21.4%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	14 100.0%	1
金属	3 10.3%	4 13.8%	11 37.9%	8 27.6%	0 0.0%	0 0.0%	29 100.0%	3
機械	6 25.0%	4 16.7%	5 20.8%	4 16.7%	2 8.3%	0 0.0%	24 100.0%	1
その他の製造	5 8.2%	3 4.9%	17 27.9%	24 39.3%	4 6.6%	6 9.8%	61 100.0%	5
非製造業	28 11.9%	34 14.4%	79 33.5%	61 25.8%	5 2.1%	13 5.5%	236 100.0%	27
卸売	4 6.3%	7 11.1%	11 17.5%	7 11.1%	3 4.8%	4 6.3%	63 100.0%	2
小売	2 4.1%	7 14.3%	15 30.6%	15 30.6%	0 0.0%	4 8.2%	49 100.0%	10
情報通信	5 25.0%	6 30.0%	8 40.0%	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%	3
飲食・宿泊	3 10.7%	3 10.7%	15 53.6%	13 46.4%	1 3.6%	3 10.7%	28 100.0%	2
サービス	10 27.0%	5 13.5%	12 32.4%	9 24.3%	1 2.7%	2 5.4%	37 100.0%	7
建設	4 10.3%	6 15.4%	18 46.2%	14 35.9%	0 0.0%	0 0.0%	39 100.0%	3
観光関連	3 7.3%	3 7.3%	17 41.5%	17 41.5%	2 4.9%	4 9.8%	41 100.0%	3

参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	7	(1.4)
明治	10	(2.1)
大正	12	(2.5)
昭和19年以前	20	(4.1)
20 ～ 39 年	172	(35.4)
40 ～ 49 年	96	(19.8)
昭和50年以降	81	(16.7)
平成	80	(16.5)
無回答	0	(0.0)
不明	8	(1.6)
合計	486	(100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	482	(99.2)
個人	4	(0.8)
無回答	0	(0.0)
合計	486	(100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	223	(45.9)	非製造業	263	(54.1)
西陣	20	(4.1)	卸売	65	(13.4)
染色	27	(5.6)	小売	59	(12.1)
印刷	26	(5.3)	情報通信	23	(4.7)
窯業	12	(2.5)	飲食・宿泊	30	(6.2)
化学	15	(3.1)	サービス	44	(9.1)
金属	32	(6.6)	建設	42	(8.6)
機械	25	(5.1)	不明	0	(0.0)
その他の製造	66	(13.6)	合計	486	(100.0)

※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)	44	(9.1)
-----------------------	----	---------

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～ 100 万円	1	(0.2)	3001 ～ 5000	76	(15.8)
101 ～ 200	0	(0.0)	5001～1億円	33	(6.8)
201 ～ 500	36	(7.5)	1億円超	2	(0.4)
501 ～ 1000	208	(43.2)	無回答	0	(0.0)
1001 ～ 3000	126	(26.1)	合計	482	(100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0 ～ 4 人	74	(15.2)	50 ～ 99 人	41	(8.4)
5 ～ 9 人	99	(20.4)	100人以上	27	(5.6)
10人～19人	109	(22.4)	無回答	10	(2.1)
20人～29人	62	(12.8)	合計	486	(100.0)
30 ～ 49 人	64	(13.2)			

第133回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 令和2年1月31日（金）】

貴社の概要を御記入ください。

（該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。）

会社名														
経営形態	法人・個人	資本金					万円	電話				—		
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成) 年						従業員数					人(うち非正規人) ※2		
※1 業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造													
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設													
	観光関係の売上げ：1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 10%以上25%未満 4 0%超10%未満 5 なし 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。													
主な製品、商品、サービス														
御記入者	部課：	役職：				氏名：								

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項目	期間	令和元年10月～12月の実績 (前年の同期と比較して)			令和2年1月～3月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない	する	しない		

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|-------------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化(顧客・市場開拓) | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 自社ブランドの育成 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------------|-----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 為替動向(円安・円高等) | 14 その他() | |

(裏面も御記入ください。)

(5) 平成31年(令和元年)の企業経営実績と令和2年の見通しについてお尋ねします。

A. 平成31年(令和元年)の貴社の業績は前年(平成30年)と比較していかがでしたか。
下記から1つを選び、○印をお付けください。

1 非常に良かった	2 良かった	3 前年並み	4 悪かった	5 非常に悪かった
-----------	--------	--------	--------	-----------

B. 令和2年の貴社の業績見通しは前年(平成31年(令和元年))と比較していかがですか。
下記から1つを選び、○印をお付けください。

1 非常に良くなる	2 良くなる	3 今年並み	4 悪くなる	5 非常に悪くなる
-----------	--------	--------	--------	-----------

C. 平成31年(令和元年)の貴社の業績に影響を与えた要因及び令和2年の業績に影響を与えると予想される要因について、該当するものの番号を御記入ください。(それぞれ3つ以内)

平成31年 (令和元年) 実績	プラス要因			マイナス要因			令和2年 予測	プラス要因			マイナス要因		

1 営業努力	2 新商品・新技術の開発	3 新事業の展開	4 設備投資
5 雇用情勢	6 国際情勢	7 国内景気	8 地元景気
10 為替相場	11 金融情勢	12 消費動向	13 物価動向
15 地価動向	16 税制改革	17 公共投資	18 輸出入動向
20 規制緩和	21 親企業のリストウ・海外進出	22 環境問題	19 株価動向
24 その他 ()			23 中国経済の減速

D. Cで「令和2年予測」で選択した項目のうち、最も影響の大きい要因について、具体的な内容とその理由を御記入ください。

最も影響が大きいもの ()
内容:

E. 平成31年(令和元年)及び令和2年の賃金水準について、下記からそれぞれ1つを選び○印をお付けください。「1」を選ばれた方はその内容をア～エから選択し に記入してください。

平成31年(令和元年)の賃金水準	1 上げた ⇒ <input type="text"/>	2 上げていない	3 下げた
令和2年の賃金水準	1 上げる予定 ⇒ <input type="text"/>	2 上げない予定	3 未定
ア. ベースアップ	イ. ベースアップ+賞与・一時金の増額		
ウ. 賞与・一時金の増額	エ. その他の賃上げ(定期昇給等)実施		

F. 貴社では、今後どのような分野・部門の拡充や縮小をお考えですか。
下記から該当するものの番号を御記入ください。(それぞれ2つ以内)

拡充・強化する部門			削除・縮小する部門		
-----------	--	--	-----------	--	--

1 事務部門(庶務・人事など)	2 財務部門(経理・会計など)	3 営業部門
4 企画・開発部門(新規事業企画・新市場開拓など)		5 宣伝・広報部門
6 情報・通信部門	7 技術部門	8 製造部門
10 その他 ()		9 特になし

G. 令和2年に向けて貴社の経営全般における独自の取組や工夫を御自由に御記入ください。

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。
当調査票は、同封の返信用封筒、もしくは業務委託先の(株)東京商工リサーチ京都支店(FAX:211-4788)にご返送願います。
なお、内容についてのお問い合わせは、京都市産業観光局 産業企画室(TEL:222-3325)まで、お願いいたします。